

2018 栄光への軌跡

2018年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



一般入試

東北大学、山形大学、宮城大学

東北大学 文学部に
一般入試で合格

平成 30 年 3 月 特別進学コース卒
五橋中出身

学校では場所を変えて気分転換したり 級友の姿に刺激を受けて勉強できました

■高校に入学して最初に毎日の 学習ペースを確立しました

高校入試で失敗したことの衝撃は大きく、大学入試は絶対に成功させたい、という思いでこの学校に入学しました。その思いを3年間持ち続けることができたのは大きな勝因だったと今強く感じています。高校で勉強を始める上でまず最初にやったことは、一日のうち勉強する時間を固定することでした。そのおかげでリズムよく勉強に取り組めるようになり、それを習慣化することで1年、2年、3年と勉強量も勉強時間も増えていきました。次に、勉強する時は60分や90分に時間を区切りをつけてやるようにしました。これはダラダラと勉強するのを防ぐためです。また、自分の勉強したことをノートに記録して常に達成感を味わえるようにしました。ノートの残りが少なくなるのは快感でやる気にも繋がりました。

勉強場所として学校の図書室やオークルーム、教室は、ほぼ毎日活用しました。特にオークルームは赤本を借りることもできるのでとても便利でした。私はよく気分に応じて場所を変えて勉強し、飽きずに続けられました。また、級友が勉強している姿を見られるので自分も頑張ろうという気持ちになる為、学校で勉強することはとてもよかったです。

勉強していて調子が上がらないことも多くありました。集中できない日々が続いたり模試の結果が悪かったりと。そんな時は思い切って完全休養日を作ることはよくやりました。やらなきゃという義務感でやってもうまくいかないことが多いからです。それと1題だけでも解こう、1個だけでも単語を覚えようという意識はこのような時には特に大切にしました。

■本番直前は自分を信じるよう 言い聞かせ奮い立たせました

様々な工夫をしながら勉強してきましたが、何よりも結果が良かろうと悪かろうと地道にコツコツと頑張れたのはとても大きなことだったと思います。センター直前はマークシートを見たくなくなる位、二次直前は勉強自体嫌になる位勉強をやり通せたのはこの姿勢があったからだと思います。本番直前は緊張して動揺して精神状態は最悪でしたが、自分が受かれないはずはないと言い聞かせたり、東北大学に行きたい理由を考えて書き出したり、東北大学合格と毎日言ったりして何とか乗り切れました。

自分の番号を見つけた瞬間、それは何とも言えない感動の瞬間でした。

東北大学 教育学部に
一般入試で合格

平成 30 年 3 月 特別進学コース卒
東仙台中出身

直前になって焦らないよう早くから 計画を立て努力を積み重ねましょう

■模試は判定や順位よりも 弱点を知ることが重要です

これから記述することは私個人の感じたことや考えたことであり、全員に共通して役に立つことはないかもしれません。その上で自分に合ったことを吟味しながら、この体験記が少しでも受験生の皆さんの助けになればと思います。

私が 3 年間の勉強を通して感じたことを、大まかに 3 つに分けて紹介していきます。まずは模試をどのように活用するかです。3 年生になれば多くの模試を受けることになります。そこで重要になるのは復習です。どうしても志望大判定や順位に目を向けがちですが、判定はあくまでも指標であり判定が直接的に合否に関わることはありません。今の自分の欠点は何かを明確にし、そのポイントを克服するために復習することが最も良いのではないかと思います。

■先生に添削していただき 苦手分野を克服できました

次に計画性についてです。先程述べたように、3 年生になれば模試も多くなり、段々と勉強量が増加します。その中で計画なしに勉強を進めていると、直前になってやり残したことへの不安で焦りにつながってしまいます。そこで早い時期から受験を見据えて計画を立てることを習慣つけて欲しいと思います。そして必ず計画は守って下さい。どんな小さなことからでも構いません。単語毎日 20 個覚えるだけでも 3 ヶ月続ければ 1800 語近くになります。計画性をもって日々の積み重ねを持続させて下さい。

最後に、とことん先生方を頼ってください。私自身、先生に添削を続けていただき、苦手分野を克服することができました。きっと先生方はどこまでも皆さんをサポートしてくださるはずです。挫折しそうなことがあっても最後まで続けていれば、必ず実を結ぶことにつながると思います。

受験は予想以上にハードです。しかし努力の先には明るい未来が待っているはずです。皆さんが志望大学に合格できることを切に願っています。

東北大学 経済学部に
一般入試で合格

平成 30 年 3 月 特別進学コース卒
仙台第一中出身

合格の瞬間や大学生の自分を想像する等 モチベーションを上げて頑張りましょう

■ 3 年次の前半の殆どを 2 次対策に費やしました

高校に入る前から大学進学を考えていました。しかし、高校受験では公立高校に合格できず、私立高校の一般入試も受験していなかった私は仙台育英に 2 次募集で入学しました。仙台育英を選んだ決め手は通いやすさと、学習環境です。特に、学習環境は図書室、オークルーム、GP ホールなど充実していて、困ることはありませんでした。次に、私の学習面について振り返ると、ここからが受験勉強だ、という区切りはなかったと思います。1, 2 年生のうちは定期考査の対策をしっかりとやって結果を出す、ということ意識していて、模試があれば結果よりも、その復習に重点を置いていました。模試の復習はとても大事です。3 年生になってからの勉強は回数の増える模試を軸にして、計画を立てて進めました。特に 3 年生の前半はほとんど 2 次試験で使う国、数、英の演習に時間を費やし、センター試験だけで使う理、社は模試の復習と授業という風に最低限にとどめていたと思います。そしてすごく大事な夏休みは塾の自習室にこもり、ひたすら勉強しました。この時期はまた基礎力の定着に力をいれて、一つの問題集を各教科 2 周しました。また、2 科目ある社会のうちの一つだった日本史も自分で進めて 1 通り終えました。9 月以降は標準的な問題の演習に取り組み、センター対策を始めたのは 12 月からでした。2 次試験の勉強をしていれば、12 月からでもセンターには間に合います。センターは時間との勝負なので質も重要ですが、量やって自分の力を安定させる方が良いと思います。

■ 普段の生活の中に単語等の 暗記を取り入れました

そして、センター後の 2 次対策がとても重要です。私はこの時期から東北大学の過去問をしっかりと解き始め、最初のうちは時間を気にせず解き、試験の 2 週間前日から時間を意識して解きました。ここで忘れてはならないのが英単語や古文単語、句法といった知識です。これらの知識系の勉強をわざわざ机でやるのはもったいないと思った私は、電車での通学時間、食事の間、風呂の時間を利用し、また、トイレや家の壁に貼り付けて覚えしました。知識系は何度も目に入ると覚えられるので、自分がこれ、と思ったものを使い込むと良いと思います。最後に、なぜ私が東北大学を選んだかという、地元にある旧帝大であり、公認会計士を目指す私にとって合っていると考えたからです。

大学受験は自分との戦いです。長くつらい道のりですが、最後に合格という栄冠を勝ち取るために、合格した瞬間を想像したり、大学生になった自分を想像してモチベーションを上げて、乗り切ってください。応援しています。

山形大学 工学部 機械システム工学科に
一般入試で合格

平成 30 年 3 月 特別進学コース卒
逢隈中出身

先生の「最後まで伸びる」という 言葉を信じ決して諦めませんでした

■陸上競技部で得た精神力が 一番の支えになりました

私が山形大学工学部を志望したのは、高校 2 年生の時です。幼少期から機械、とりわけ自動車が大好きで、中学校の頃から大学は工学部と決めていました。しかし、当時の私の学力では合格は難しい状況でした。そして、3 年生となり、陸上競技部での活動も、大学入試もクライマックス。「総体まで部活をやり切って、受験勉強に切り替えよう」と 2 年生のうちから心に決めていました。私は競技力はそれほど高くないのですが、陸上競技が大好きです。ですから、最後のシーズン、どうしても自己ベストを出したかったし、6 月の最後の大会で自己ベストを出せたのは本当に嬉しかったです。そして、いよいよ受験勉強に本格的にシーズンイン。学校のオークルームで毎日学校が閉まる 20 時 30 分まで勉強しました。このときから、私は二次試験の数学、物理に向けた学習を重点的に行いました。英語や国語、社会などのセンター試験のみで使用する教科は学校の授業に 100% 集中して取り組むことで対策しました。模試の結果は E 判定の連続でしたが、少しずつ成績が上がっているのを実感し、担任の先生からも「地道に、今の努力を続けていくしかない」と言葉を頂き、ひたすら勉強しました。受験勉強において、私を一番支えてくれたのは、陸上競技部での 3 年間の活動で得た精神力であると断言できます。もし私が陸上競技部に入部していなければ、秋頃には山形大学への現役合格をあきらめてしまっていたでしょう。また、昼休みに学習スペースで勉強している時なども、先生方や仲間達の「やってるな」「頑張れ」といった言葉が私を後押ししてくれました。人と人とのつながりは、とてつもない力を秘めているものだなと思いました。

■特別編成授業や講習を活用し 不明点や弱点を補いました

そして、センター試験が近づくと、センター試験対策特別編成授業に毎日参加し、自分がどうしても理解できないことは先生に直接質問しました。仙台育英の先生方はベテランの先生方が多く、「かなり」個性的です。私は個性的な人が好きなので、この特別編成授業はとても力になりました。そして、センター試験では今までのどの模試よりも高い点を獲得することができ、二次試験の自信につながりました。センター試験後は、任意登校になりますが、数学と物理の二次試験対策講習と自主学習のために毎日学校に行きました。講習では少人数で要点を教えていただき、自分の弱点を補いました。受験勉強で大切なのは、自分が学習するのに一番適している場所を見つけることだと思います。私の場合でしたら学校。人によっては家、予備校、図書館など。それだけで勉強に集中することができ勉強の効果も跳ね上がると思います。もう一つは、決してあきらめないことです。私は学年主任の先生の「現役生は最後まで伸びる。年が明けてからも伸びる」という言葉を信じて最後まで勉強しました。今私は素直に「あきらめないで良かった」と思っています。

宮城大学 看護学群 看護学類に
一般入試で合格

平成 30 年 3 月 特別進学コース卒
宮城教育大学附属中出身

辛い時は一人で悩まずに周りに相談し 別の視点でアドバイスをもらいましょう

■諦めないことの大切さに 高校生活で気付きました

私が夢を実現することができたのは、自分一人で悩まず友達や先生などに相談することと、自分に自信を持ち最後まで諦めずに物事を行うことを最後まで心がけて受験勉強に臨むことができたからだと思っています。これらを仙台育英での生活の中で気づくことができました。

私が自分の進路を決めたのは、2年生の夏ごろで、本格的に受験勉強を始めたのは3年生になってからとスタートが遅かったなあと感じています。受験勉強を本格的に行う前は主に定期テストを重視して、勉強範囲を狭めて行っていました。定期テストも1週間前からは友達と一緒にオークルームで放課後勉強したり、分からないところをしっかりと整理してからお昼休みや放課後など長い時間を利用して先生や友達に質問をしたりすることで、できる限り時間に余裕を持たせるだけでなく、定期テスト後も勉強習慣をしっかりと確立することができました。この積み重ねが受験勉強を最後までやり抜く自信につながったのではないかと感じています。

3年生になってからは、定期テストの範囲だけでなく、1,2年生で学習した分野も少しずつ復習を行い始めました。解き方を忘れていた分野も多く復習は大変でしたが、復習をしている中で自分が分からないところをそのままにせず、納得できるまで調べたり、質問したりすることを繰り返していくことで、分からないところを減らすことができただけでなく、少し勉強が楽しいと思うこともできたため本当に良かったと思っています。

■友達と互いの悩みを打ち明け 一緒に解決策を探しました

勉強の方法を工夫することは大事だと今まで述べてきましたが、それだけではなく私は何かにつまずいた時、友達に相談することも同じ位大事だと感じました。3年生の秋頃、勉強を行う気がなくなってきた時に友達に相談してみると、実は友達も同じ状況にあったことを知って心を落ち着かせることができただけでなく、一緒に解決策を探すことでもう少し頑張ってみようと思うこともできました。

様々な内容について述べてきましたが、私が一番伝えたいことは、「自分一人で悩まずに、まず相談する」ということです。自分とはまた違った考えに出会い、よりよい受験勉強につながると思います。つらくなって諦めたいくなる時もあると思いますが、自分を信じて頑張ってください！

宮城大学 食産業学群に
一般入試で合格

平成 30 年 3 月 特別進学コース卒
仙台第一中出身

最後まで学力を伸ばすことはできるので 辛くても諦めずに努力を続けましょう！

■十分に休憩をとりながら メリハリをつけ勉強しました

私が受験を終え、これまでの生活を振り返り、どのように工夫して生活していたかを 2 つにまとめてみました。

1 つ目はメリハリをつけて勉強していたことです。私は基本的に学校がある平日や土曜日は 8 時半までは自習室などの家ではないところでしっかり勉強して、家に帰ってからは勉強せず休憩すると決めて生活を送っていました。日曜日は休憩の日にして、できそうだったら少し勉強するというようにしていました。最初は体調を崩しやすかったためにこのようなことをしましたが、平日に勉強から逃げたくなった時に「日曜日にあんなに休んだじゃないか、勉強しなきゃ」と思うことができました。勉強する時は勉強だけ、休む時はしっかり休むことが大切だと思いました。

■気になることはすぐに 色々な方法で解決しました

2 つ目に心配事を減らす努力をしたことです。例えば、国公立大学を目指す人にとってはセンター試験で受ける科目は多く、1 科目にかけられる時間も限られています。私は「あの科目最近やってない、大丈夫かな」と関係ない科目を勉強している時に気になってしまうので、1 日にできるだけ多くの科目に手をつけるようにしていました。また、勉強方法が間違っていないかなど気になったこともあります。そのような時は先生方に相談して指導していただいたり、一緒に頑張っている友達にアドバイスをもらっていました。そしてやはり試験前日などは本当に不安でしたが、それまで自分の中ではこれ以上勉強出来ないくらいやったつもりだったので、自分を信じるしかないと思って挑むことができました。

最後に模試などの結果はいつも気になっていました。この点数で受かるのだろうかと 12 月まで思っていたのですが、センター試験と二次試験は思っていた以上の点数を取ることができました。どこで伸びが来るかわかりません！ 辛いこともたくさんあるとは思いますが、諦めないでください。最後まで自分を信じて頑張ってください。

2018 栄光への軌跡

2018年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



指定校推薦

早稲田大学、立教大学、中央大学、法政大学、東京理科大学、
学習院大学、同志社大学、東北学院大学、東北工業大学、
東北文化学園大学、東北医科薬科大学、宮城学院女子大学、
尚絅学院大学、尚絅学院大学、仙台大学…

早稲田大学 法学部
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
米山中出身

勉強する場所を気分でするなど 集中できる学習環境作りを意識しました

■模試を本番のつもりで受け 復習を怠りませんでした

私は特別進学コースに入学した際に受けた最初のテストで、クラスメイトと自分の学力の差にとっても絶望しました。中学生の頃は勉強はできるほうだと思い込んでいたのが、高校に入って一気に崩壊し、これではまずいと思い、クラスメイトにも負けまいと気持ちを切り替え、勉強に臨みました。勉強には専ら校内の自習室を活用しました。オークルームをはじめ、図書室や教室を気分に応じて場所を変えることによって、気分転換にもなり勉強もはかどりました。また、勉強する際も自分が最も集中できる環境を作ることも意識しました。私は理系科目が苦手でしたが、定期テストでは高得点を取るために解説を熟読し友達に教えてもらうなどして評定を高く維持することができました。模試は学年が上がるにつれてその数も増えてくるので、その模試一つ一つを本番だと思い込むことで、本番も緊張せずに臨むことができると思います。模試後の復習も重要なので、怠らないようにしました。

■センター試験の過去問が 校内模試対策に最適でした

次に推薦についてですが、日々の授業、定期テストの結果はもちろんですが、最も重要なのは 6 月頃にある校内模試です。文系は英語と国語で判定されるので、その 2 教科を重点的に勉強しました。模試はセンター試験に準拠した形式で出題されると知り、ひたすらセンター試験の過去問を解いているうちに実力も上がっていき、模試でも高い偏差値をマークすることができました。また、推薦を受ける際には、自分がその大学に行って何をしたいかという明確な志望動機が必要です。私は 1 年生の時に担任の先生に勧められた法律のイベントに参加したことがきっかけで法学部で法律を専門的に勉強したいと思い、3 年間を通して模擬裁判などにも参加したことが功を奏し、自己推薦文を滞りなく書いて、推薦をいただき、面接でも堂々と話すことができ、合格することができました。なので推薦を考えるならばまず、自分のやりたいことや将来像をよく考えてから決めると良いと思います。皆さんも目標を達成するために、今の自分に何が必要なのかをしっかりと考え、計画を立てて根気強く勉強に取り組んでみてください。そうすればきっと目標は達成できます。皆さんの健闘を祈ります。

立教大学 グローバル・リベラルアーツ・プログラムに
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
中国出身

どれだけ知識を蓄えたかではなく 勉強に臨む態度が受験に影響します

■一日 30 分の単語の暗記でも
毎日続ければ実力が付きます

推薦入試で立教大学のグローバル・リベラルアーツ・プログラムに合格することができ、大変嬉しく思っています。仙台育英での学校生活を振り返ってみると、自分がこつこつ頑張ってきたことと先生方の応援がなければ、自分が今満足できる大学には合格できないかもしれないと今は思っています。

学校から校内推薦の大学リストが配られた後に、自分が興味を持っている学部を合わせて、インターネットでもいろいろな情報を調べた上に、やっぱり立教大学のグローバル・リベラルアーツ・プログラムに入りたいと思い、推薦入試をめざすようになりました。グローバル・リベラルアーツ・プログラムでは、すべての授業が英語で行われますので、一定の英語力がないと、合格する可能性が極めて低いと思っていたので、短時間でできるだけ英語力を伸ばそうと決めました。英語を上達するためには、語彙力が非常に重要なので、私はいつも朝の 30 分間を利用し、単語を暗記するようにしました。一日にただの 30 分間かもしれませんが、少しずつ重ねていけば、すごい力になれると思います。また、私は世界中のニュースに関心を持っているので、いつもニュースを英語で読み、放送を聞きました。このように少しずつやってきたおかげで、私は英語検定の 1 級に合格することができました。必ず平坦な道ではなかったけど、自分の力を信じ、頑張っていけば誰でも自分の夢を叶うことができると私は信じています。

■日々の努力がいかに大切か
入試を通して実感しました

そして、大学入試に成功するためには、普段日々の努力がとても大切だと実感しています。知識をどれだけ覚えたかのことではなく、普段からどういう態度で勉強に臨むかがみなさんのこれからの受験に大きな影響を与えたいと思います。普段から勉強に対する積極的な態度を取り、自らどんどんやっていきたいことと捉えてほしいです。後輩のみなさんは自分の第一志望に合格できるよう応援しています。

中央大学 商学部 商業・貿易学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
中国出身

模試の結果で落ち込んでしまったとき 友達の応援のおかげで乗り越えました

■教科書は注釈や図の説明まで 徹底的に読み込みました

商学部に進学したのは小さい頃から父に影響され、商業への魅力を感じていて、興味を持っていたからです。私はずっと商学部に進学したいという夢がありました。2年生の時、先輩から推薦校に書いてある冊子を借りて、自分でインターネットで調べ、先生方々との相談も含めて、志望大学を決めました。私は早くから目標を立てることをお勧めします。目標を達成できるよう、受験に必要とされる教科を明確にし、ひたすら勉強することが大事です。

第一に、校内推薦を利用したいなら、評定を高くしなければなりません。定期テストの対策として、先生の授業まですまやかに受けることが重要です。私は復習と予習をきちんとし、出やすい所とか、理解できていない所とかを蛍光ペンでアンダーラインを引いたり、先生に聞いたりしました。そのおかげで、苦手の教科であっても、点数が伸びました。電車に乗る時間とかを有効に使うことは当然で、ここで私が一番お勧めしたいのは教科書を読むことです。それは定期テストの対策だけでなく、模試、受験にもとても役に立ちます。例として、私が日本史を勉強するとき、教科書に書いてある文章だけでなく、注釈や図の下に書いてある小さい字など全部きちんと覚えました。先生の授業を聞いて、教科書で何ページに書いてあるのかすぐに分かるようになりました。それで、模試とか問題が出される時、教科書を脳の中でイメージとして、問題を速く、正しく解けます。

■家族や先生方に感謝の 気持ちでいっぱいです

第二に、模試の結果を見て、一喜一憂せずにひたすら勉強するのがとても重要だと思います。仮にそれはよくない結果であっても、一つの警鐘として、もっと勉強すれば良いです。私は模試の結果を見て、とても落ち込んだ時期がありました。不安定になり、勉強する気もなくなりました。周りの友達が応援してくれたので、乗り越えられました。心から感謝をしています。

第三、暇な時間があったら、英検とか各種検定をチャレンジをしたほうが良いです。英語力を身につけられるし、志望理由書にも書いて、面接のとき志望大学にアピールすることができます。

志望大学を決めて、校内推薦という道を選んでから、親たちから支持を得て、応援してくれました。先生方もアドバイスしてくれたり、面接練習の時、何回も練習してくれたりサポートしてくれました。そのおかげで、私は本番のとき自信を持って、受験が成功しました。本当に心の中感謝の気持ちはいっぱいです。

最後、皆も志望大学に合格できるよう、お祈りしています。みなさん頑張って下さい。

法政大学 キャリアデザイン学部 キャリアデザイン学科に
指定校推薦で合格

平成30年3月外国語コース卒
塩竈第一中出身

受験で周囲から支えてもらうには 普段から信頼を築く努力が必要です

■ IBDPの一環として始めた

ボランティアは有意義でした

志望大学を決定したのは、3年生の7月でした。多くの人は、既に志望大学や具体的な将来の目標を明確にしているにもかかわらず、自分はまだそれらを決められていないという状況に焦りを感じていました。その時、ある先生が法政大学を目指すきっかけを与えてくださいました。先生から、法政大学のキャリアデザイン学部を提案していただいたときは、正直少し戸惑いました。それまで、私は外国語系や国際系の学部ばかりを視野に入れていたからです。それから、大学や学部のことを知るにつれて、法政大学のキャリアデザイン学部で学びたいという気持ちが強くなり、進路を定めることができました。このとき、視野を広く持つことがいかに重要であるか実感しました。

志望大学を決めてからは、志望理由書の作成に最も力を入れて取り組みました。私は2年次より、国際バカロレアディプロマプログラム（以下IBDP）を受講していたので、そこで学んだことや成長できたことをアピールポイントとしました。特に、IBDPの一環として始めたボランティア活動は志望理由書を書く際、役立ちました。ボランティア活動は、楽しいだけでなく、勉強になることも多くあり、とても有意義なものでした。そこで感じたことと学部の特徴や理念をリンクさせることで、法政大学キャリアデザイン学部で学びたいという強い気持ちと大学での目標を示すことができたのではないかと思います。

■ 3年間で自分の強みを

確立することが必要です

指定校推薦では、校内模試の結果が非常に重要ですが、評定や資格、志望理由書も校内選考を勝ち抜くには大事な要素です。評定や資格は、地道に努力した結果、良いものが得られます。そして志望理由書では、自身の努力とその成果をアピールするとともに、この大学に進みたいという熱意を伝えなければなりません。そのために、自分の最大の強みとなるもの、「これだけは他の人に負けない」といえるものを3年間のうちに確立することが必要だと思います。また、信頼関係を築くことも指定校推薦で大学を受験するにあたって必要不可欠です。志望大学決定から合格までには、多くの人の支えや協力が必要となります。私の場合は、先生や家族のサポートがなければ、きっと大学進学どころか志望大学決定さえもできなかったと思います。周りの人から支えてもらうためには、自分自身の努力でその人たちとの信頼を築かなければならないのだと身をもって感じました。そして、その信頼を今後も裏切ることがないよう努めるという覚悟もできました。

この経験が少しでもみなさんの役に立てたなら幸いです。みなさんが悔いのない高校生活を送れることを祈っています。

法政大学 理工学部 経営システム工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
高砂中出身

1 年次から評定は 5 を取れるよう 定期テストを頑張りました

■入学時から指定校推薦を 意識して過ごしました

部活動と勉強の両立を目指すため英進進学コースを選びました。兄が 2 人とも仙台育英だったこともあり、1 年生の頃から大学進学について意識をしていました。仙台育英の指定校推薦という制度も知っていたので、1 年生の始めの頃から定期テストでいい点を取り、評定をできるだけ 5 をとれるように頑張りました。部活動でも、定期テストの前にはテスト休みがあったのでしっかりと勉強でき、両立することができました。日々の定期テストの結果も大切ですが、一番は校内模試の結果が大切です。大学によっては検定何級以上必要というがあるので、できるだけ英検などは取得しておいたほうがいいと思います。

法政大学 デザイン工学部 建築学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
みどり台中出身

自分自身と向き合い将来について じっくり考えることが一番大切です

■目標を決めてから勉強が はかどるようになりました

私からは、これから大学受験する人向けに、私が大学に合格した経緯を簡単に書き、高校生活で学んだことや思ったことを伝えていこうと思います。

はじめに私は、高校受験で第一志望の高校に合格することができませんでした。「逆転の仙台育英」を掲げたこの高校に入学してからは、次こそは自分の行きたい学校に入学するため、ひたすら勉強しようと決めました。はじめのうちは、学校の自習室を活用し計画的に勉強していましたが、ある時私は、自分は何で勉強しているのかわからなくなってしまい、あまり勉強に力が入らなくなってしまいました。そこから、自分は何がしたいのか、何が好きなのかなど自分自身について真剣に考えるようになりました。長い間考えて、私は建築家になることを目標としました。目標が決まってからは勉強にも力が入り、はかどるようになりました。3年に上がり、本格的に大学について調べていくうちに、法政大学のデザイン工学部に行きたいと思うようになりました。しかし、東京の私大に通うことは私の家庭ではあまり現実的ではなく、そこへの進学は諦めかけていました。そんな時、私は担任の先生から指定校推薦で法政大学を受験することを薦めてもらいました。その話を聞いて私は、やはり自分の行きたい大学を妥協してはいけなないと思い、親にそのことを話し、法政大学を受けることにしました。そして、先生方に受験対策のサポートを受けながら、合格することができました。

■自分のやり方を信じて 受験に挑みましょう！

私がこのような形で大学に合格することができたのは、目指す大学に合格するために必死に勉強していたからというよりも、自分自身と長く向き合い将来について真剣に考えて目標をもっていたからだと思います。自分の将来の目標や夢は、勉強することに明確な価値を与えてくれるので、受験の際に大きな支えとなり、原動力になってくれます。決して簡単に決まることではないですが、面倒に思わず自分と向き合い、将来についてじっくり考えることが大学受験だけでなく、どんな場面でも一番大切になると思います。大学受験は長く険しいものですが、自分のやり方で自信をもって挑んでください。

東京理科大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
藤沢 滝の沢中出身

努力して充実した高校生活を送った人が 最後に成功できると受験で実感しました

■部活動を理由に勉強を疎かに したくありませんでした

私が仙台育英に入学するにあたっての第一の目的はラグビー部での活動でしたが、大学進学のことを考えて特別進学コースにすることにしました。特別進学コースは国公立難関私大を目指すコースであり、ラグビー部は 22 年連続全国ラグビーフットボール大会に出場している強豪なため、勉強と部活動のどちらも生半可なものではなく、両立するのは大変でした。しかし、私は勉強を疎かにして、「部活動が大変だからしょうがない」ということにはしたくなかったので、自分なりに工夫して頑張りました。

まず、大事にしたのは定期考査でした。1 日のスケジュールが、朝に朝練をして、学校に行って、部活をして、夜に勉強という勉強時間を多くとれない中で、学校での授業の時間と夜の勉強時間に集中して取り組むことで、定期考査ではいい点数をとることができ、良い評定を貰うことができました。そして、私は指定校推薦で大学に行くことを目標としていたため、校内模試にも力を入れました。春の全国選抜大会が終わってから、校内模試までの間は、部活動の顧問の先生と相談して、平日の放課後に学校に残って勉強する日を作りました。その上で、部活動も精一杯頑張り、全国ラグビーフットボール大会や国民体育大会に出場することができました。そして、高校 3 年間、勉強と部活動の両方を頑張ったおかげもあって、指定校推薦をいただくことができました。

■仙台育英は積み重ねた努力を 高く評価して下さる高校です

仙台育英では、日頃から努力を積み重ねている人を高く評価してくれていると思います。努力をすることで 100% 成功するわけではないですが、努力しないと 1% の可能性も生まれません。私は高校 3 年間を通して高校生活は努力した者勝ちであると感じました。そして、仙台育英は、勉強や部活動に集中して取り組むことができる良い環境が整っています。後輩の皆さんは、後悔しないためにも、一生懸命努力をして、楽しい高校生活を送って下さい。

最後に、仙台育英に入学してよかったです。

東京都市大学 都市生活学部 都市生活学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
住吉中出身

他のコースの人とも積極的に交流し 勉強面など良い刺激を受けました

■大学で留学制度を活用し

将来に役立てたい

私は 1 年生から 3 年生までの定期テストで最低でも評定を 4.8 をとれるように授業や自宅での自主学習を頑張ってきました。高い評定を取れば選べる推薦の選択肢が増え、将来の目標の実現へと繋がると考えたからです。

私がこの大学を志望した理由は、自分の将来なりたいと考えている職業の一つである都市デザイナーに適したカリキュラムがあるからです。この大学には、TAP というオーストラリアへの留学プログラムがあり、様々な国々の留学生と共同生活を通して英語を使った国際交流ができます。また、オーストラリアの都市での研修を通し日本との違いをこの目でしっかり見て学びたいと思ったので私はこの大学を志望しました。

私は、部活動と生徒会に所属していました。部活動や生徒会を通し特別進学コースからフレックスコースの人たちと交流することにより進路について話し合ったり、勉強のコツなどを教えてもらうなど良い刺激をたくさん受けました。こういった交流ができるので後輩のみなさんも部活動や生徒会に入ってみてはいかがでしょうか？

■自ら行動を起こせば

目標は見つかるはず

定期試験の対策方法は、教科書をしっかりと読み直し授業プリントやノートと照らし合わせることです。また、先生からもらった対策プリントを最低でも 2 回解けば高得点は確実にとれると思います。提出物を出さなければいくら高得点を取っても無駄になるので気をつけてください。

志望大学が中々決まらない人へのアドバイスは、自分が一番やりたいことができる大学を受験することです。やりたいことが見つからない人は趣味をつくったりアルバイトをするなど自分から何か行動を起こせば見つかるはず。実際に私もそうだったのでぜひ実践してみてください。

東洋大学 情報連携学部 情報連携学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
広瀬中出身

入学後に高校生活に慣れてきても 気を緩めることなく勉強しましょう！

■わからないところはすぐに 先生に聞きにいきました

私は東洋大学の情報連携学部情報連携学科に指定校推薦で合格するまでにあたって、2つの目標を持って挑んできました。

1つ目は「資格取得」です。私は情報科学コースの特徴である授業に並行して、情報系の資格取得をするための授業に3年間必死に取り組んできました。私は、男子バドミントン部に3年間所属していたこともあり、情報処理検定1級を取得する際は、とくに勉強と部活の両立がとても大変でした。しかし、情報科学コースの先生や顧問の先生の協力のおかげもあり、無事に合格することができました。

2つ目は「校内模試」です。私は指定校推薦にて大学を受験すると決めた2017年の2月から、同年の6月に実施される第1回校内模試の対策をしてきました。早い段階から過去問に取り組むことで、傾向と対策を取ることができました。分からない問題や質問をしたいときはすぐに先生に聞き、その日のうちに解決をしていました。

この2つの目標はこのコースに入学するときから常に持ち続けてきました。指定校推薦入試は、決して甘くありません。同じ指定校推薦枠を争うのは、主にこの2つと出席日数、評定平均値です。入学してから3ヶ月ほど経つと、高校生活にも慣れ、気持ちが緩んできます。そこでだらけてしまうと、指定校推薦枠は獲得することが出来ません。1年生の頃から予習と復習をしっかりと行い、しっかりと勉強をすれば指定校推薦枠は必ず獲得することが出来ます。

■大学に入学してからも パソコンの力をさらに伸ばします

また、指定校推薦にて大学に合格した後も気を緩ませてはいけません。一般入試やセンター試験にて大学に入学してきた人とは学力の差が歴然になってしまいます。それを補うために指定校推薦で合格した人の大半は、合格した大学から課題が送られてきます。それにもしっかりと取り組み高校での学習を完璧にして初めて本当に大学に合格したことになると私は思います。

私の入学する大学は英語をとて活用するので、これからは英検やTOEICなどの取得に向けてまた勉強したいと思います。また、パソコンをとて活用する学部なので、この情報科学コースで身につけた力をさらに伸ばしていきます。

日本大学 工学部 建築学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
富沢中出身

志望大のアドバイスから面接練習まで 先生方の支えのおかげで合格できました

■教頭先生にしっかり 面接をご指導頂きました

この度、私は日本大学工学部建築学科に入学することになりました。大学が決まるまでの軌跡をここに描いていこうと思います。はじめに、私の第一志望は別の大学でしたが先生からのアドバイスもあり日本大学工学部を受けることを決めました。次の日から指定校推薦に向けて様々なことをしました。まず日本大学についてたくさん調べました。この学校の特色や特徴、各教授の研究などについて調べました。その中で興味のある研究がありました。それは「福祉居住計画」というものです。これからのお年寄りの方達に向けた都市計画についてでした。

次に面接練習です。私は前回しっかりと面接の練習をすることなく受験してしまったので今回は力を入れて練習しました。教頭先生にしっかりとつき合っただき、完成度の高い面接をすることができました。

先生方の協力もあり日本大学は受かることができました。様々な人の協力なしでは受かることはできなかったと思います。仙台育英の代表として恥のないように大学生活、しっかりと学習していこうと思います。

駒澤大学 グローバル・メディア・スタディー学部 グローバル・メディア学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
河南西中出身

異文化交流や日本伝統文化の授業など 外国語コースでの経験は強みになります

■指定校推薦に向けて日頃から 規則正しく生活しました

高校入学後すぐに大学進学を目標とし、推薦での受験を希望しました。推薦入試では、学習面だけでなく生活面でも規則正しい生活が求められるので、日頃から意識することが大切でした。私は指定校で推薦を受けるために、学習面では、定期考査と資格等の取得に重点をおき勉強に取り組みました。また、出席日数や遅刻なども推薦条件として大切になってくるため、体調管理などにも気をつけました。検定は、英検 2 級を取得することで推薦で出願するにあたり、自分の強みとなりました。

私は外国語コースに所属し、3 年間充実した高校生活を送ることができました。私が受験の時、最も強みとなったのは、海外研修や他の国の方との交流、日本伝統文化を学ぶといった仙台育英でしかできない多くの経験を積むことができたことだと思います。また勉強するための環境がとても整っているため積極的に学ぶことで学力の向上に繋がりました。

私の希望する大学・学部の入学試験は書類と面接でした。志望理由書には、大学で学びたいことや自分がどのように学びたいことや自分がどのように学習を進めるかなどについて書きました。オープンキャンパスなど大学側が開催するイベントへの参加も志望理由書を書く際や面接の時に役に立ちました。

学習院大学 文学部 英語英米文化学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月外国語コース卒
宮城野中出身

将来の選択肢が少しでも増えるように 努力や挑戦を積み重ねていきましょう

■複数の国での研修を通して 視野が大きく広がりました

私は仙台育英に入学する前から指定校推薦での進学を目標としてきました。指定校推薦で合格を決めることができれば、春まで新生活の準備がゆっくりできるだけでなく、進む学科の専門分野の勉強も先取りしてできると考えたからです。そのために私は 1 年生の時から様々な取り組みをしてきました。成績は 3 年間を通してオール 5 を目指し、資格は英検をはじめ 6 つ取得しました。学業以外にも部活動やボランティア活動に積極的に参加して、推薦されるのにふさわしい生徒になれるよう心がけました。

高校生活では、外国語コースという恵まれた環境の中で様々な経験をすることができました。ハワイ、北京、アイスランドへの 3 度の海外研修が特に自分自身の成長に繋がったと思います。一部の地域に偏らず、全く異なった国々に行けたことで多様な文化や言語の形に触れ、視野を大きく広げることができました。また、ホームステイの受け入れをした際には、英語を心を通わせるツールとして使えたことが大きな喜びになりました。外国語や海外の文化を学ぶ意義を体感して見出すことができました。

■積み上げた努力が合格という 最高の形で返ってきました

私が受験に成功することができた一番大きな要因は、入学当初から将来の自分の可能性を出来るだけ広げられるよう努力したことにあると思います。成績の維持、部活動、資格取得、海外研修など、とても忙しく欲張りに過ごしました。決して楽な学校生活ではありませんでしたが、コツコツ積み上げてきたものが結果として第一志望合格というプレゼントとして返ってきたことで、頑張ってきて良かったと心から言えるようになりました。これから高校入学、そして進学を目指す皆さんには、自分が将来選べる選択肢を少しでも多く作れるよう努力や挑戦を惜しまないでほしいと思います。頑張ってください!!

獨協大学 外国語学部 ドイツ語学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
喜多方 第二中出身

興味がある分野をより深く学べて 将来像に近づける大学を選びましょう

■ IBDP の論文作成を通して ドイツに関心を持ちました

私が指定校推薦入試を用いて、獨協大学外国語学部ドイツ語学科を志望した理由は主に 2 つ程あります。

1 つ目は IBDP の中でドイツ語やドイツ史、ドイツについて興味を持ったからです。EE という 8000 字論文において、ドイツと日本の戦争観の違いから、両国の価値観の差異や類似点を研究しました。その際用いた文献が日本語訳だったため、現文のドイツ語でその文献を読むことができればより一層作者の意図が理解できるのではと考えました。さらに、美術の最終課題、美術比較においても、ドイツ人の作品を多く使用しました。以上のようにドイツに触れる機会が多かったため、ドイツ語を始めとしたドイツという国についてさらに学びたいと思いました。

■ IB と受験勉強を並行する為 指定校推薦で受験しました

2 つ目は、IB と受験勉強の両立です。私は高校 2 年時から IBDP を受講しており、3 年生の 11 月に行われる最終試験に向けての勉強がとても大変でした。大学と IBDP 試験勉強の両方を可能にするのは、指定校推薦入試だと考えました。指定校推薦で大学合格を得るためには、大学の定める評定平均値を持っていること、校内模試で良い成績を取ることが必要でした。何度も国語と英語の過去問を解きました。その甲斐もあり、無事に合格することができました。また、在学中には検定取得にも積極的に挑戦しました。英検 2 級や TOEIC、G-TEC を取得することができました。部活動では茶道部に所属し、日本伝統文化についての理解を深めると共に、他国の文化について更に興味を持つきっかけとなりました。

最後になりますが、皆さんも自分の興味がある分野、目指す将来像に近づけるような大学を選択し、その大学に入学できるようがんばってください。応援しています。

成城大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
六郷中出身

オークルームや図書室、GP ホールなど 自習スペースが充実しています

■一般入試より合格しやすいと 推薦入試を甘くみていました

私は、中学生の頃から大学に進学したいと考えていて、多数の指定校推薦がある仙台育英に推薦入試で入学しました。厳しい学力競争を勝ち抜かなければならない一般受験での入試を受けずに大学に合格できるのであれば、絶対に指定校推薦で、と甘く考えていました。指定校推薦で最も重要なのは6月の校内模試で、私は納得のいく結果が出せず、その結果、最初に志望していた大学の推薦は受けられませんでした。その時は落ち込みましたが、担任の先生の勧めもあり、気持ちを切り換え、自分に合っていて、学びたいことが学べる大学の指定校推薦をいただくことができました。

■入学までの時間を活用して 英語の勉強に励んでいます

推薦入試を受験するためには評定などの条件があるので、1年生のうちから準備しておく必要があります。定期考査では、5教科を万遍なく勉強し、提出物の期限を必ず守ることを心がけました。学校では自習室を活用しました。自習室は、オークルームや図書室、GP ホールなどがありますが、私がよく利用していたのはGP ホールの上にある2階の自習スペースです。もし分からないことがあっても、友人や先生にすぐに聞きに行くことができ、程よく物音もあったので、私にはとても良い環境でした。生活態度では、3年間無遅刻・無欠席を貫くことができました。また、私が高校3年間を通して特に力を入れてきたことは、資格取得の勉強です。少しでも自分の強みとなるように、英検や漢検、ニュース検定に挑戦しました。このことは、教養の幅を広げることができ、面接試験で話す内容として活用することができました。

推薦入試で合格すると、入学前に時間ができるので、その時間を使ってより一層英語の勉強に重点を置いています。また、春から住む家を早くに決めることもできました。大学入学まで余裕をもつことができたので、私は指定校推薦を利用して合格することができてよかったと思っています。コツコツと日々努力し、大学合格に向けて頑張ってください。

日本女子大学 文学部 英文学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
南光台東中出身

たくさんの人との出会いを通して 色々な物事に興味・関心を持ちましょう

■ 普段から計画的に授業の 予習・復習を行いました

文化や宗教などの異なる様々な国籍の人々と関わる仕事につけるよう、語学力を確かなものにしていきたいと考え、大学進学を目指しました。

3 年生の春までは、指定校推薦を考えていませんでした。しかし、担任の先生との面談で指定校推薦のことを話していただきました。その時から推薦入試を考え始めました。昨年の指定校推薦入学試験実施大学を見ながら、将来なりたい職業にあった学部、学科、校風、就職進路状況を調べ、自分に合った大学を選びました。その後は、6 月の校内模試に向けて今まで以上に勉強しました。

指定校推薦を志望するにあたって、校内模試の順位がとても重要ですが 1 年生からの過ごし方も重要だと考えます。普段の生活態度も校内選考で考慮されるからです。定期テストの勉強だけでなく、普段から計画的に予習・復習をしました。また健康面には気をつけて、規則正しい生活を送りました。そのおかげもあって、3 年間無遅刻・無欠席を貫くことができました。

■ 様々な視点から物事を 考えるよう心掛けました

さらに話し合いの場面では、一つの視点から物事を捉えるのではなく、複数の視点から物事を捉えられることができるように普段から心掛けました。このことは、推薦入試の小論文で大いに役立ちました。3 年間意識して過ごすことによって 3 年生になってから焦ることなく書くことができました。

1、2 年生の時から数多くの大学を調べ、毎日計画を立てて勉強することをお勧めします。たくさんの人との出会いを通して、自分の興味のあるものを見つけることができればより一層、勉強に身が入ると思います。これから受験する皆さんも、一日を大切に頑張ってください。

日本女子大学 人間社会学部 文化学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
門脇中出身

小さなことが将来の道を切り拓く 1 常に努力し挑戦を続けましょう

■在卒懇がきっかけとなり 志望大を決めました

私は校内で毎年行われる在卒懇で日本女子大学を知り、志望大学として目指すことにしました。仙台育英では在卒懇をはじめとして、大学進学した卒業生の話や、大学関係者の方々の話を聞く機会が多くあるので、そういった機会を大切に、真剣に話を聞くことをおすすめします。興味がないと思っていたり、知らない大学だったりしても、何気ないことをきっかけに志望大学を決めることができます。また、そういった場での情報収集は、自己推薦文を書く際や、面接を受ける時に役に立つので、そのことも心に留めておいて下さい。

私は、1年生の時に指定校推薦での合格を目指すことを決心しました。指定校推薦は3年間の様々な積み重ねが合格のカギになってくるので、例え1年生の時点で指定校推薦を視野に入れていないとしても、いざという時のために、良い成績を維持すること、部活動を頑張ることをおすすめします。

■皆勤賞で高校生活への意欲と 真面目さをアピールできます

私が指定校推薦を頂くために高校3年間努力したことは3つあります。

1つ目は学習面です。定期テストは平均90点以上を常にとることを目指し、テスト前は1日5時間の勉強をしていました。また指定校推薦の選考の大きな基準となる校内模試も全校100番以内を目指し、センターの過去問をたくさん解きました。

2つ目は部活動です。私は部活動に所属し、掛け持ちをして頑張りました。茶道部では部長を努め、とても充実した活動ができました。また、インターアクト部は部活動でしたがボランティア内容をそのまま内申書に書けるので、指定校推薦を目指している人にはおすすめです。

3つ目は皆勤賞をとることです。健康さと学校に通う意欲や真面目さを一番にアピールできるのは、皆勤賞だと思います。

どんな小さなことでも、その一つ一つが、あなたの力となり、大学進学への道を切り拓くことができます。常に努力する気持ち、挑戦する気持ちを忘れないでください。

武蔵大学 人文学部 日本・東アジア文化学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 フレックスコース卒
大沢中出身

苦しい思いをしてでも頑張った方が 進路選択の幅が広がります

■野球と学問を両立できる

大学の環境に惹かれました

私は、武蔵大学人文学部日本・東アジア文化学科に指定校推薦で合格することができました。私が指定校推薦で武蔵大学を受験しようと思った理由は、私は、高校 3 年間硬式野球部に所属していました。最後の夏、甲子園でベスト 8 という結果に高校野球が終わり、更に上のステージでも野球がしたい、だが、野球だけでなく、いずれ必ずなる社会人となる前に、学業に励みたいという思いがあり、どちらも妥協することなく文武両道を確立できる環境にあるからです。

指定校推薦には、各大学が課した受験資格があります。資格の基準に達しないと、受験することができません。受験資格には評定平均値や、欠席数などが一般的です。私は、入学当初から、日頃の授業態度や、定期考査、休まないという 3 つのことを意識して心掛けていました。定期考査の内容は、授業の内容だけです。授業をしっかり受けることは、定期考査の成績向上に繋がります。高校生は、大人になるために準備をする期間だと思います。今、苦しい思いをして頑張った方が進路選択の幅が広がります。私は、仙台育英は自分の頑張り次第で理想の進路を歩める確率は、県内トップだと思っています。

■合格は最終目標ではなく

進学後が大切です

指定校推薦の入試は、面接と小論文がほとんどです。仙台育英生の代表として大学入試へ行くので、恥ずかしくないように何人かの先生に協力をお願いし、対策に励みました。回数を重ねることが自信に繋がりました。志望大学を絞るところから、入試までの期間は、1 人でなんとかしようとするのではなく、たくさんの先生や友達に少しでも、話を聞いてもらったり、話を聞いたりすることが良いと思います。

大学に合格することが、最終目標ではありません。大学で何をするのが大切だと思います。私は武蔵大学では、野球も続け、日本史を学びたいと考えているので、春を迎えるまで、大学生活が始まってから困らないように、しっかり準備していきたいと思っています。

武蔵大学 経済学部 経済学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
若柳中出身

自分がどの大学に合っているかを 早めに考えしっかり調べましょう

■国際経済を学びたいと

考え志望大を決めました

大学を決めるということは早めにやらないといけないと分かっているながらも、私は大学を決めるのに時間がかかってしまい、慌てて決めてしまいました。その少ない時間でも、どこの大学が自分に一番合っているのかを、しっかり調べることができたのではないかと考えています。私は将来、商社に勤めたいと思っていました。その夢を実現させるために経済学を学ぶことのできる大学に入りたいと思っていました。そして経済の中でも国際経済について学ぶことのできる大学に入りたいと思っていました。その中で武蔵大学の経済学部で国際経済について学ぶことができると知りました。しかし大学の特徴などが分からないままではいけないと思い、オープンキャンパスに参加しました。オープンキャンパスでは、模擬授業を受けたり、先輩方のお話を聞かせてもらったりすることで、大学の特徴や大学の雰囲気を知ることによって武蔵大学に入学したいという思いが強くなりました。

■経済ニュースの確認を

毎日欠かさず続けました

武蔵大学へ入学する手段として仙台育英で指定校推薦の枠がありました。指定校推薦の条件として、評定平均 3.5 以上、サッカー部に 3 年間所属していた者という条件でした。評定はもともと 3.5 以上ありました。だからといって勉強の手を抜くのではなく、より一層勉強に力を入れるようになりました。テスト前はもちろん、授業でも集中して取り組み評定を落とさないように努力しました。サッカーでも 1 年次から、一生懸命 3 年間取り組んできました。そして武蔵大学の指定校推薦を頂くことができました。指定校推薦をもらってからが勝負で、武蔵大学の受験の内容は、小論文と集団面接でした。小論文の練習では、毎日かかさず新聞を読むことで、経済についての出来事を確認するようにしました。過去問題なども繰り返し、書くことに慣れるようにしてきました。面接練習も繰り返し行いました。そして本番では、小論文、面接ともにしっかりとすることができました。そして合格することができました。

大学を考えている人は、早めに自分がどの大学に合っているかを考えるべきだと思います。そして受験対策でも繰り返し練習を行うことで志望大学への合格実現に近づくとと思います。

明治学院大学 経済学部 経済学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
矢本第一中出身

指定校推薦に有利な資格取得や 校内模試に力を入れました

■大学では海外ボランティアに 参加し視野を広げたい

私は、世界の貧困問題について興味をもったことから経済学部を選択しました。ベネズエラは石油産出国であるにも関わらず、物価が 10 倍になる経済危機に陥っています。日本では貧困状態の子供が 6 人に 1 人といわれています。これらの社会問題を経済学の視点から追究したいと考えています。

数多くの大学の中で明治学院大学を志望した理由は、海外ボランティア活動が充実しているからです。私は幼い頃から海外に興味があり、留学もしたいと考えていました。また、東日本大震災を経験してからボランティア活動の素晴らしさを感じるようになりました。私は海外ボランティア活動に参加することによって、発展途上国の現状を理解することや、異国のの人々や文化にふれあうことによって多種多様な考え方を学びたいと思います。

■早めに登校し自主学習する 習慣を 3 年間続けました

私は指定校推薦で受験するにあたって、校内模試で高得点をとることを一番の目標としていたため、国語と英語をひたすら勉強しました。校内模試と 1 学期中間テストが近かったので、通学時間に英単語を覚えるなど、時間を無駄にしないよう気をつけました。私は 1 年生から毎朝 7 時半に登校し、オークルームで 1 時間勉強することを習慣としていました。そのおかげで、朝に集中して勉強ができるようになったと思います。

校内模試以外で力を入れたことは資格取得です。私は特に英検の勉強を頑張りました。指定校推薦には、英検や TOEIC スコアなどの条件がある大学がたくさんあるので、そのような資格の勉強をしておくことを強くおすすめします。私は英語科の先生に厳しくご指導していただいたおかげで、英検の面接では満点に近い点数をとることができました。

以上のことに力を入れ、指定校推薦で大学に合格することができました。後輩の皆さん、第一志望の大学に合格できるよう頑張ってください。

明治学院大学 心理学部 心理学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
蛇田中出身

3 年間何事にもコツコツ取り組むことで 進路選択の幅が広がります

■資格取得や検定に挑戦せず
書類作成で苦労しました

私は、高校 3 年の夏まで実際にどこの大学を目指すかという進路が全く決まっていなかった状態でした。そんなぎりぎりの状況でも大学に合格することができたのは、3 年間の高校生活において、あたりまえのことをあたりまえに取り組んだ積み重ねだと思います。私は 1 年生の時から無遅刻・無欠席をこころがけていました。さらに、定期考査においては、2 週間前から対策をし、また評定に関わる課題、ノート提出をかかさず行っていました。これらを 1 年次から習慣づけていたことで、3 年間を通して高い評定平均を獲得し、大学選択の視野の拡大に有利に働きました。

しかし、後悔していることをひとつあげるならば、3 年間を通して検定受験に努めようとしなかったことです。志望理由や調査書を作成する際、検定の有無が大きく影響し大変足を引っぱりました。幸い部活動に所属していたため何とか備えましたが、やはり記入内容が濃ければ濃いほど高校生活で何をしてきたかというものが大学の先生方にも伝わり好印象を与えます。なので私はもし推薦を少しでも考えているならば、部活動への参加、ボランティアへの取り組み、検定取得など積極的に挑戦することを強くおすすめします。

最後に、今後受験を控えているみなさん。3 年間コツコツ取り組んだことが支えとなります。ぜひ志望大学合格のために高校 3 年間に有意義なものにして下さい。

玉川大学 観光学部 観光学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月外国語コース卒
桃生中出身

自分の足で大学に足を運び 雰囲気直に体感しましょう

■ 語学留学を経て観光業界に 関心を持つようになりました

この仙台育英に大学進学するために必要な学力を得るため入学しました。外国語コースでは留学することができるコースなのでカナダへ半年間語学留学を目的として留学へ訪れました。英語力が向上しただけでなく積極性や協調性なども身に付きました。これらの経験から英語を使いたくさんの外国人観光客に日本の良さを伝えられることができる観光業界で活躍したいという夢を持つことができました。帰国後は自分に合った大学を見つけるためにオープンキャンパスや体験授業を受けるため、色々な大学に足を運びました。これは志望大学をどこにすべきか悩んでいる人たちにぜひやってほしいことです。実際に行って自分の目で見るということは私も大切なことだと思うからです。パンフレットなどからは分からない、大学内の雰囲気、先生方、授業内容もきっと分かると思います。

■ 3 年間で沢山の思い出を作り 笑顔で卒業しましょう

また、勉強面で一番重要なものは3年間の平均評定です。これは1年生のうちから日ごろの授業をしっかりと受け、期末テストや学年末テストで良い点を取り、5を取れるようにすべきだと思います。指定校推薦では3年間の平均評定はとても大切です。

期末テスト以外の勉強で私がやっておいてとても良かったと感じたことは資格の取得です。英検、漢検、数検の特に2級、準2級というのは大学の募集要項の1つでもある場合がほとんどなため資格を持っていて、有利になります。私自身も英検2級を持っていたため、とても有利になりました。このような資格は年3回もあるので何度も受験して準2級以上の資格を取得にぜひチャレンジしてみてください。日ごろの頑張りや努力の積み重ねは3年間の自分の強みになります。

それ以外でも大学の出願の際、ボランティアもやっておくと良いと思います。ボランティアでは普段あまり接点がない人や人に会うことができます。なのでぜひボランティア活動に1回は参加してみてください。

最後に、高校3年間はとても短いです。ですから勉学の資格取得、部活に励み3年後笑顔で卒業できるよう頑張ってください。思い出作りも忘れずに。

東京経済大学 経済学部 国際経済学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
茨木 平井中出身

部活動で残した好成績が 大学合格につながりました

■サッカーを続けられる
大学を選びました

私はサッカー部に所属していたので大学でもサッカーを続けたいと思い、東京経済大学を志望しました。

3年間サッカーに取り組んできた成果が、最後の1年で県内3冠、そして5年ぶりの選手権出場という形で表れて嬉しく思います。

杏林大学 外国語学部 観光交流文化学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月外国語コース卒
大河原中出身

家族や先生方、友達の支えが 合格できた一番の秘訣でした

■有意義な面接練習が 自信に繋がりました

指定校推薦受験をするにあたり、まず自己推薦文を担当の先生や各教科の先生などに何度も添削してもらい、学校の推薦会議に提出しました。文章の内容や構成、字の丁寧さを何度も繰り返し訂正したため、とても手間と時間が掛かりましたが、今となってはあの時手を抜かなくて良かったと思っています。そして、推薦会議に通った後、大学へ小論文（私の大学の場合、小論文の指定内容が自己アピールでしたので、推薦会議と同様の物を提出しました）を提出し、大学に面接を受けに行きました。大学の面接に関しては、面接練習を 10 人程度の先生にお願いし、十分な練習を積んでから臨みました。この面接練習の回数は、周りの生徒よりも多かったと思います。様々な先生に面接練習をしてもらうことで、毎回違った指摘を受けたり、先生方の経験談なども聞くことが出来たりしたので、とても有意義な時間となりました。更に、それらの練習は、自分自身の自信にも繋がったので、面接本番も、緊張せず気持ちにゆとりを持って落ち着いて話をすることが出来ました。

■合格後も大学生活に向けて しっかり準備しています

そして、指定校推薦を受験するには、上記の事をなす前に、高校・大学指定の基準を満たしていなければなりません。評定平均や欠席日数、校内模試の結果などは、指定校推薦には大きく影響します。それゆえ、指定校推薦を考えている方は、それらのことを意識しておくが良いと思います。

以上の事により大学に合格することが出来ましたが、家族や先生方、周りの友達の支えが合格のための 1 番の秘訣であったと感じています。これからは、高校時代に身につけたことを忘れず、しっかりと大学生活に向けての準備を進めたいと思います。

東京薬科大学 生命科学部 分子生命科学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
宮城教育大学附属中出身

ボランティア活動など生徒会での 多くの経験が面接に役立ちました

■指定校推薦を知り進路の幅が 広がったと思いました

私が大学進学を強く意識したのは、仙台育英に入学して、進路説明会に参加してからでした。それまでは、漠然と「大学に進学したいなあ」とはっきりとは将来の事を考えていませんでした。しかし、進路説明会で指定校推薦という進学方法を知り、とても多い大学に進学出来ることを知りました。このことを聞いて、とても驚いたのと同時に自分の可能性が広がる気がしました。

では、指定校推薦で志望の大学へ進学するにはどうしたらいいのでしょうか。それぞれの大学には、評定の基準が設定されています。その基準を満たさないと志望することができません。自分の志望する、目標とする職業に直接関係のある大学、興味のある大学はできるだけ早めに目をつけておき、その基準をクリアできるように日々の授業で予習・復習をして、定期テストで良い成績を残せるようにしましょう。勉強で理解しがたいところなどは、授業後や放課後に先生たちに質問に行けば、理解出来るまで丁寧に教えてくださいます。ときには、問題集の問題をコピーして一緒に解いてくれる時もあります。また、夏休みや冬休みには講習会があるので積極的に参加することをおすすめします。

■仙台育英は将来の夢の実現に 近づくことができる学校です

また、勉強面以外でも課外活動にも参加することでさまざまな経験ができます。実際に私も生徒会活動をしていて、生徒会では主に学校行事の手伝い、指揮などその他にも福祉活動や清掃活動やボランティア活動などの多くのできごとを経験することができました。その結果、自分の経験値も増加させることができ試験日当日の面接試験でも、言葉につまることなく面接を終えることができました。

以上のように、仙台育英では大学進学についてとてもサポートしてくれるので、将来自分がやりたい事を実現できる学校なので、自分の将来像をしっかりイメージして、志望大学への合格を頑張って下さい。

拓殖大学 商学部 経営学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 英進進学コース卒
多賀城第二中出身

何事にもチャレンジ精神をもって 臨むべくあえて厳しい環境を選びました

■東京で会社を経営する夢を 叶えるために進学しました

私が大学進学を決めた理由は、将来東京の方で会社を経営したいと思ったからです。なぜかという、私の父が会社を経営しておりそれを見て憧れをいただきました。なので経営学科に志望しました。

東京の大学に志望したのには理由があります。1つ目は、東京で経営していくために、つながりを増やしていきたいと思ったからです。同じ目標に向かっている同士いつかは、どこか仕事場で会ったりするかもしれないからです。知り合いだと、仕事もスムーズに進められたりします。そのことで良い結果を得られると思ったからです。他にも知り合い同士でプロジェクトが新しい仕事を提供してくれるかもしれません。2つ目は、一番最先端にいる東京の経済を肌で感じ上へ上へと目指していきたいからです。そこで自分がひっぱりっ立つ立場に立っていただけたらうれしいと思います。すごく変わりが早い経済で安定していける物を選ぶか、タイミングでいろいろな商品を出していく方がいいか自分に合った方法を決めていきたいです。

■レベルの高い環境で サッカーを続けたい

拓殖大学の経営学科に決めたのは、拓殖大学のサッカー部でサッカーをしたいと思ったからです。東京の中でもトップクラスの部活動なのでサッカーでも上を目指していきたいと思いました。自分の人生は何事にもチャレンジ精神をもって臨みたいと思っています。

今までサッカーでなんとか進学などもろもろやってきた中で、どこかではがんばらなきゃと思ってたときに指定校推薦の話があったのでチャレンジしました。最初は、自分の学力で足りるか心配していましたがチャレンジした甲斐があり、合格をいただけですごくうれしかったです。この調子で大学生活も色々なことにチャレンジしていき、自分の夢をかなえるために一つ一つコツコツとがんばっていききたいです。

学習院女子大学 国際文化交流学部 国際コミュニケーション学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月外国語コース卒
広瀬中出身

外国語コースの授業で 英語をもっと学びたいと思いました

■スキマ時間を利用して 資格検定の勉強に励みました

私は、入学前から指定校推薦を利用して進学したいと考えていました。3年間で特に意識して取り組んだことは3つあります。

1つ目は、あたりまえのことをきちんとやることです。挨拶、制服の正しい着こなし、毎日出席する、成績を保つ、など初めのうちは簡単なことのように思えても、学校生活に慣れていくに従って崩れていきがちです。しかし、指定校推薦で進学するという事は学校の代表としての責任があります。それにふさわしい生徒になるには、基本的なことをきちんと出来ておかなければならないと考え、普段からしっかりと生活態度を心がけました。

2つ目は、資格の取得です。外国語コースに所属し英語に触れる授業を数多く受けてきた影響から、さらに英語力を高めたいという意欲が湧き、TOEIC や英検に挑戦しました。その他様々なものに視点を向け、漢検や日本時事能力検定試験にも挑戦しました。毎日の授業の予習・復習・宿題に加え、資格の勉強をするのはハードでした。ですが、通学中や授業間の休憩時間、放課後の図書室での時間などスキマ時間を利用して工夫して効率良く対策をしていました。忙しさはありましたが充実した日々を送ることができました。資格は自信になるので、早いうちに対策をして取得することをお勧めします。

■校外活動で見識や人脈を 広げることができました

3つ目は、ボランティア活動です。生徒会執行部の活動の一環で校内行事の手伝いをする他、施設のハウスキーピングをしたり、チアダンスチームに所属し地域復興のためのパフォーマンスをするなど、可能な限り校外にも行動範囲を広げました。活動を通して人脈を広げることができました。先輩や他コースの知り合いや幅広い年齢層の方々とコミュニケーションをとることが増え、見識を広げることもできました。そこで得た経験や知識は進路選択に役立っています。

自分なりの計画を立て、目の前のことをひとつひとつこなしていくことが目標達成に繋がると信じて、頑張ってください。

工学院大学 工学部 機械システム工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
東京三鷹第三中出身

仙台育英で親身になって支えて下さる 先生方と出会えました

■夢にどれだけ近づけるかを
考え志望大を選びましょう

私が指定校推薦に合格するためにがんばった事が2つあります。1つ目は志望大学をしっかりと選ぶ事です。志望大学を偏差値や知名度など深く考えずに選ぶ事は簡単です。もちろんそれらも大切だと思いますが、一番大切なのは自分の将来にどんなメリットがあるのか、どれだけ夢に近づけるかが大切だと思います。だから、カリキュラムや研究内容、就職先などまで深く調べる必要性があるのです。私の担任の先生や学年の先生方は私が入学後の事まで考えてくださり、自分に合った大学と一緒に考え、自分の夢に向き合ってくれました。

■私の合格を自分の事のように
先生が喜んで下さいました

2つ目は面接練習です。面接練習をしっかりとした事です。面接練習は適当にやってしまうとあっという間に終わってしまいます。1日1回を大切に、休み時間などを利用し先生に質問したりする事をお勧めします。私は試験の3日前まで将来やりたい事がまとまらず、悩んでいました。面接練習でも全く答えられず、面接担当の先生に怒られると思っていましたが、一つ一つ丁寧に教えて下さいました。その先生がいろんな将来の事など教えてくださって、自分のやりたい事をまとめるヒントになりました。先生は3日間で2回も面接練習や相談に乗ってくださって、とても感謝しています。そして試験直前で焦っている自分に「落ち着いて答えていけば、面接官もきっと理解してくれる」と声をかけてくれてとても心強かったです。試験もその言葉のおかげで落ちついて答える事ができました。試験が終わった次の日や合格した時もまっ先に声をかけてくださり、自分の事のように喜んでくれました。

この仙台育英で担任の先生や面接担当の先生を含め良い先生にめぐり会えた事に感謝しています。これから受験する人たちも先生を上手に活用してほしいと思います。

創価大学 文学部 人間学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
八乙女中出身

生徒会、留学体験、ボランティアなどの 体験が大学合格につながりました

■英検 2 級を 1 度のチャンスで
取得できて自信になりました

この大学を目指したきっかけは、なかなか両立して学ぶことができない分野を同時に学ぶことができる点と、自分の将来就きたい仕事の資格が取れるからです。そして何より、自分が将来、学ぶのに適した環境があることを実際にオープンキャンパスに行き、感じ取ることができたからです。この大学に進学することを決意したのは 3 年生の春頃で、決して早いスタートとは言えませんでした。英検何級を持っていたらいいのかなど、すぐに大学の推薦の募集要項をチェックしました。そして、3 年生の初期には英検 2 級を猛勉強し、たった 1 回のチャンスしかありませんでしたが、無事に合格する事ができました。その体験が自分自身にとって大きな強みになったと思います。

そして、高校 1 年次から 3 年間、生徒会執行部に所属をして活動したことや、1 年次に 3 ヶ月の留学体験をしたこと、ボランティア活動を積極的に行ったこと全てが自分の良い経験となり大学合格にもつながったと思います。そしてこの 3 年間で自分自身が大きく成長できたと思います。

受験期は本当に辛いことも沢山ありますが、周りの人の支えをととても強く実感できる時期だと思っています。毎日一日一日、感謝する気持ちを忘れずに、ストレスを感じてもそれを糧に自分を成長させるいい期間だと思い過ごしてください。そして、沢山の楽しい思い出を高校生活で作ってください。

東京工科大学 デザイン学部 デザイン学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
岩切中出身

早くから進路を決めたことで しっかり入試対策ができました

■デザインを実践的に学べる 大学の特色に惹かれました

私がこの大学への進学を目指した理由は、将来どの職業に就きたいのかを考えたときに、好きな美術を使った仕事をしたいと考えたからです。その中でもデザイン系の仕事を目指すことに決めて、大学はデザインを学べるところにしようと思いました。その中でも、仙台育英に指定校推薦の枠があった東京工科大学は、実技授業の時間が多く実践的な学習ができるという特徴があります。そこに魅力を感じ、私はこの大学を志望しました。

指定校の推薦を受けるために、私は国語・数学・英語の3教科を重点的に勉強しました。特に苦手な数学と英語は、公式や文法を自分なりにノートにまとめたり、過去問で繰り返し解いたりして、苦手な所は少しでもできるようにし、得意な所は必ず解けるように学習しておきました。

普段も、評定で良い結果が出るように、日々の授業の板書をしっかりと取り、それを定期テスト前にまとめる、といった学習の工夫をしていました。そして、体調管理には気を配り、できるだけ欠席しないように努力しました。

■美術部の活動を頑張りながら 家庭学習も怠りませんでした

また、情報科学コース内で取れる MOS、情報処理検定の資格は全て取りました。そのために家でも少し復習するなどの努力を重ねました。

部活動も美術部に3年間所属し、文化祭などでの発表活動を頑張りました。文化祭では様々な人が展示や体験を楽しんでもらえるように努力しました。

私が大学受験を成功できたのは、高校1年生のうちから進路の方向性を決め、早めに志望大学を決めたのが一番の要因だと思いました。特に、仙台育英には様々な大学への指定校推薦があります。その推薦を活用するのも、大学を選択する要素の1つとしても良いと思います。

東京電機大学 工学部 機械工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
みどり台中出身

進路選択は合格だけではなく就職など 卒業後を見据えて選ぶことが大切です

■機械工学を専門的に学べる

大学を選びました

私は一般入試での受験を考えておりましたが、3年生になって指定校推薦があることを知り、受験しました。

指定校推薦で受験するためには評定が必要です。私は1年生から3年生までずっと日々の授業でノートを取り、先生の話を集中して聞くように心がけていました。また、定期考査に向けた勉強をしっかりとやり、定期考査では良い点数を取ることが出来ました。指定校推薦では1年生から3年生までの成績である評定も大事ですが、その前に仙台育英生同士で志望する大学が同じだった場合には校内選考があります。そのため、1年生から3年生まで気を抜かずに授業をしっかり聞き、定期考査では計画的に勉強計画を立てて頑張ることが大切だと思います。

さらに私は大学の選び方も大切だと思います。私は将来なりたい職業があり、その職業になるためには機械工学を学ぶ必要がありました。そのため私は、自分の将来なりたい職業についての分野を学べる大学をパンフレットや大学のオープンキャンパスなどに行ってじっくり大学を選びました。特にオープンキャンパスでは、実際に大学の設備や校風が分かり、大学で学んでいる授業の様子や研究室ではどのような研究をしているかなど大学全体を知ることが出来るので、大学選びで迷っているのなら、オープンキャンパスに行き選ぶのが良いと思います。また大学がゴール地点ではないので、就職など先を見据えた大学選びが大切だと思います。

■推薦入試は大学の学問に向け

勉強できるのがメリットです

指定校推薦の良い所として、合格後大学で学ぶ教科に重点を置いて勉強出来ることです。大学にもよりますが、指定校推薦で受かるとすぐ大学の説明会があり、実際に大学で学ぶことが分かるため、一般入試で受かる人よりも早く勉強することが出来ます。指定校推薦で受かったからといって、勉強を怠るのは良くないと思います。大学によっては入学後すぐにクラス分けのテストがあります。一般入試で受かった人と学力に差が出ないように勉強は続けていくことが大切です。

自分に合った大学を1年生のうちから考えて、大学によっては色々な入試があるので自分で考えて、大学に合格できるように勉強は一生懸命頑張ってください。

デジタルハリウッド大学 デジタルコミュニケーション学部 デジタルコンテンツ学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
広瀬中出身

けじめを持って前向きに物事に臨み 挑戦を続ければ合格に近づけます

■メリハリのある高校生活を 過ごすよう心がけました

私が大学進学を目指した理由は多くの体験を積み、しっかりと人生を歩んでいきたいと考えたからです。私は高校に入学したばかりの時、授業にちゃんと着いていけるのか、どのように日々を過ごしていけばいいのか、など不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、そのような気持ちを持ち続けても前に進むことはできない、と私は考え、明るく物事に取り組んでいくことで、だんだんと高校生活に慣れていきました。また私は高校生活を過ごしていくにあたって、生活習慣に気をつけていました。この心がけによって私は3年間一度も欠席することもなく登校し、万全の状態での勉強や行事に臨むことができました。また私は常に「やることはしっかりやる」ことを意識して高校生活を送っていました。私に限らず人は楽なことがあるとそれに逃げてしまいがちです。そうなってしまうと、本来やらなくてはならないことにも手をつけなくなってしまい、最終的にはまとまりのない人間になってしまいます。私はそうならないように「やることはしっかりやる」といったけじめをしっかりとつけて生活にメリハリを出すように心がけました。

■勉強はとても大変でしたが 3つの資格を取得しました

こうした心がけを元に生活していくにつれて、私の今の知識ではまだ夢が叶わないことに気づき、進学を志すようになりました。私はそのために資格取得に力を入れていました。資格を取得すれば、進学や就職するにあたって有利になり、自分の強みを相手にしっかりと伝えることができるからです。資格の勉強は大変なことでしたが、私はあきらめずに勉強に取り組み、最終的に3つの資格を取得することができました。そして私は資格を取得したことと、3年間学校を休まなかったなど、複数の強みを持つことができたので、指定校推薦で進学するという決断に至ることができました。私は主に面接についての練習を行い、基本的な質問はもちろん、大学の系統に関する質問などを練習し、結果的に大学に合格することができました。

これらの経験から私は、けじめを持って前向きに物事に臨み、あきらめずに挑戦を続ければ、望んだ大学へ行けると考えました。

神奈川大学 経営学部 国際経営学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
秋田 河辺中出身

3年間続けた勉強と部活動の両立が 合格という形で実を結びました

■海外留学プログラムに
惹かれ志望大学を決めました

私は、女子サッカー部に所属していたので大学でもサッカーを続けたいと思い、神奈川大学を志望しました。また、国際経営学科には海外留学プログラムがあり、そこにも魅力を感じました。

指定校推薦を考えたのは3年生になってからでしたが、1年生の頃から勉強と部活動の両立を目指していたのでそれが目に見える形で表れて良かったです。

神奈川県 外国語学部 スペイン語学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月外国語コース卒
河南東中出身

留学やボランティア活動など自分を 成長させてくれる経験をしましょう

■授業を通してスペイン語を 深く学びたいと考えました

私は高校 1 年生の時の第二外国語の授業でスペイン語を取っていました。授業が楽しく、スペイン語をもっと深めて勉強したいと思うようになり、スペイン語学科を希望していました。そして、ハワイ研修、3 カ月のカナダ留学、アイルランド研修を通して、異文化理解をすることの楽しさを知り、文化という分野の勉強もしたいと考えていました。そのどちらの勉強もできる大学がここだと、オープンキャンパスに行き、確信することができ、この大学にしました。

高校生活ですべきことは、たくさんあります。まず、オープンキャンパスにたくさん参加することです。最初にも書いたように、実際にキャンパスを見ることによって、大学の資料だけでは分からない雰囲気を知ることができます。また、たくさんの大学に行き、比較することで自分の本当にしたいことが分かると思います。

2 つ目は、留学や海外研修、ボランティア活動など自分を成長させてくれることをすることです。このような活動を充実させると、自分の考え方や価値観を変えてくれる上に、自分のアピールポイントになります。このアピールポイントは、たくさんあればあるほど有利です。

■入学後を見据えて 勉強に励みましょう

3 つ目は、資格を取ることです。1 つの種類資格を取るといっても、何種類か取るといいと思います。これもまた、自分をアピールするうえで大事です。自分はどのようなことができるのか証明する大切なものです。

4 つ目は、当然ながら勉強を頑張ることです。日頃の定期テストも大事ですが、特に指定校推薦で行く場合、3 年生の第 1 回校内模試の順位が重要です。1 年生のうちから積み重ねた努力がこの模試でははっきりと出てくると思います。コツコツと勉強することが大事です。その他の推薦入試を受ける人も、勉強は大事です。推薦入試は、センター試験や一般入試と比べ早く決まるうえに、学力重視の試験ではないので、大学に入学してから大変になります。勉強はできるにこしたことはないので、毎日努力を少しずつすればいいと思います。後悔のない生活、受験ができることを願っています。頑張ってください。

横浜薬科大学 薬学部 臨床薬学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
成田中出身

多くの先生方との面接練習を通して 自分を見つめ直すことができました

■オープンキャンパスに参加し 入学後を想像してみましょう

私は今回、指定校推薦で横浜薬科大学に合格しました。その際の体験談についてお話しします。

私がこの大学を選んだ決め手は、実際に様々なオープンキャンパスを見て回った中で一番過ごしやすそうな場所だと感じたからです。大学は、自分の将来への通過点にすぎないので、将来を見据えた大学選びをする必要があります。ですから皆さんも大学を決める際は、是非一度は様々な大学のオープンキャンパスに行き、過ごしやすさなどの大学へ入った後のことをよく考え、自分の目で確かめてから決めることをお勧めします。

■親身になってご指導くださった 先生方に感謝しています

次に指定校推薦についてですが、以前の私は楽なイメージがありました。しかし実際に体験してみるととても大変です。まず、指定校推薦で受験するには評定が大事になってくるので3年間の定期テストで高得点を取ることを心掛ける必要があります。大学ごとに指定校推薦枠の数が決まっており、校内で枠争いをすることもあります。大学合格後も、学校で講習を受けたり、大学からも定期的に課題が出されるので、一般入試で受ける他の受験生以上に勉強する必要があります。しかし、何よりも指定校推薦には他の受験生よりも進学先が早く決まるという安心感があります。更に、他の受験生より一足先に、物件探しなどの大学への準備を進めることができるというメリットがあります。ですから私は、指定校推薦で受験して良かったと実感しています。

指定校推薦入試では、小論文と面接がありましたが、先生方が親身になって指導してくださりととても力がつきました。小論文では、先生方が、大学の学部に沿って出題されそうなテーマをいくつかピックアップしてくださり、実際の試験でも、それと関連した内容が出たので練習の成果を出せました。面接では、たくさんの先生方に面接官をやってもらい、緊張感のある練習ができ、今までの自分を見つめ直すことができました。私の進路の為に尽力をいただいた先生方にはとても感謝しています。

これから受験する方も、進路実現に向けて精一杯頑張ってください。

城西大学 経営学部 マネジメント総合学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
中国出身

協力の素晴らしさや豊富な知識など 仙台育英の 3 年間で多くを学びました

■経営戦略を明確に分析できる 企業経営者になりたい

この大学のマネジメント総合学科において、会計、情報、英語の 3 分野の基本な資格を取得したいです。マネジメントは、人、モノ、お金、時間、情報などの経営資源を効率的に活かす方策を練り、実行することです。大学で経営方法分析の手法及び理論的な分析方法の下で経営戦略を評価できる能力を養いたいと考えています。大学で学んだ知識を活かし、グローバル化の進む経営環境の中で、将来は、企業の経営戦略を明確に分析できる経営者となり、現実社会の中でさらに経営分析能力を向上にさせていきたいと考えています。また多くの海外姉妹校があります。学生間のコミュニケーションを深めながら、興味・関心に応じた問題解決能力と政策立案能力の育成を図っています。

私はこの大学のホームページから、この大学の多くの情報を知りました。私の将来の夢が企業の経営者になることだからです。私は経営を学びたい気持ちが強くなりました。

学校の定期考査は、テスト前に各科を復習し、プリントを暗記するように努力しなければなりません。毎日固定時間があってその日に学んだ知識を復習します。授業の後は宿題も時間どおり完成しなければなりません。休日と長期休暇もたぶん 2～3 時間は国語と英語を勉強します。

大学面接前に、先生に何度も面接練習を受けました。練習を頑張りましょう。大学面接は、緊張しないでください。先生はとても優しいです。

私は仙台育英の 3 年間は多くのものを学びました。例えば、クラスメートの間での協力、先生が教えてくれた知識、学校組織のイベントに積極的に参加したいと考えています。

自分の夢のために頑張りましょう！

文教大学 情報学部 情報システム学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
金ヶ瀬中出身

指定校推薦での合格を目指すならば 何事も積極的に取り組みましょう

■プログラミングを学ぶ環境が 整っている大学を選びました

もともとプログラミングに興味を持っていて、パソコンのプログラミングの技術を学ぶための環境が整っている大学を探していました。多くの大学の中から自分のニーズに合った大学を調べ、文教大学を選んだきっかけは2つあります。

1つ目は、県外の大学ということです。私は、大学に入学するにあたり、1人暮らしをしたいと以前から考えていました。そのためのアパートやマンションを探す時間を得るには指定校推薦という入試方法は自分には合っていると思いました。引っ越し準備もしないといけず、一般入試より、準備の時間があることは、とても便利でした。

2つ目は、住む環境の良さです。キャンパスがある神奈川県茅ヶ崎市や、東京に近く、治安が良い場所です。そのため、生活に困らないということも魅力の一つです。

■推薦合格は大学に向けての 勉強にいち早く取り組みます

文教大学情報学部情報システム学科の指定校推薦入試は、書類審査のみだったため、面接や小論文の練習はしませんでした。その分、書類だけで合否が決定するため、書類を書く作業は慎重にしました。

また、大学の学習で分からなくならないように、高校では基礎に重きをおいて高校の学習に取り組みました。

指定校推薦で受験するためには評定や生活態度などの条件があります。私は、指定校推薦で合格するために、校外の活動にも積極的に参加しました。また、指定校推薦では評定がとても大事なので、定期試験でも気を抜かずに計画的に頑張るべきだと思います。そして、仙台育英ならではの行事もあるので何事も積極的に取り組んでください。指定校推薦で合格すれば、入学までの時間ができるため、大学に向けての勉強を早くから始めることができます。大学合格に向けて一生懸命頑張ってください。

東京国際大学 言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
七北田中出身

部活動の練習や遠征で疲れても 勉強することの大切さを実感しました

■面接で役に立つので 読書をしましょう

私は高校選択の時は、剣道が強い高校を選択し、仙台育英に入学しました。高校に入ってから、毎日部活がある忙しかったのですが、その合間に大学進学で役立つように日本英語検定準 2 級を取得しました。

大学への進学の仕方は、私は指定校推薦で受験しました。指定校推薦受験で大事なことは、最後の校内模試の順位と、3 年間の評定平均と資格です。赤点はあまり取らないで、70 点以上をキープしていれば、選択肢が広がると思います。

そして、要項には資格を指定してくる大学もあります。一番多いのは、英検です。他にも、検定を多くとっておくと指定校の面接時に話をすることができます。部活をしている人は、今は本気で部活をしていいと思います。けど、1 つ検定を取得したり、勉強と部活の両立を思ってる以上に頑張る事で、大学の選択肢が増えると思います。部活がキツイのはわかりますし、遠征で疲れてテスト勉強もできないと思っても、やった方がいいと実感しました。

指定校の面接の時、本を読んでいるかを聞かれました。本を読んでいた方が良いと思います。内容をしっかり説明できるようにし、そこから自分が何を感じたかも考えるともっと良いと思います。

城西国際大学 看護学部 看護学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
秋田 八幡平中出身

ボランティア活動や資格取得など 強みを持つことが自信に繋がります

■オープンキャンパスは何度も 参加して損はありません

看護を学ぶことが出来る大学に進学したいという気持ちはありましたが、看護大学は全国にたくさんあるうえ、短期大学や専門学校という選択肢もあるので、目指す大学を決めるのに時間がかかりました。オープンキャンパスや進学説明会に積極的に参加することで、その大学の特色が見えてくるのでオープンキャンパスはたくさん行って損はありませんでした。最終的に城西国際大学を指定校推薦で受験することになりましたが、その時に評定は大事だなとつくづく感じました。

■豊富なボランティア経験が 自己 PR の材料になりました

私は 1 年生の頃から、遅刻や欠席は絶対にしないと決めていました。また、定期考査は評定に直接関わるので、特に力を入れて取り組みました。もう一つ、評定と同じくらい大事なのが、ボランティア活動や資格などの内申点です。私は生徒会やインターアクト部に所属していたこともあり、ボランティア活動はよく参加していました。ボランティア活動をしていたおかげで、自己推薦文を書く際や面接練習をする際の自分をアピールする材料になりました。指定校推薦で大切なのは、いかに大学に自分の熱意を伝え、自分をアピールするかだと思います。指定校推薦を考えている人は、普段の学校生活を気を付けるだけでなく、ボランティア活動に積極的に取り組んだり、資格取得にも力を入れて頑張ってください。何か人と違う強みを持つことが、自分の自信にも繋がると思います。

大学に進学するにあたって最も重要なのは、自分が大学に行って何を学びたいのかを明確にすることだと思います。明確にすることで自分のモチベーションを上げることにも繋がります。自分に最も合う大学を選べるようにオープンキャンパスや進学説明会には、ぜひ積極的に参加してもらいたいと思います。これから大学進学を目指すみなさん、自分に自信を持って頑張ってください。

東京情報大学 総合情報学部 総合情報学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
しらかし台中出身

色々な経験を通して様々な人の考えや 意見に触れることで成長できました

■ゲームプログラマーという

夢を追いかけていきたい

指定校推薦で大学進学を目指した理由は、将来ゲームプログラマーになる為にかなりのお金が必要だと思ったからです。しかし、夢は追いかけてみたいと思い、インターネットを駆使し、特待生制度だと授業料がかなり抑えられる推薦枠があることを聞き、1年生の頃から成績は3を取らないように、勉強に力を入れてきました。

私自身、部活は何も所属しておらず高校生活3年間は資格取得とテスト勉強の3年間でした。1年生から資格の勉強を行い、この3年間で4つのIT系の資格合格ができました。テスト勉強では、2週間前勉強をして平均点数70点に抑え授業態度や提出物をきちんと行い、評価は5と4だらけでした。それで、指定校の枠が取れても次にやる必要があります。自己推薦文を既定の期間中に短時間で終わらせることですが困難なため、多くの時間を有します。そのため、前々から担当の先生に添削をしてもらい、自分の短所と長所をまとめなければなりません。私は部活動やボランティア活動をすることをおすすめします。活動団体に所属することで、様々な経験をすることができるため、自己推薦文を書きやすくなります。だから、色々な経験を積むことで、自己の能力を高めることができ、様々な人の考えや立場の意見などを肌で感じ取ることができます。

■多くの先生方のお陰で

第一志望に合格しました

最後に、私は多くの先生方にお世話になり、指定校推薦で大学合格できました。皆さんの入試制度は十人十色だと思いますが、何かしら先生方を頼ってみてください。高校生活の3年間はあっという間に終わります。勉学で積極的に取り組むこと、遅刻・欠席をしないことだと思います。志望大学は早めに決めた方が目標が立てやすくて良いと思います。コツコツと日々の努力が必要です。高校3年間いろいろなことがありましたが、仙台育英に来て良かったと思います。仙台育英で学んだことを大学でも生かし、ひたむきに勉強頑張っていきたいと思います。

神田外語大学 外国語学部 イベロアメリカ言語学科スペイン語専攻に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
利府中出身

日々の生活や礼儀も受験には必要なので きちんと挨拶し率先して行動しましょう

■大学主催の講座や説明会への 参加でやる気を維持しました

志望大学への合格のために私が心掛けたのは、何事にも全力で取り組むことです。

私は部活動で、運動部に所属していましたが部活動と勉強の両立は難しく、一時期は合格基準に満たないのではな
いかと不安になることもありました。しかし、志望大学の主催する講座や説明会に参加することで先輩や講師の方々、
同じ大学を目指す人と知り合い、入学後の生活や大学での授業の様子を知ることができ、モチベーションを保つこと
ができました。部活・勉強、大学の集中講座による慣れない千葉での生活、大変なこともたくさんありましたが、全
力で取り組み、それらを乗り越えたことが、合格につながったのだと思います。

■何を聞かれてもいいように 面接は十分に準備しましょう

神田外語大学の推薦入試では英語リスニング、小論文、面接があり、私が入試用要項を確認したときには、面接は
日本語で行われるとありました。しかし、実際にはスペイン語のネイティブの教授が面接官として担当し、簡単ですが、
スペイン語での質問を受けることになりました。私は仙台育英で、第二外国語としてスペイン語を学んでいたことも
あり、普段は簡単な質問になら答えることができました。しかし、面接中は緊張してしまい頭が真っ白になり、質問
された内容を理解することができずに、答えられないことがありました。面接では何を聞かれるのか分からないので、
十分な準備と心構えで取り組むことが重要だと思います。

勉強や部活動以外にも、日々の生活での様子や礼儀正しくすることも大学受験には必要なことだと思います。私は、
挨拶や率先して行動することはとても大切なことだと思うので、是非、これから受験する皆様にも実践してもらえ
たらいいと思います。

国際医療福祉大学 薬学部 薬学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
仙台第一中出身

推薦入試を諦めていた私に 先生がチャンスを与えてくださいました

■推薦入試に向け今までの 自分の問題点を見直しました

私は祖母や叔母が薬剤師として働いていたため、その姿に憧れて薬学部への入学を目指していました。そのため本校の指定校推薦の枠に薬学部がいくつもあることを知ったとき、その枠に入ればと思っていましたが、私は1年次から生活態度にあまり気をつけていなかったため推薦そのものを諦めていました。しかし、事前に受けていた校内模試の結果から、担任の先生が指定校推薦を勧めてください、私にも希望が見えました。このチャンスを大切にしたい、無駄にしたくないと思い、自分の様々な問題点を見直すことができました。先生が薦めてくださらなければ、今の私は無かったと思っています。

推薦枠に入ってから、毎日必死で無遅刻、無欠席を心がけました。その他にも私なりに全力で受験対策に取り組みました。私が受験した大学に面接試験や小論文試験に加えて、2科目の学科適性があり、前年度は指定校受験者の約6分の1が不合格になっていることを知っていたので、枠に入ったからといって油断はできなかったためです。私は人生で最大級に不安でしたが、それぞれの試験対策にたくさんの先生方が付き合ってください、最後まで励まし、応援してくださったので少しずつ自信を取り戻すことができました。

■校内模試と生活態度が 指定校推薦には大切です

指定校推薦を通して校内模試や普段の生活態度の大切さがよく分かりました。模試の結果がもう少し悪かったり、欠席日数が増えたりすれば、担任の先生が指定校を勧めくださることも、希望の大学を受けることもなかったと思います。もし、指定校で受験したいと考えているのであれば、この2点だけは気を付けてほしいと思います。仙台育英は、チャンスを与えてくれて、自分が本気になれば必ず先生方が応援してくださる。至れり尽くせりな学校です。現に、諦めていた私を合格へ導いてくれました。これから受験生になる方々には、たくさんチャンスがあるはずです。自分の志や先生方を信じて全力で頑張ってください。

共愛学園前橋国際大学 国際社会学部 国際社会学科国際社会専攻英語コースに
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
八戸 白山台中出身

1 年次から色々な事に取り組んでいけば 自分のためになり必ず役に立ちます

■資格検定は受験機会を考えて

1 年次から挑戦しましょう

私は、指定校推薦で共愛学園前橋国際大学に合格しました。これから、大学合格に向けて私が思うポイントをいくつか伝えていきたいと思います。

まず 1 つ目は、定期テストの成績を維持することです。どこの大学を受験するか決まっていなかったら、できるだけ良い成績を 1 年生のうちから維持させておいた方がいいと思います。そうでないと 3 年生になってから評定平均値が足りず、行きたい大学があっても行けなくなります。私は、ギリギリまで志望大学が決まっていなかったのですが、成績を維持していたおかげで、評定平均値が足りないから志望大学に行けないということがありませんでした。

2 つ目は、資格の取得です。資格を持ってないと評定平均値を満たしていても、その大学を受験することはできません。私が、資格の取得に力を入れて勉強するようになったのは、3 年生になってからです。もちろん、それまで全く検定を受けてない訳ではありません。私自身、1 年生の時から積極的に受けておけばよかったと後悔しています。なぜなら、取得したい資格によって 1 年に数回しか受けられないため、1 度の失敗がその後に大きな影響を与えるからです。これは、あまりギリギリだと提出書類の締め切りに合否が間に合わないことを意味しています。1 年生の時から受けていけば、3 年生になってから焦ることなく受けることができます。

3 つ目は、課外活動への参加です。私は弓道部と奉仕活動を行うインターアクト部に所属していました。弓道部では弓道地方審査を受け、段を取得しました。さらにインターアクト部では、色々な活動に参加してきました。これらの活動を通して多くのことを学ぶことができたと同時に、自分を成長させることもできました。

■スピーチコンテスト挑戦が

進路決定につながりました

最後に、チャンスを無駄にしないことです。私は 3 年間スペイン語を学んできました。2 年生の時、先生からスピーチコンテストのモデルスピーカーとして出場してみないかと声をかけていただきました。最初はもちろん動揺しましたが、これは自分にとっていい経験になるだろうと考え出場を決めました。結果は、自分でもびっくりするほど上手く発表でき、とてもやりがいを感じました。それまでスペイン語の勉強を続けようか悩んでいました。ですが、これを機に第 2 外国語として学べる大学に進学しようと決意することができました。

こうした 3 年間の積み重ねが合格の鍵になるのではないかと思います。高校 3 年間はあっという間です。指定校推薦を視野に入れているのなら、後悔することのないよう 1 年生の時から色々なことに取り組んでください。それは自分のためにもなり、必ず役に立つと思います。

新潟薬科大学 薬学部 薬学科に
指定校推薦で合格

平成30年3月特別進学コース卒
仙台第二中出身

志望理由を明確にしておくことで 自信を持って面接に臨めます

■諦めない気持ちの大切さを

よさこいで実感しました

私は3年間の高校生活で様々なことを学ぶことができました。

1年の時に参加したよさこいの活動では、友人達と貴重な体験をすることができました。放課後におそくまで練習をし大会などの発表の場のために一人ひとりが一丸となって支え合うことすばらしいものを作り出せることが分かりました。この時に得ることができた忍耐力とあきらめない気持ちは受験の際にもとても大きな支えとなっていたと感じます。

日々の勉強では授業での予習・復習を心がけていました。特に授業で聞いていて分からなかったことは友人や先生に聞くことで理解を深くすることができました。

他にはしっかりと体調管理をし、無遅刻無欠席を目指しました。学校の様々な行事にも積極的に参加するようにしていました。

以上のようなことを意識して生活することで充実した学校生活を送ることができたと思います。

■自己推薦文の作成を通して

将来像が明確になりました

受験の際は自己推薦文を書くことが大変でしたが、同時に良い経験になりました。推薦文を書くことによって、自分が将来何をしたいかということがより明確になりました。面接にあたって、先生方からの指導を受けることによりしっかりと自分の意志を伝えられるようになりました。ここでも、自己推薦文を書いたことで自分の考えがまとめやすくなっておりしっかりと面接を受けることができたと思います。面接において他に注意すべき点は自分の志望する大学についてはしっかりと調べておくことが大切だと思いました。大学の方々に自分が入りたいという意志を理解してもらわないといけないので、志望理由はしっかりとかためておくことで自信を持って受験することができました。

今回の受験体験も、大学に入ってからその後も生かしていきたいです。

山梨学院大学 法学部 法学科に
提携校推薦で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
館中出身

仙台育英は生徒の将来を考えてくれる 思いやりのある高校です

■公務員講座の充実に惹かれ この大学を志望しました

私が山梨学院大学を選んだ理由は3つあります。まず環境の良さ、2つ目は公務員講座が充実している事です。3つ目は高校からやっているゴルフの環境です。最も気に入ったのは皆さんも知っている富士山が見えることです。推薦入試をめざした理由は一般では自分は難しいと思い仙台育英の制度を利用して推薦を目指しました。そのためには何が容易かと思いました。まずは学校を休まずに授業、提出物をきちんとやる事だと思ったので、実行する事を決めました。なかなか大変な3年間でした。受験大学を絞り込むにあたって色々早めにオープンキャンパスを見に行くのが自分にとって合う大学を選ぶ1つの手段です（個人的には私は良かったです）。高校生活は生徒に対しての思いやりや将来を考えてくれるすばらしい学校だと思います。学校の指定校・提携校推薦の数の多さは他の学校に比べて多いので、すばらしく生徒に対して思いやりのある学校です。

同志社大学 政策学部 政策学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
岩手 大宮中出身

将来像を明確にすることにより 自ずとやるべきことが見えてきます

■先生方のアドバイスのお陰で 自信を持って受験しました

私が指定校推薦を本格的に考え始めたのは高2の秋から冬にかけての時期でした。きっかけは研修旅行で志望の大学に行ったことで、この大学に進学したいという気持ちが強くなったことです。担任の先生の後押しもあり、指定校を目指すことに決めました。

指定校推薦を勝ち取るには校内模試で上位に入ることが望ましいです。そのために高校1年生から定期テストの勉強に加え基礎から知識を積み重ねること、また、仙台育英の授業に加えスタディサプリーなどを活用し3年生までに英文法や古典文法を終わらせておくことが大切です。さらに、評定や出席日数も査定に入るので頭に入れておくことも大切です。このことを通じて、当たり前のことを継続していく重要性や大変さを身をもって知ることができました。

そして、校内選考の後は小論文対策や模擬面接で先生方にお世話になりました。校内内定後から入試までに、どの先生方も的確なアドバイスをして下さり、何度も練習を重ね自信を持って入試に臨みました。本番では練習と同じような質問もあり、戸惑うことなく答えることができました。

■推薦入試では学びたい学問を 考える良い機会になりました

指定校推薦で受験したことは、自分が将来何になりたいかを考え、逆算し大学で何を学びたいかということを考えるいい機会になりました。定期テストや模試に向けて、ただひたすらに勉強することも大切ですが、将来自分が何をしたいか、何を学んでいるのかを明確にすることで自ずとやるべきことが見えてくると考えます。

最後になりましたが、一番大切なことは仙台育英の先生方を信じ最後まで諦めずに努力することが合格への近道だと思います。

同志社大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
大河原中出身

学習計画はできる範囲で調整しながら 達成感を得られるように立てました

■綿密な学習計画を立て 効率よく勉強しました

私は3年の4月になるまでは一般入試を受けようと思っていたので、指定校推薦についてはあまり考えていませんでした。しかし、定期テストや模試で3年間努力してきたことが生かせる指定校推薦に魅力を感じ、この推薦制度を利用することにしました。

指定校推薦の校内審査では、校内模試の結果が重視されるので、まず校内模試の対策から始めました。文系の私は国語と英語を特に重点的に勉強しました。学校で配布されたマーク型の問題集や本屋で売っている、センター型マーク演習というような問題集を活用しました。国語は問題集をひたすら解き、英語は解くスピードを上げるため、時間を計りながら長文読解を繰り返しました。通学中の電車でページ数を決めて英単語を暗記し、寝る前に前日とその日覚えた分の英単語を復習する習慣をつけました。また、一日の学習計画は前日のうちに立てるようにしました。計画を立てる際は自分が達成できるような学習計画にすることを心掛けました。あれもこれもとたくさん詰め込むと、その日の内にできない課題が必ず出てきて、やる気の低下につながるので、私は勉強しながら調整し、達成感を得るようにしました。また、学習計画はできるだけ具体的なものになるようにしました。使用する教材名やページ数、問題番号まで書くようにしました。そうすることで、自分がしなければならないことがより明確になり、効率的に勉強することができました。こうした努力のおかげで、校内審査を通ることができたと思います。

■複数の先生方に何度も 面接練習をお願いしました

同志社大学の法学部法律学科は推薦入試内容が面接と小論文だったので、小論文対策に力を入れました。国公立大の過去問を利用し担当の管野先生に何度も添削指導をしていただきました。本当にありがとうございました。面接練習は中村先生や鈴木先生、日下先生が担当して下さいました。何度も面接練習をしたおかげで、本番ではそれほど緊張せずに臨むことができました。本当にありがとうございました。

3年間お世話になった先生方や両親に感謝し、大学生活を有意義なものにできるようにしたいと考えています。

同志社大学 文化情報学部 文化情報学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
しらかし台中出身

先生方への質問や授業以外の講習など 仙台育英の整った環境を活用しましょう

■得意教科である数学を 集中的に伸ばしました

私は特別進学コースを卒業しますが、1年生の1月までは英進進学コースに在籍していました。英進進学コースでは定期テストで3位以上を目標に勉強していたのですが、特別進学コースに転コースしてから勉強に対するやる気がなくなってしまい定期テストであまり良い結果を残すことができませんでした。(順位は下から数えた方が明らかにはい)。2年生の12月になり次の年の受験のことを考えた時にこのままではまずいと思い、ついに勉強を始めました。どの教科をやればいいのか迷いインターネットで調べたところ、1つでもとても得意な教科があれば他の教科も伸びやすいということが書かれてあったため、本当かどうか怪しみつつも比較的得意だった数学から始めました。わからないところを質問するために授業直後や放課後に先生のところに行くと、ほとんどの先生がわかりやすく説明してくれます。そのおかげで数学は最終的に全国偏差値30台から65くらいまでに上げることができました(最高順位は校内2位)。先生のところへ質問する以外にも、朝課外や放課後講習に参加して理解を深めていきました。一番多く講習を受けていた時には週に13時間も講習に参加し、自分の勉強をする時間が減ってしまったので、休み時間に友達と話している中勉強しなければならなくなり大変でした。

■勉強では覚えることよりも 理解することを重視しました

ここで私が言いたいことは、仙台育英の特別進学コースには、入学当初は宮城県内トップクラスの高校を受けるくらい学力のある人達から中間クラスの高校を合格できるかギリギリの学力の人達まで様々いるけど(ちなみに私は後者でした)、高校に入ってから頑張り次第でどうにもなるということです。高校受験時に円柱の体積の求め方を知らないのに数学が得意だと言い張っていた私が言っているので信憑性は高いはずですよ。

参考になるか分かりませんが、私は勉強する時に“覚える：理解＝1：100”というくらい理解することに重点を置いていました。数学の公式で例えると台形の面積を求める時に、何故上底と下底を足して最終的に $\div 2$ をするのかということを理解していれば、テスト中に公式を忘れても導けますし応用が利きやすくなります(その台形がもう1つあるとして2つの台形を合わせて平行四辺形にし、その平行四辺形の面積の半分が台形のつながるということはずわざ書きませんが)。

グダグダ書いていましたが最後に言いたいことは、仙台育英に入学したならば是非、「逆転の仙台育英」として学校を使ってほしいということです。ここまで読んでくれてありがとうございます。

同志社大学 商学部 商学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
幸町中出身

自分の将来と向き合って 早くやりたいことを見つけましょう

■進路選択の幅を広げることを
心掛け学校生活を送りました

私は入学当初、自分が将来何をしたいのかが分からず、大学へ進学したいとは考えていましたが、志望大学もなく、具体的な目標がありませんでした。そのため、いつかやりたいことが決まったときにその道に進めるよう、幅広い選択肢を持つと学園生活を送ってきました。指定校推薦についても、いざというとき選択肢に入られるよう、普段の生活や定期テストも気を抜かず、英検などの資格取得やボランティアにも取り組んできました。その結果、理系のクラスにしながら、文系学部である商学部を指定校推薦という形で受験し、合格することができました。

しかし、学園生活を振り返ってみてひとつ思うことがあります。それは、もっと早くから自分の将来をよく考え、それに向けたはっきりとした目標を持つべきだった、ということです。こうなりたいと強く思うことが出来れば、自分が本当に必要なことに多くの時間を、より集中して使うことができます。みなさんには、たとえ難しくても、自分と向き合い、できるだけ早く自分がやりたいことを見つけしてほしいと思います。そしてそれが実現できるよう、充実した3年間が遅れることを願っています。

同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科英語コースに
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
館中出身

推薦入試は自分と向き合う機会が多く 目標をより明確にすることができました

■スカイプセッションへの 挑戦は貴重な体験でした

私は将来、航空関係の仕事に携わりたいという夢があり、語学と異文化コミュニケーション学を学べるこの大学を志望しました。そこで、指定校推薦を通して学んだことを3つ述べたいと思います。

1つ目は、挑戦することの大切さです。私は1年生の時からスカイプセッションに参加していました。参加する前は、アメリカの大学生と英会話なんてできるのか不安でしたが思い切って挑戦してみることにしました。この活動をきっかけに Express Yourself! や米国訪問プログラムへの参加にも繋がり、とても貴重な体験が出来たのです。もし、あの時スカイプへの参加に躊躇していたらこのような経験はできていなかっただろうと思います。ぜひ皆さんには、何か自分の興味がある分野の活動やプログラムには積極的に挑戦することをおすすめします。

■ TOEIC スコアは最終的に 180 点アップしました！

2つ目は、定期考査や自分に必要で強みとなる資格取得に努めることです。定期考査対策としては、苦手科目の数学が足を引っ張らないようになるべく早めに計画を立て、配布された対策プリントを何度も解きました。また、TOEIC のスコアの基準が設定されていたため、1年生の頃から定期的に受け続けるようにしました。大学側が要求してくるスコアに達することはもちろんですが、それに満足せず、さらに上を目指すことが大切です。結果的に私は最終的に当初より 180 点上げることに成功しました。

3つ目は、自分と向き合うことの大切さです。自己推薦書や志望理由書、また面接練習を通して大学で何を学びたいのか、将来の夢のために今の自分に何が必要なのか、自問自答の毎日でした。自分と向き合う機会がたくさんあったおかげで目標がより明確になりました。

高校3年間はあっという間ですが限られた時間を有効に活用し、自信を持って様々なことにチャレンジしてみてください。

立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 国際経営学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
東仙台中出身

勉強に集中できる時間は多くはないので 空き時間や休日も有効に活用しましょう

■推薦枠があることを知り

迷わず挑戦しました

私は指定校推薦で大学に合格しました。このきっかけは、この大学の資料を見かけ興味を持ち、数ヶ月後に指定校の枠を見てみると、ちょうどその大学がリストにありました。私はチャンスだと思い、迷わず挑戦しました。

初めに、私が高校生活で意識してきた事についてお話しします。私が何よりも意識したのは授業を休まないという事です。指定校を狙う場合、評定がとても大切となるため提出物、授業態度、定期考査が重要になります。

次に勉強法ですが、私は食事の前後に英語の教科書を CD と一緒に音読していました。声を出す事で頭の中に自然と入り、定期テスト対策にもなりました。そして朝は決まって友人とローズホールで自習をしていました。また、空き時間も活用し、電車内で教科書やスマホを使い予習復習を行いました。

休日は休む事も必要なので、午前中に勉強し、午後は休む事を心がけていました。また長期休暇には自身の時間割を作る事で怠けるのを防いだり、塾の合宿に参加したりしました。時には、外部で行われる講演会、サイエンス・コラボに参加し、幅広い見識を培う事を意識しました。

■書類は謙虚な姿勢で作成し

目的と熱意を伝えましょう

私は大学の情報をできるだけ多く集めるようにしていました。1 年次からオープンキャンパスに参加し、学生や先生方とお話する事でより意識が高まり、異なる分野に興味を持つ事もあります。また、進学には当然お金が必要となるため、早くから保護者との情報共有、自分の志望する大学や分野について話しておく事が大切です。

志望理由書、ショートエッセイの作成の際、志望理由書には、なぜその大学に進学したいのか、何を学びたいのかという事はもちろん志望する熱意を伝える事が大切です。その時に注意するのは、大学の賞賛のみにならない事、そして選んでいただくという意識を持ち謙虚な姿勢が大切です。そしてショートエッセイの作成には部活動での経験が活きました。私は茶道部やインターアクトクラブに所属し、そこで学び、何を考えたのかを中心に書き上げる事ができました。

最後になりますが、様々な誘惑があると思います。しかし、勉強に費やせる時間はほんのわずかです。そんな大切な時間を、皆さんどうぞ有意義にお過ごしください。

東北芸術工科大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
吉成中出身

早めに志望大を決定し勉強時間を しっかり確保しましょう

■学校行事で実際に訪れ この大学に決めました

私が東北芸術工科大学をめざすきっかけとなったのは、高校 2 年の終わり頃に学校の行事で大学を訪れたことです。私は高校 1 年のときから将来やりたい職業は決まっていたのですが大学は全く決めていませんでした。そのため 2 年の最後のほうでは焦っていました。その後大学を訪れ興味を持ち勉強する気が起きました。センター利用の場合 1 科目又は、2 科目制で私はイギリスに住んでいたこともあり英語は得意だったので模試では A 判定が取れていました。しかしこの方法だと $+\alpha$ の試験がありました。それは小論文と実技テストです。国語が不得意で小論文は苦手、実技テストについては私は昔から絵を描くのが苦手で、この試験方法では難しいのではと考えました。しかし 3 年に上がってすぐに三者面談がありそこで東北芸術工科大学のデザイン工学部建築・環境デザイン学科に 1 枠だけですが推薦があることを知りました。私は即決で推薦に立候補することにしました。それからは推薦枠を取るためにいろいろな先生に何回もアドバイスを頂きより良いものに仕上げようと努力しました。そして無事に枠を取れました。そして同じようにして大学に送る自己アピールの書類も仕上げました。

面接当日は緊張して朝食が全く喉を通りませんでした。そして大学に着いてからの待ち時間は少し早めに行ったというもあり 1 時間半ほどでした。いざ面接が始まり会話をしていくうちに緊張がとけて、話していて楽しいと感じていました。

私は遅くに大学を決めたために、かなり焦って日々勉強して過ごしていました。私はこのようにバタバタした日々を過ごしてきましたが時間はたっぷりあるので、早めに大学を決めじっくり勉強することが大事だと考えさせられました。

東北学院大学 文学部 総合人文学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
将監中出身

やりたいことや興味・関心を踏まえて 志望大を決め懸命に努力しましょう

■哲学や文学に興味があり
この学科に進みました

東北学院大学の指定校推薦で出席日数や評定平均値の条件を満たしていたので進学を決意しました。私は高校 3 年間無遅刻無欠席だったので、指定校推薦をもらうのに大きなアドバンテージを持てたと思います。また前述したように、指定校推薦をもらうには、出席日数他に評定平均値の条件がありそれが、東北学院大学の場合 3.8 以上であり私はその評定値の条件をクリアするため授業態度やテストでいい点数をとるよう努めました。さらに、指定校推薦で選ばれるのに必要なこととして、校内模試を受ける必要があります。「校内模試で、学年で 100 位以内に入れるようにしなければならない」と先生に言われていたので、その順位に入れるように努力し何とか 100 位以内の順位に入ることができました。これらが指定校推薦のために頑張ったことですが、そのおかげで自分の希望の進路を実現できたと思います。

次に私がこの学科を選んだ理由として、哲学や、文学に興味があるためこれらを学べる学科に進学し、多くのことを学びたいと思っていたので、この学科ではそれが出来ると思い選びました。

なので、これから進学先をきめる方は自分がやりたいことや、自分の興味関心があること、また仙台育英に指定校推薦の枠が来ているかなどもきちんと調べて進学先を決めてください。自分が努力すれば希望の進路には必ず近づくはずなので、これからも頑張ってください。

東北学院大学 工学部 機械知能工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
富谷第二中出身

目標を達成できたら欲しい物を買うなど モチベーションを高める工夫が有効です

■集中して学習するには 図書室がおすすめです

私が仙台育英での 3 年間において、特に努力したことは生活面です。無欠席、無遅刻、無早退を目標にかかげ、とにかく休まないことを心がけました。当たり前のことだろうと思うかもしれませんが、毎日コツコツと努力を積み重ねていくことが評価され、指定校推薦での合格につながったのだと思います。

また、定期テストでは得意な教科は 85 点以上、苦手な教科は 60 点以上取れるよう目標を設定しました。私は家であまり勉強に集中出来ないタイプだったので、学校の自習スペースを活用しました。おすすめは図書室です。放課後 6 時まで図書室で勉強したことを家で解き直すというやり方を私はしていました。また、点数やクラス順位の目標を決めて、達成できたら欲しい物を買うということをするすることで、モチベーションの向上、維持につながると思います。

■これまで書いた小論文を 全て持参し本番に臨みました

私が志望した大学の指定校推薦の受験内容は小論文と 5 分程度の個人面接です。

小論文では過去の問題を 5 回分ほど書きました。先生方や父親に添削をしてもらい、文の完成度を高めていく努力をしました。試験当日では、これまで書いた原稿をすべて持っていき、開始直前まで読んでいました。そのおかげで練習した内容とうまく重ねて書くことができたと思います。

面接は小論文に比べてあまりうまくいきませんでした。その理由としては、緊張で志望動機の一部を忘れてしまったことです。終わった後に思ったことは、長文をすべて丸暗記をするのはやめたほうが良いということです。ポイントを 1 つひとつ箇条書きにして覚えることで、ド忘れしても次につなげることができると思います。

高校で努力したことは必ず大学合格へつながると思うので、今できることを精一杯がんばってください。応援しています。

東北学院大学 工学部 電気電子工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
仙台第一中出身

行事や部活動への積極的な取り組みが 指定校推薦受験の強みになります

■ 評定と無遅刻無欠席により
指定校推薦を勧められました

私はもともと指定校推薦で受験しようとはしていませんでした。1年生や2年生の時にはテストも平均ほどで、模試では数学が少し良い程度でした。自分は暗記科目が苦手で中学生の時から悩んでいました。高校3年生になってからも自分に合った勉強方法を見つけることができず、成績は落ちていくばかりでした。

しかし、3年生の夏の面談で推薦で受験できるよと言われました。高校生活2年間の間にはパツとしない成績でも、私には評定がありました。加えて無遅刻無欠席でもありました。指定校推薦の使い方は人それぞれ違うと思いますが、成績の伸び悩みのあった自分には受験の助けになりました。逃げたと言われたらそれまでですが、逆に自分が得意な科目を伸ばして活かせる大学に入れるなら良いと思います。

この自分の体験から言えることは、友達や先生を頼るなりしてテストでそこそこでも良いから評定をできるだけ取っておくこと。2つ目に生活態度です。欠席や遅刻をしないことはもちろんのこと、行事の手伝いであったり部活動での活躍は自分の評定につながるので実行することです。

いざ指定校推薦が決まってからもすることがあります。私は面接と小論文がありました。面接練習と小論文の添削では、先生方にとってもお世話になりました。面接練習では内容が思い出せず上手く話せなかったり、小論文では漢字のミスや言い回しが大きな課題でした。それでも先生方の手厚い指導によって回数をこなしたことにより、本番では冷静に受験できました。指定校推薦での受験が決まったのなら早いうちからその学校から出されている受験内容を練習しておくが良いと思います。

東北学院大学 工学部 電気電子工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
台原中出身

面接練習では先輩方の記録をもとに 細かく指導していただきました

■ 3 年間皆勤を続けたことで 推薦枠を獲得できました

私は勉強があまり得意ではなく、中学校の時は「テスト前だけ勉強すればなんとかなったから大丈夫だろう」というあやまった考えを持ち、普段から予習・復習などの勉強はほとんどしていませんでした。その結果、1 年次は選抜クラスに入れていたのが 2・3 年次には一般クラスに落ちてしまい、模試の点数もどんどん下がっていきました。このままではさすがにまずいと思い直し、指定校推薦に挑戦することを決めました。そのためには 3 年間の評定平均値はもちろん、3 年の 6 月にある校内模試でいい順位をとらなければなりません。したがって、私はその校内模試の過去問を何度も解き、わからない問題をできるだけ少なくするように力を入れました。その効果もあってか、校内模試本番で点を取ることができました、また、私は 3 年間皆勤で学校を休んだことが一度もなかったため、これも指定校推薦枠を獲得できた大きなきっかけになったのかもしれない。

■ 複数の先生方と何度も 面接練習をしました

指定校推薦の校内選考が終わった後は、先生方に小論文と面接のための対策をしていただきました。私の志望大学では、工学技術に関する様々な社会問題についての小論文が出るが多かったので、時間を計りそのような内容のテーマの小論文を書き、合格するまで何度も添削していただきました。面接練習では学校にある先輩方の面接時の記録などを元に入室から退室まで一つ一つ細かく指導していただきました。この練習はずっと同じ先生ではなく何人も先生と合格をもらえるまで何度もやったので大きな力になったと思います。また、本番の際に緊張して頭が真っ白にならないように、考えられるある程度の質問の答えは暗記するようにしました。その結果緊張はしましたが、無事合格することができました。

最後になりますが、やはり 1 年の時から少しずつでも毎日勉強することが一番大事なので、それをぜひ心がけてほしいと思います。

東北学院大学 工学部 電気電子工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
川崎中出身

大学について念入りに調べることで 将来をイメージでき心構えができます

■欠席日数の少ない方が 推薦枠獲得に有利です

私は指定校推薦を使い大学に合格しました。私が指定校推薦の受験資格を得るために努力したことは主に3つあります。

1つ目は、欠席日数を増やさないことです。2学年の三者面談の時に「校内で誰を推薦するかというときに、もし同じ成績の人がいれば欠席日数が少ない人を選ぶ」という話を聞きました。その話を聞いて私は体調管理に気をつけるようになり、高校3年間で欠席日数をゼロにするという目標を達成することができました。私は欠席日数がゼロだったことも指定校推薦に選ばれた理由の一つだと考えています。

2つ目は、3学年の校内模試で少しでも高い順位を取ることです。模試で出そうな範囲を自分なりに考えて、自分が苦手とする部分を集中的に勉強しました。その結果、見事に自分が志願する推薦の枠に入ることが出来ました。

3つ目は、情報に関する資格を取得することです。私が所属している情報科学コースでは情報に関する様々な知識を知ることが出来る授業があります。これは他のコースにはないと思い、情報科学コースの長所だと私は感じました。その長所を生かしたいと考え、私は情報処理検定や MOS の資格取得に力を入れ、資格を取得しました。資格を取得したことにより、自信が付き、大学受験にも役立つことが出来ました。

■指定校推薦を共に目指した 友人の存在に助けられました

大学受験の準備の中で一番苦戦したのは小論文です。最初はどのように書いたらいいかわかりませんでした。ですが、先生や友人達と相談しながら進めることにより書けるようになっていきました。

大学の準備を念入りにすることで、希望する大学の学部コースにおいて、将来をイメージして結びつけることが現在に至っていると思います。そして、共に指定校推薦を目指した友人の存在が大きかったです。

後輩の皆さんには、周りの人を大切にし、とても充実した学校生活になるように願っています。

東北学院大学 工学部 電気電子工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月技能開発コース卒
増田中出身

3 年間当たり前のことを努力して やり遂げたのが合格に繋がりました

■後で復習しやすいように

工夫してノートを取りました

私が指定校推薦の受験資格を得て合格するために努力したことは、主に 3 つあります、

1 つ目は定期考査です。指定校推薦においてとても重要な要素となる評定を高くするために、1 年生の時から 3 年間定期考査で高得点を取り続けることが必須になります。そのために私が努力したことは、家庭学習を長時間するというはもちろん、授業でノートを写す時やプリントを書く時に自分が復習しやすいようにノートの取り方やプリントへの書き込みを工夫しました。また、授業で分からなかった点は先生に質問をして、自分の分からない部分をなくす努力もしました。定期考査は授業で習った分野の問題が中心になるため、その分野で分からなかった点を先生に質問をして分からない部分をなくし、さらに復習をしっかりして大事なところは完璧に暗記していたおかげで、定期考査では高得点を取り続けることができたのだと思います。

2 つ目は定期考査の点数とともに平常点もきちんと確保することです。評定を挙げるためには平常点もとても大事になってきます。私は 3 年間無遅刻無欠席を心掛けていたので、多少体調が悪くても学校に出席して欠課にならないようにしました。また、提出物はどの教科も提出期限に 1 日も遅れることなく提出して、授業内で発言する機会が多い授業ではしっかりと自分から発言するように努力しました。

■苦手だった面接と小論文は

練習を積み克服できました

3 つ目は面接練習や小論文の練習です。私が受けた大学の指定校推薦の試験は面接と小論文でしたが、私は元々面接も小論文もとても苦手でした。しかし、面接本番を想定した練習を何度も担任の先生にやってもらったり、小論文の過去問題をひたすら解いて、それを国語の担当の先生に添削してもらったりすることを繰り返しているうちに、どちらもだんだん慣れてきました。面接練習では、面接本番で予想外の質問をされてもしっかり対応できる力を身につけることができ、小論文では自分の意見をスムーズに書けるようになりました。

これら 3 つを努力することは、高校生にとって当たり前のことであり基本的なことです。しかし、この当たり前のことをしっかりやっていたら高い評定を取ることができる上に、先生からの信頼を得ることもできると思います。私はこの 3 年間当たり前のことをしっかり努力してやりとげることができたので、指定校推薦の受験資格を得て合格することができました。これから大学受験を控える皆さんも、合格に向けて毎日の学校生活を充実させてほしいと思います。

東北学院大学 工学部 環境建設工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
多賀城中出身

人生の中でかけがえのないものとなった 高校生活を今後に生かしていきたい

■よさこい同好会の活動は 有意義で貴重な時間でした

私は 3 年間の高校生活において、様々な経験を得た貴重な時間を過ごしました。

1 年生の頃には、友人に何気なく誘われてよさこい同好会に所属することになりました。そこでは週 2 日で練習があり、最初のうちはなかなかリズムに合わせて踊ることができず苦勞することもありました。しかし、次第に慣れてきた頃には楽しむこともでき、仲間と合わせて踊ることで、仲をさらに深められることができるとても有意義な時間を過ごすことができました。それからは何回か学校の外で発表する機会があり、緊張しながら何とか踊り切ったことは、とても達成感があり、自分の人生において貴重な時間でした。

定期テストでは 3 年間を通して、得意科目はできるだけ 70 点を越えることを目標として、苦手科目は、赤点を取らないことだけを目標として、出題範囲を何度も繰り返し解いたり、理解できない箇所は友達に聞いたりして何とか切り抜けてきました。

■入学前に準備をするために 推薦入試を受けました

3 年生になってからは、段々と大学を意識するようになってきました。そこで私は、大学へ入る前からしっかり準備する期間が欲しいと思い指定校推薦を受けることを決めました。そのためにも、まずは自己推薦文を書く必要がありました。私は文章を書くことに加え、字を綺麗に書くことも苦手だったので何回も書き直すことになりとても苦勞しました。何とか無事に推薦を受けられることになり、それからはひたすら小論文の練習をしていました。私は先生に恵まれていたため、アドバイスや小論文の基礎について丁寧に教えてもらえ、書き直しにも何度も付き合ってもらえました。面接練習ではうまく言いたいことを言えず、練習不足と怒られることもあったけど、繰り返し練習し認めてもらうことができました。

私にとって高校生活はとても新鮮でかけがえのないものであり、この経験を今後に生かしていきたいと思います。

東北学院大学 工学部 環境建設工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
寺岡中出身

仙台育英は視野を広げることができる チャンスや環境が整った高校でした

■将来の職業選択で専門性を
活かせるよう進学しました

私は、東北学院大学工学部環境建設工学科に指定校推薦で合格しました。指定校推薦を高校側からもらえるように私は入学してから勉強と部活をがんばりました。

勉強では、評定平均値を 5 にするために予習・復習をしっかりとやりました。予習は暗記するのではなく次やるところの整理だけをしました。復習では何度も問題を繰り返し解いていました。また、定期テストでは全教科 90 点以上を目標にしてがんばっていました。テスト以外でも授業中の態度や提出物をしっかりと出していました。

また、私がなぜ大学進学を選んだかという点と大学卒業の実績と大学で取れる資格が欲しかったからです。しっかりと専門的な知識を大学で学びそれを社会に出たときに、いかしていきたいと思ったからです。また、大学で取れる資格は非常に多いので取れる資格は取って就活にいかしていきたいと考えています。

指定校推薦での小論文対策としては、自分が受ける分野の知識を整理したり、ここ 1 年間のニュースを調べたりしていました。面接練習は週 2 回。笑顔を見せるのも大切ですが一番はやる気のあるキメ顔を見せる事が大事だと感じました。面接官の方にも「いい顔してるね」と言われたのでキメ顔の練習を毎日することをオススメします。

私にとって仙台育英は、自分の視野を広げるのにとても環境の良い高校でした。私に関わりをもった先生方、3 年間ありがとうございました。大学でも成長できるように努力していきます。

東北学院大学 工学部 情報基盤工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
長町中出身

普段から情報技術に親しんでいれば 難易度の高い資格にも挑戦できます

■あらゆるソフトウェアに触れ 幅広い知識を身に付けました

この大学を目指した理由は、人工知能のペッパーなどに興味があるため、それらについて学べる学科があるためです。ペッパーは合成音声により一般にふれやすい人工知能であるかつ、利用する目的に応じてアルゴリズムを組みなおすことで多くの事に運用ができます。このようなものを運用したいため私は人工知能について学びたいと考えました。この目的をもって大学進学を目指すにあたり心がけたことは理系の勉強はもちろんですが、パソコンで遊ぶことが私は大きな経験になったと考えています。私は高校生活の間に様々なソフトウェアに触れました。私の友人に同年代で動画などのクリエイターを目指す人がいたため、たまに教えられながら学びました。これを学んでいると、ただ生活しているだけでは学べないことを知ることができました。動画編集ソフトの AviUtl や Adobe AE, PP や画像処理に Adobe PS や、音編集の Adobe ソフトなど多くのソフトウェアにふれました。クリエイター的な活動をするの一つの事を学んでいるようで、幅広い分野を学ぶことができます。

■好きなことに打ち込むことは大切ですが 英語の勉強は怠らずやっておきましょう

私の大学合格は、資格が強く効いていると考えています。情報処理検定 1 級やワープロ検定 1 級、MOS など様々な資格を取りましたが、私は苦なく取れました。普段から情報技術に触れ、知識を得ることでこれらの難度は大幅に下がると思います。私は大学入試で小論文を必要としましたが、これも問題なく書くアイデアが出ると思います。なので私は高校生活でやってきた VOICEROID と、Adobe での活動が合格の理由になったと思います。ぜひ買ってやってみてください。

後、英語だけは絶対ちゃんとやった方がいいと思います。私のように動画作成ばかりにならないよう、勉強もしておくことをおすすめします。

東北学院大学 教養学部 情報科学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
鶴谷中出身

仙台育英の建学の精神を忘れることなく 学んだことをこの先も活かしていきます

■得意教科の教員免許を

取得できる大学を選びました

私が大学進学を目指した理由は、得意教科である、数学・情報の教員免許を取得したいと考えたからです。

数学・情報の教員免許を取得する上で、東北学院大学の教養学部情報科学科に進学することが一番の近道であると考えました。また、指定校推薦枠があったため、東北学院大学への進学を決意しました。指定校推薦合格のために推薦入試科目の小論文の練習や、面接でのはっきりとした発声、資格取得の3つに重点を置き努力しました。小論文の練習に関しては、アドリブの発想力が必要だと考え、目に付いた物の名称、それに関連したワードを思い浮かべるようにしていました。小論文を練習していくうちに当たり前の事を文にする能力が求められるものだと分かりました。面接練習では、仙台育英の先生方に協力してもらい受験日前日まで本番を意識して練習しました。1人ではできなかった面接練習も仙台育英の先生のおかげで出来るようになり、そのような環境があり、今ではとても良かったと考えています。

■難関の IT パスポートにも

余裕を持って合格しました

また、さらに進学に近付くために進学希望していた情報科学科に合わせ、情報系の資格取得を目指しました。IT系の知識を証明してくれる国家資格 IT パスポートや、マイクロソフトが出しているオフィス製品のスキルを証明してくれる5つの国家資格に合格しました。IT パスポートの合格には、私が在籍している仙台育英の情報科学コースの情報系の資格取得カリキュラムで情報処理検定1級の授業を受け合格していたことで、新たに勉強することがとてもなく、余裕を持って合格することができました。仙台育英の情報科学コースのカリキュラムでは MOS の資格取得のための授業も含まれているため、このような環境と自分の進路がぴったり合っていることで、自分の進学への自信へと繋がり、面接などでもそのような自信を活かし、希望進路を変えずに合格することができました。

仙台育英で学んだことを進学で活かしたように、これからの自分の職、人生に無駄なく活かせるよう大学進学後も建学の精神を忘れずに努力していきます。

東北工業大学 工学部 情報通信工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
七ヶ浜中出身

指定校推薦を得るために身だしなみや 休みの日の生活も気をつけました

■大学で憧れの職業に必要な 技術や知識を習得したいです

私は将来、アプリケーションエンジニアやネットワークエンジニアといった職業に就きたいと考えており、そのための技術や知識を身につけることのできる東北工業大学工学部情報通信工学科を志望することにしました。理由は、高校入学前から指定校推薦を目指していたからです。そのために私が努力したことは、毎日規則正しい生活を心掛ける事や校内模試で高い点数を取る事、そして自己推薦文です。なので私は、身だしなみや学校のない日の生活も注意して過ごしていました。そして、指定校推薦を貰うためには、校内模試での点数と自己推薦文が必要になります。校内模試は、前もって復習をしておき、部活の高総体を終えてすぐだったのですが、無事にそれなりの点数を取ることができました。自己推薦文は、初めはどのような風に行けばいいのかわからなかったのですが、夏休み前に先生に毎日のように添削して貰い、少しずつ完成させていきました。

■仙台育英での 3 年間は とても充実していました

私は、高校での 3 年間部活に時間をほとんど使っていました。私は弓道部に所属していました。弓道は未経験だったので、最初は他の部員の人々についていくので精一杯でした。しかし、先生に教えられた事を一つひとつ積み重ねていき、3 年生の高総体ではレギュラーメンバーに入ることができました。3 年間で私は、これといった目立った成績は残せなかったのですが、弓道部のメンバーと過ごした時間はとても楽しかったです。部活があったので、普段の勉強をする時間は限られてしまったのですが、テスト前には休みがあったのでテストの勉強は、充実しやることができました。部活と勉強の両立は難しいことでしたが、勉強もテスト前や部活の休みの日などで、やることができましたし、部活もとても充実していました。私は高校受験を失敗し、仙台育英に来ましたが、大学にも受かり、とても充実した高校生活を送れることができたと思います。

東北工業大学 工学部 情報通信工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
台原中出身

プログラミング、動画編集など コースで経験したことが強みになりました

■情報科学コースでの学習は
将来自分の武器になります

私は様々な選択肢の中から指定校推薦を選び、東北工業大学を受験し合格しました。指定校推薦を選択した理由は、自分が今まで学んできた知識・経験を、高校と大学の両方から評価して貰えるので一般入試などと比べ学力以外の部分もアピールすることが出来るため、自分の長所をアピールしやすく、合格する可能性を高めることができると考えたからです。

指定校推薦を受験をするうえで注意すべき点と感じた点は、校内選考と大学での面接です。校内選考は3年生に行われる校内模試の結果と自己推薦書と3年間の高校での活動を加味し合否を決定します。テストで良い点数を取ることとは勿論大事なのですが、部活動や資格の取得など学業以外の面でもアピール出来るポイントを作っていくと、大学での面接でアピールできるが増えますし、勉強以外にもいろんなことに挑戦することをお勧めします。情報科学コースである私は、コースのカリキュラムの資格をしっかりと取得した上で、CGモデルを作って動かす技術や、動画の編集技術、プログラミングなど3年間の高校生活で様々なことに挑戦しました。これらは指定校推薦を受ける過程で大きなアピールポイントになるのは勿論なのですが、大学を卒業し仕事につくときに自分の武器の一つにもなるので、高校生活において資格を取得したり何かしらの技術を身に付けたりすることは、自分の将来への良い投資になると思いました。

■複数の先生方に面接練習を
お願いしましょう

校内選考を乗り切ったらいよいよ大学での面接です。高校では先生を面接官に見立てた練習を行います。通常では生徒数人につき1人の先生が担当として練習に付き合ってくださいなのですが、様々な視点から自分の弱点を見つけ修正する為に他の先生にも練習をお願いすると良いと思います。

面接で他の人にはない自分のアピールポイントをしっかりと伝えられれば、きっと合格出来るので頑張ってください。

東北工業大学 工学部 情報通信工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
宮城野中出身

中学までの生活リズムを全面的に見直し 3 年間無遅刻無欠席を達成しました

■放課後の講習に毎日参加し 資格取得に頑張りました

指定校推薦を受けるために高校生活 3 年間で主に気を付けたことは、学習と生活習慣です。

学習の面では、私のコースが情報科学コースということもあり、主に資格取得に力を入れていました。資格は、指定校推薦に有利になるだけでなく将来にも役に立つ武器としてつかえるためやる気もとてもありました。通常の授業ではもちろんのこと、放課後の講習にも毎日参加し勉学にはげみました。結果として高校生活中に、情報処理検定 1 級や世界的に有名な MOS 検定など様々な資格を取得することができました。

■仙台育英は指定校枠が多く 大学選びに悩むほどでした

生活習慣の点では、主な目標として 3 年間の無遅刻無欠席をかかげていました。中学時代の遅刻ぐせと、生活リズムのくずれを高校進学にあわせて、改善しようという考えでした。まず始めに改善したのは、生活リズムです。毎日、細かな計画を立ててできるだけ同じ時間に睡眠、食事、登校するように心がけました。中学時代は一度も食べなかった朝食も毎日食べ健康的な日々をすごしました。これらのことにより目標である 3 年間無遅刻無欠席を達成することができました。

これらの学習、生活面の目標をすべて達成した私は、指定校推薦で東北工業大学を受けました。仙台育英は、指定校枠がとても多く、どの大学も魅力的であり大学選びは非常に迷いました。ではなぜ私がこの大学を選んだかというと、私の学習したいことに関しての学習環境が非常に優れており私に一番合っていると感じたためです。仙台育英に入りとても充実した高校生活でした。

東北工業大学 工学部 建築学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
東仙台中出身

複数の大学や受験方式を比較し 自分に最も合うものを選びましょう

■先生の勧めで一般入試から 推薦入試に切り替えました

私は大学受験を通して2つのことを学びました。

1つ目は、例えばすべての授業に極力出席することや定期考査で合格点を取ることなど。高校生活で当たり前のことをきちんとやっておくべきだということです。私は高校入学当初から国公立大に一般入試で入学することを目標とし、それが自分や両親の幸せだと思い込んでいました。ところが2年生で様々な大学のオープンキャンパスで説明を聞くうちに、そうではないことがわかってきました。例えば、東北大学は卒業生の多くは大学院に進学し研究職に就きますが、私が大学卒業後すぐ就職し現場で活躍する建築家になりたいと思っており、この大学の勉強は自分に合っていないと感じました。そして東北工業大学の説明を聞いたとき「この研究がしたい」と思うものに出会いました。このように色々な大学を良く知り比較して、将来の夢につながるまたは自分のしたい勉強ができるかどうかをよく考えて志望大学を決めるべきです。

そして第一志望を決めた後担任の先生に指定校推薦を勧められて改めて、大学入試は一般入試だけではないことに気づきました。よく考えたところ、合否が早く決まる上に合格可能性も高いため、指定校推薦を取れるように頑張ることにしました。しかし、これは私が1年生の頃から、出席すべきときに出席し定期考査や課題に真剣に取り組んでいたからこそできたことだと思いました。推薦されるためには一定の評定や生活態度の良さが不可欠だからです。よって、一般入試で受験すると決めつけ、評定は関係ないと言って高校生活を疎かにするのは、当たり前だが悪いことであり、選択肢を少なくするもったいないことです。後から何かあるかわからないから、高校生活ですべきことはきちんとしておくべきです。

■推薦入試は準備が多く 想像以上に大変でした

2つ目は、指定校推薦は一般入試くらい大変であるということです。この入試形式を選んでから、多くの準備がありました。まず、学校を休まないように気を遣うようになりました。また勉強量も増えました。定期考査や6月の推薦に影響のある実力テストで、苦手な数学を克服しすべての教科でも高得点を取るために、学校で渡されたワークを繰り返し解いたり放課後と朝の時間も使って学校の自習室で勉強したりしました。これらのことは校内選考を通る前も後も同じようにし続けなければならないため、この勉強をしつつ、自己推薦文や志望理由書を何度も先生に見せながら書き、面接練習もしました。さらに、合格してからも大学から出される課題も提出しなければなりません。もちろんいつでも欠席は許されません。よって、想像していたよりも忙しく、また、苦手な数学や面接も克服しなければならずつらかったです。

このように、そしてこの他にもっと多くのことをこの受験で学びました。後輩たちには、物事を決めつけずに様々な大学や受験形式を見て、推薦の大変さも理解した上で、悔いのない高校生活を送ってほしいです。

東北文化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 英進進学コース卒
大郷中出身

面接練習を積み重ねるほど不安が減り 自信をもって本番に臨めます

■部活は自分が高校で何を頑張ったか というアピール材料にもなります

1年生のときは、指定校推薦があることを知らなかったのですが、何かのために少しでも良い成績を取ろうと思い頑張っていました。2年生になり指定校推薦があることを知り、指定校推薦のために良い成績を維持し、欠席、遅刻、早退をなるべくしないように心がけました。3年生も指定校推薦が決まるまで気を抜かないように頑張りました。

私はインターアクト部に入っていました。指定校推薦は面接があるのがほとんどだと思うので、自分が高校で何を頑張っていたかなど自分をアピールするのに部活に入っていた方が良いかと思います。

■小論文が苦手でもとにかく 書いてみるのが大事です

指定校推薦が決まったからといって気を抜いてはいけなかったと思います。私は小論文と面接だったので、まず小論文に力を入れました。私は小論文が苦手なのですが、とにかく書いてみるのが大事だと思いました。書いたものを先生方に確認してもらい、自分の小論文に自信が持てました。書けないからではなく書いてみるというのが本当に大事だと思います。面接練習もできるだけ多くやったほうが自分のためになります。練習した分だけ、不安や心配が少なくなり自信がつくと思います。私が行った面接では、事前に予想していた質問ではない質問がたくさんありました。緊張していて頭が真っ白になってしまいましたが、落ちついて考えることでなんとか答えることが出来ました。面接は練習することが大切で、本番では落ちつくことが大切です。

3年間充実した高校生活を目指して頑張ってください。

東北文化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科視覚機能学専攻に
指定校推薦で合格

平成30年3月 外国語コース卒
鶴が丘中出身

進路への道を創って下さった先輩方や 周囲への感謝を忘れずに受験しましょう

■視能訓練士に憧れていたの この学科を志望しました

私が東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科視覚機能学専攻を志望したきっかけは、福祉の仕事に就きたいという思いがきっかけでした。幼い頃から眼科に通っている経験が、今回の進路につながりました。優しく接してくれる視能訓練士の皆さんに憧れを抱いており、私もそのような視能訓練士になりたいと思うようになり、東北文化学園大学を志望しました。

私は、指定校推薦での進学を考えていました。しかし、3年生の春まで志望大学が決まっていなかったため、なかなか受験の準備が始められませんでした。進路が決まったのは6月でした。しかし、この時も少し悩んでいたため、オープンキャンパスに参加しました。様々な話を聞いたり、体験をすることで、自分の気持ちの中で整理が付き、納得のいく進路選択ができました。オープンキャンパスは母と参加したのですが、家に帰ってから、参加してみたの感想を話し合ったことも、良かったと思います。

■面接練習は余裕をもって 日程を組みましょう

志望大学が決まったら自己推薦文を書き始めましたが、字数が多いため、早めに書き始め先生方に何度も添削していただきました。先生方によって、様々な視点からアドバイスをしていただけるので、内容の濃い文章ができました。内定を頂けたら、受験に向けた準備を始めました。志望理由書と小論文でした。志望理由書を書くときは、なぜこの大学に進学したいのか、オープンキャンパスに参加したときの感想などをふまえて書くのがポイントだと思います。私の場合、小論文は事前提出課題だったので、大学から与えられた題に添って、自分の意見を書いていきました。なぜその意見なのかを明確にした上で、自分の意見を書いていくことが重要だと思います。志望理由書と小論文は、受験に直接影響するので、可能であれば、先生方に何度も添削していただくのが良いと思います。面接は、私も何人かの先生に練習を手伝っていただきました。自分で先生のところへ行き、練習の日程を組んでいきました。先生方も大変忙しいので、余裕を持って日程を組み立てていくのが良いと思います。実際の練習では、本番を想定した内容で進めていきました。たくさんの先生方と練習すると、様々な視点でアドバイスをしていただけるので、とても参考になりますし、本番への自信にも繋がりました。

進路選択は決して簡単にできるものではありません。突然変更になることもあります。なので、一番大切な定期考査は気を抜かず挑むことと、平常点を下げないために日常生活や制服の着こなし方にも注意するようにすることが大切です。3年生になってから慌てることのないように、1年生のうちから検定やボランティアには積極的に参加しておく、気持ちに少し余裕ができると思います。たくさんの先輩方が進路の道を創ってくれていて、周りの方々の協力があって進学できるということを忘れず、合格に向けて頑張ってください。

東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
石巻中出身

目標を持って充実した高校生活を 過ごしていれば後悔はしません！

■家族の支えに応えるため 勉強を怠りませんでした

私は、看護師を目指すため看護学科のある東北文化学園大学の指定校推薦に挑戦しました。

指定校推薦の受験資格を得るために大切にすることは学校生活で無遅刻無欠席を心がけテストでは評定 5 を目指し毎日コツコツと勉強することです。私は遠距離通学をしており一時期足を骨折してしまい通学に支障がでたのですが、家族や周りの人の支えもあり無事に通学でき、無欠席でいることができとても感謝しています。家族がサポートしてくれた分絶対に指定校推薦の受験資格をとろうと勉強を怠らず良い成績を取ってきました。そのおかげで無事受験資格を得ることができました。また、自己推薦書は指定校推薦でとても重要だと思います。提出期限ギリギリで書くのではなく、夏休み前から少しずつ考えて先生にしっかりと添削してもらうことが大切です。面接では私自身練習する機会が少なかったため少し焦っていました。そのため、練習は余裕をもってやり、自分を最大限アピールできるようにした方が面接が終わってから不安もなく後悔しないと思います。

■合格はゴールではなく 夢へのスタートラインです

これらの経験から 1, 2 年生の時から小さいことでも良いので目標を持ち、勉強も怠らず、健康にも気をつけて友達と楽しくより充実した高校生活を築いていけば、後悔はしないと思います。私は合格したからといってゴールではなく、看護師になるためのスタートラインなので 4 年間しっかり勉強し将来社会に貢献していきたいと思っています。

後輩たちに贈る言葉としては、校則を守ることやしっかりと挨拶するなど当たり前のことはしっかりと行い、毎日勉強をコツコツとし成績を落とさないということを心がけてください。何より無遅刻無欠席ということはとても大きい事だと思うので、勉強も一夜漬けなどして生活リズムを崩さずしっかりと計画を立てて体調を管理してってください。無事に志望大学に合格できるように頑張ってください。

東北文化学園大学 医療福祉学部 保健福祉学科保健福祉専攻に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
宮城教育大学附属中出身

仙台育英を代表して推薦を受けることを 忘れずに胸を張って入学しましょう

■日頃の生活態度や学習姿勢が
評価されたと思います

私は日本の来たるべき未来に備え社会に貢献できる立派な医療人になろうと志し、福祉業界に多数の優秀な人材を輩出している東北文化学園大学の医療福祉学部を志望しました。

指定校推薦という大変光栄な機会を恵んでくださった仙台育英には感謝をしてもしきれません。やはり私の日常生活態度や学習姿勢を評価していただいたのだと思います。私は無遅刻無欠席を心掛け常に他の生徒の模範となるように振る舞い、3年間仙台育英で立派に過ごしました。また、成績にも目を配り、赤点を取らぬよう毎日学習を怠らぬよう勤め上げました。予習復習は勿論の事、課題等も必ず忘れず行い、未提出は絶対禁物と心に決め、評価の下がるような事は一切行いませんでした。資格取得には特に力を入れて取り組み、情報処理検定2級を取得しました。こうした努力が実を結び、指定校推薦を受けるに至ります。一見普通に過ごしたように見えるかもしれませんが意外と難しいのです。是非後輩諸君は自らの進路の為に真面目に生活していただき、この学校を代表して大学に進学するという事を胸に刻み、胸を張って行けるよう心掛けましょう。これが私の栄光への軌跡です。我が学舎に栄光あれ。

東北文化学園大学 総合政策学部 総合政策学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
加茂中出身

自分の進路に応じた授業を受けて 充実した 3 年間で過ごしましょう

■授業で様々な時事問題に触れ
深く学びたいと思いました

指定校推薦で東北文化学園大学に合格しました。

私が大学進学を考え始めたきっかけは、1 年生で学習した現代社会や、設定科目であるニュース時事能力検定講座が非常に興味深い内容で、もっと多くのことを学びたいと思ったからです。そして、このことを多くの先生方に相談したところ、指定校推薦という受験方法を教えていただきました。

指定校推薦を得るためには、3 年間の平均評定がその大学ごとに決められた値以上でなければなりません。また、3 年間の欠席日数も 30 日を超えないことが条件です。そのため、テストの点数の他に提出物などの平常点に関わる内容が非常に大切です。他にも、生活態度についても求められます。

■進路を 1 つに絞るには
先生への相談が一番です

仙台育英では生徒へのサポートがとても手厚く、充実しています。たとえば、資格取得のための講座や進路に応じた授業など様々です。先生方も、授業で分からなかった内容や進路のこと等々なんでも相談することができます。だからこそ、幅広い進路から 1 つを選択するために、先生への相談は欠かせません。

1 日の中で、ほんの少しだけでも日々の学習以上の内容を学ぶことで、進学するときに大きな力になります。どのような 3 年間で過ごすかは自分の自由ですが、最後に全て自分に返ってきます。最後に後悔しないために自分の行動には責任を持ち、充実した生活をしましょう。

東北文化学園大学 科学技術学部 知能情報システム学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
仙台 中田中出身

1 日も学校を休まず資格取得に励み 本番の面接でも強みになりました

■面接の回答をキーワードで 覚えたのが効果的でした

私は、高校生活の中で資格取得を目指して学校に来ていました。大学受験での面接では資格について何個か質問され、自信を持って答えることができました。特に詳しく質問されたのはエクセルの MOS 試験についてで、合格率や、どんな勉強をしたかまで聞かれました。そういった質問を答えて、面接時間はだいたい 10～15 分でした。私は、受験の前にたくさん面接練習をしたので、全くつまづくことなく面接をすることができました。練習の内容は、特に聞かれやすい質問や、その質問に対する答えを丸暗記するのではなく、キーワードで頭の中に入れておくことをしました。この方法は教頭先生に教えていただいたのですが、丸暗記しようとする、いざ本番の時に頭の中が真っ白になって、何も言えなくなってしまうことがあるそうです。私も最初、丸暗記しようとして、練習で思い出せなくなってしまい、つかえてしまいました。だから、質問に答えるときの練習は、その答えの大事なことだけを覚える方が良いと思いました。

■3年間無欠席だったことを 面接で褒めていただきました

私が指定校推薦で大学受験の前に大切にしていたことはもう一つあります。それは出席です。私は、高校生活の中で、一度も欠席をしたことがありません。これは 1 年生の頃から気をつけていたことで、今でも続けることができています。一度も欠席をしていないというのは、それだけでも強みになると思います。実際面接の時には大学の先生に、「君、1 回も休んでなくて、素晴らしいね」と言われて、一度も休まなくて、本当によかったと思いました。

私は勉強が苦手なので、この 3 つ、1 つでも資格を取る、面接練習をたくさんする、学校を休まない、ということを中心に高校生活を送ってきました。あまり参考になるような事は書くことができませんでしたが、1 つでも役に立つ内容があればうれしいです。受験がんばってください。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
郡山中出身

自主的に勉強できる環境と先生方のおかげで苦手教科を克服できました

■校内模試の結果で目が覚め、 受験勉強に本腰を入れました

私は指定校推薦で、東北医科薬科大学の薬学部合格ができました。

私は小学生の頃から薬剤師になりたいという夢を持っています。高校 1 年生の時は特に目標も無く、目の前の定期考査を頑張ることしかしてませんでした。そんな中 2 年生の校内模擬試験で過去最低点数を取ってしまいました。このままでは、指定校推薦枠を取る事が難しいと担任の先生から面談で言われてしまいました。これでは夢が夢で終わってしまうと本気で考えました。この日から薬剤師になる目的の為に目標を立て始めました。

■インターアクト部の活動で ボランティアに参加しました

まず、英語検定と数学検定の 2 級を取得すること。そして、自分が将来やりたい事を知る為に多くのオープンキャンパスに参加しました。いろいろな職業があり自分の視野を広げる事が出来たと同時に、薬剤師になりたいと強く思うようになりました。新たな挑戦としてインターアクト部の一員として、保育園や障がい者施設のボランティアに参加し、普段は出来ない体験をする事ができました。学習は昼休みなどの隙間時間を利用し、図書館やオークルーム等を使って効率よくする事を心がけました。学校には自主的に勉強出来る環境が整っていたので、隙間時間を有効に使う事が出来ました。3 年生の時から授業でプロジェクターが使えるようになり、より授業が分かりやすくなりました。また、多くの放課後講習を選択し参加出来る環境もあり、先生方のおかげで苦手教科を克服する事が出来ました。

大学合格は夢への一つの通過点に過ぎません。支えてくれた先生方や友人に感謝して、夢を叶える為に努力を続けていきたいです。

宮城学院女子大学 学芸学部 英文学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
塩竈第三中出身

第二外国語の検定やボランティア活動等 様々なことに挑戦し頑張りました

■英語を学び留学できる

県内の大学を志望しました

県内の大学で英語を学び、海外留学に行きたいと考えていたので高校 1 年生の頃から、県内で英語を学び、海外留学に行くことができる地元の 3 つの大学のオープンキャンパスに何度も通い、各大学の雰囲気、施設など様々な面で比較し、その中で宮城学院女子大学が一番自分に合っていると感じ決断しました。

推薦してもらえるように勉強面やそれ以外で頑張ったことは色々あります。まず、勉強面では期末テストの前には計画を立てて勉強をしました。検定やスピーチコンテストにも挑戦しました。指定校推薦をもらう前に英検 2 級を取得することはできませんでしたが、第二外国語で選択していた中国語の検定も受けました。中国語検定だけでなく、周りで受けている人がいなそうな HSK も取得しました。勉強以外では、ボランティア活動や入試補助員などに積極的に参加しました。ボランティア活動には 3 年間、入試補助員は 2 年間参加しました。勉強以外でもこのような活動に積極的に参加することは大切だと思います。そして、3 年間欠席や遅刻をできるだけしないように心がけ、精勤賞をもらうことができました。提出物などもしっかりやり、提出期限を守ることを心がけました。

私は指定校推薦だったので、試験は英語の長文を日本語に要約するものと、日本語と英語による面接でした。英語の要約は普段使いなれていない紙辞書を使うものだったので、紙辞書を使いなれることができるようにたくさん英語の要約をする練習をしました。英語の面接は、英語の先生やネイティブの先生に英語のチェックや面接の練習を何度もしてもらいました。要約と面接のどちらも何度も練習することによって、試験当日はあまり焦らず落ち着いてできると思います。

宮城学院女子大学 学芸学部 英文学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
郡山中出身

先生方は必ず力になってくれます！ 理解できるまで何度も質問しましょう

■カリキュラムと授業体制に

惹かれて志望しました

私が宮城学院女子大学の英文学科を志望した理由は、2つあります。

1つは、生徒一人ひとりと同じ目線になって教育する英語の先生になるという夢の実現に最適だったからです。特に、児童英語教育というプログラムに魅せられました。このプログラムは、定期的に宮城学院女子大学の学生さん達が近隣小学校へ出向き、英語を使った交流会をするというものです。将来の夢の実現の為にとても実践的な内容で、入学してからはこのプログラムに積極的に取り組みたいと考えています。

2つ目の魅力は、少人数制の授業です。宮城学院女子大学の英文学科は、生徒一人ひとりに真摯に対応するために、1クラス10数名で編成されています。そして、オープンキャンパスで模擬授業を受けた際にも、クラスにいた生徒全員に質問を振っていたのが印象的でした。

■先生方は分かるまで

親身に教えてくださいます

私がこの志望大学に、指定校推薦で受かるために最も努力したことは、自ら進んで曖昧な点がなくなるまで先生方に質問したことです。受験内容が、英語の小論文を読み取り、2つの問題に日本語で答えるというものと20分間の英語面接でした。私は特に、英語面接の練習に努めました。国際センターの先生に2週間、毎日放課後に面接練習に付き合ってくださいました。質問されそうな「志望理由」や「入学後に頑張りたいこと」などは英進進学コース執務室にいらっしゃる先生方に自分で推敲した英文に添削を入れてもらって、完成した文を暗記したりしました。どの先生方も、私が何度も何度も質問をしに行くのに、最後まで親身になって教えてくださいました。

これらの私の経験から、後輩の皆さんには自分が理解できない所がなくなるまで、先生方に質問しに行ってくださいと思います。先生方は必ず力になってくれます。皆さんが受験に合格することを心から応援しています。

宮城学院女子大学 学芸学部 日本文学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 英進進学コース卒
長町中出身

ボランティア活動で多くの人と接し 本番の面接でも緊張せず臨めました

■ 1 年次から指定校推薦を 視野に入れ行動しました

私が大学進学を目指したのは、自分の学びたいことを専門的に深く学ぶことができ、その学んだことをふまえて職業に生かすことができるのではないかと考えたからです。そのため、1 年生の頃から指定校推薦を視野に入れ、日々の学習に力を入れてきました。定期考査の近くはなるべく早く学習に取り組むように心がけていました。

本格的に指定校推薦で大学に行こうと考えたのは 2 年生になってからでした。学びたい学科を調べていく中で宮城学院女子大学を目にし、指定校推薦で行くことができることを知り、それに向けての学習に力を入れるようになりました。目標を早くから見つけることで、自分がしなければならないことがはっきりとして、今まで以上に学習することに力を入れることができました。

■ 自分なりに地道に努力し続け 積み重ねることが大切です

また、資格の取得も大切なことだと考え、できるだけ多くの資格の試験を受けるようにしました。

それに加え、川の清掃や募金といったボランティア活動に積極的に参加するようしていました。その活動を通して多くの人と関わり、コミュニケーションを取ることで面接の際にもあまり緊張することなく話すことができました。また、ボランティア活動に参加するということは、面接の際に高校生活の中で頑張ってきたこととして話すことができ、自己アピールすることができます。

ここまで、私が指定校推薦を受けるためにしてきたことを書いてきました。皆さん一人一人にあったやり方があると思うのですが、そのやり方をコツコツと継続して積み上げていくことが大切だと思います。諦めずに時間を有効的に活用して頑張ってください。

宮城学院女子大学 学芸学部 心理行動科学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
多賀城第二中出身

自分の思いや考えを明確に伝えることが 大切だと受験を通して実感しました

■大学で心理学を学び将来は 音楽療法士になりたいです

私が大学進学を目指した理由は、幼稚園の時からピアノを教わっているピアノの先生が音楽療法士で先生が障がいを持つ生徒に対して音楽療法をし、生徒が笑顔になる姿を見て、音楽療法士になりたいと考えるようになりました。そこで、音楽療法士になるためには何を学ばよいかを調べ、心理学が必要だと知ったため、心理学を基礎から学びたいと思い大学進学を目指し始めました。それを決めたのは、2年生の冬頃でした。それから、県内の心理学を学べる大学を探し、音楽と心理学を結びつけて学ぶことができる大学に決めました。指定校推薦の枠に私の志望大学はありましたが、自分のそれまでの成績を考えるとその中に入れなかったと思ったので、それからテストに向けての勉強方法を変えました。それまでにしてこなかった授業の内容の予習と復習をするようにしました。

部活動においては、所属していたインターアクト部でのボランティア活動に積極的に参加し、学校の指定校推薦の枠に入った後もボランティア活動に参加し続けました。

■校内模試対策では英語を 1年次から復習しました

受験前の準備では、3年生に上がる前から大学のパンフレットを読み、だいたいいつ頃にどんな入試があるのかを調べました。そして、指定校推薦を受ける際には、学校の模試期末試験の勉強に集中しました。模試の勉強は、文系は英語と国語が必要だったので、英語は高校1年生の内容から勉強し直しました。指定校推薦用の推薦文を書く時には、自分の将来就きたい仕事と志望大学の関係について分かりやすく書くことを心がけました。

大学での推薦入試の準備は、面接練習と小論文を書く練習をしました。面接練習では、自分の思っていることを分かりやすく話せるようになるまで多くの先生と練習しました。小論文はどのような題材が出題されるのか分からなかったため、過去問を解いたり、ニュースや新聞を見て、知識を入れるようにしました。

私は、受験を通して前もって準備をしっかりとすること、自分のことを相手に話せるようになることが大切だと感じました。

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
七ヶ浜中出身

部活動や入試補助員など色々なことへの 挑戦がアピールポイントになります

■部活動を通して自分の意見を
持てるようになりました

私は 3 年間、なぎなた部に所属していました。勉強と部活の両立は大変でしたが、勉強では学校の図書館に行って勉強したり、復習にも力を入れていました。部活動では仲間と意見を出し合い、大会で上位入賞を目指し頑張ってきました。部活に入部したことで楽しいこともあり、大会などで辛い時もありました。ですがそれを通じて礼儀や自分の意見をはっきり持てるようになりました。

私は指定校推薦で受験しました。そのため面接と小論文を徹底して練習しました。小論文では、私が受験する学科がまだ新しく過去の問題はもちろんだんなテーマが出題されても対応できるように、先生から様々なテーマをもらい小論文を書き、添削してもらおうということをしていました。また、面接ではたくさんの先生方が、放課後や HR の時間などに時間を割いて親身になって面接練習をしてくださいました。

普段から身だしなみには特に気をつけ、学校を休まないように体にも気をつけていました。また時間が空いたときには本を読んだりニュースを見たりしました。

大学を決めるためにオープンキャンパスに行ったり、様々な大学の資料を請求し、パンフレットを見比べました。また、仙台育英では卒業生の方々が入学した大学についての話を聞くことのできる在卒懇も行われ、とても参考になりました。

部活動や入試の補助員、ボランティアなど大変な事は多いと思いますがとても良い経験になり、自分のアピールポイントになると思います。高校生活で色々な事に挑戦してみてください。

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 英進進学コース卒
高崎中出身

「部活動を続けるために勉強をする」 という意識で受験勉強に励みました

■推薦受験を目指しながらも 部活動に一層頑張りました

私が志望大学を決めたのが3年生の夏だったので、遅いスタートになりました。どのような受験方法でも選択できるように、入学してから心掛けていたことがあります。

私は吹奏楽部に所属しており、1年生最初のテストはあまり良くありませんでした。テストのときは部活動を理由にし、あまり気に留めずに練習を続けていました。進路先を考えはじめると推薦を得るためには受験資格が必要ということを知り、とても焦りました。ただ私には部活動にあてていた時間を減らすことも、手を抜くこともできません。むしろもっと練習しないといけない状況でした。そこで私は自分に課題を出しました。「部活動と学習の両立」です。良く耳にする言葉ですが、いざ実践してみるととても辛く大変でした。部活動のために勉強量を減らすのではなく、部活動を続けていくために勉強をする、というように意識を変えたことが、一番の頑張れたポイントだと思います。

■学習面で成果を出し先生から 部活動を応援して頂きました

まず取り組んだことは授業中の過ごし方です。この授業中に分からない問題を無くそうと真剣に取り組みました。結果的に授業態度も良くなり、記憶にも残りやすいという一石二鳥で成績が上がっていきました。さらに勉強面で成果がでてくると気持ちに余裕ができて、先生達からも部活動を応援してもらえるようになります。それを励みに頑張ることができました。当たり前のことかもしれませんが、コツコツと取り組むことは意外と難しく感じました。それでも頑張っていれば学校生活は充実していきます。部活動を通して様々な経験ができました。その際の自己アピールにあたって、部活動と学習の両立できたこと、積極的に取り組んだことで得られた経験はとても強みになりました。

テストの点数が良いことはもちろんですが積極的に取り組む姿勢がとても大切であり進路に向かって歩めると思います。

仙台白百合女子大学 人間学部 心理福祉学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
蒲町中出身

進路について 1 人で悩むことなく 先生や家族などに相談しましょう

■仙台育英の名に恥じぬよう

大学でも一生懸命頑張ります

指定校推薦では主に評定平均値が大事であるというのを知っていたので、定期テストのために予習、復習を繰り返すようにしました。評定平均値の他に内申点も大事だったので、自らボランティア活動や部活に参加していました。部活動やボランティア活動また、資格を取得していれば自己アピールにもつながり、自己推薦文を書く際に困らないのでぜひやっておくと良いと思います。

大学での試験にはたいてい面接試験があります。面接試験は短い時間でどれだけ自己アピールができるかが重要なのであらかじめ面接練習を何度もしておくとお本番の時に落ちついてできると思います。

私が初めて面接練習をした時は、自己アピールが長くなってしまい注意されることがたびたびありました。でも、練習を重ねるうちに話しの内容や時間配分を工夫することができるようになりました。

私は、進路を考え直したことで今があると思います。なので 1 人で悩まず先生や保護者の方と相談をして進路を考えてみて下さい。そして、高校 1 年生、2 年生の頃から色々な大学のオープンキャンパスに参加して自分に合った大学を探してみてください。

高校で学んだことを大学でも生かし、努力して仙台育英の名に恥じぬよう一生懸命頑張っていきたいと思います。

仙台白百合女子大学 人間学部 グローバル・スタディーズ学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月外国語コース卒
桜丘中出身

面接官に興味を持ってもらえるような アピールポイントが合格に繋がります

■ハワイ研修を経て外国語を 深く学ぼうと思いました

私の高校生活は、チアリーディングと英語の勉強に打ちこんだ3年間でした。英語を専門的に学んで留学を経験したり、日本の伝統文化である茶道や華道も学びたいと思い、仙台育英の外国語コースを選びました。また、小学生の頃にボランティアでプロサッカーチームのチアリーダーをやっていたので、高校でもチアを続けたいと思い、チアリーディング部に入部しました。

チアの活動では、大会の他に、甲子園での応援活動や飲酒運転撲滅運動のボランティアなども経験しました。また、韓国でのイベントでは、世界中のダンスチームが集まる中、華やかなステージで演技ができたことが自信につながりました。そして、外国語コースでハワイ研修に行った際には、ホストファミリーや現地の方と英語でコミュニケーションをとることの楽しさと大変さを実感しました。このことがきっかけで、大学でも外国語をより深く学びたいと思うようになりました。

■英検2級を習得できたのは 強い武器になりました

私は、家から通える範囲で、英語や外国語を学べて留学を経験できるような大学に入りたいと思い、仙台白百合女子大学のオープンキャンパスに積極的に参加しました。その際に、私の描いていることがこの大学なら叶えられると確信しました。また、先生と生徒の距離が近く、勉強や就職面まで手厚くサポートして下さることを実感し、一層この大学に入学したいと思いました。

私は、指定校推薦でこの大学に入りたいと考えていたため、校内模試や英検取得に手を抜かずに取り組みました。私は、部活動で忙しく、英検2級を合格できたのが3年生になってからでしたが、指定校推薦の選考において英検2級を取得していることは強い武器になるので、早めに対策を始め、余裕を持って取得することをおすすめします。

面接試験では、自分が高校生活で特に頑張ったことを聞かれるので、面接官に興味を持ってもらえるような自分のアピールポイントを用意し、何度も本番を想定して先生と練習することで、試験当日もリラックスして臨めると思います。私自身、チアリーディングを3年間頑張ったことと、英検2級を取得していたことが大きなアピールポイントになりました。

尚絅学院大学 総合人間科学部 人間心理学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月外国語コース卒
長町中出身

受験に対する不安を先生方に相談すれば 落ち着いて本番に臨むことができます

■心理学と英語を専門的に 学べる大学を選びました

私は高校生活にボランティア活動に積極的に取り組んできました。活動を通して、楽しいことだけでなく困難もありましたが、私は人と関わることが好きだということを再認識しました。その上、活動を通して感じた、相互理解の難しさを少しでも解決するため心理学を学びたいと思うようになりました。

また、外国語コースの留学生が身近にたくさんいる環境は私にとってでもプラスとなっていました。留学であったり、日本伝統文化の授業を通して、異文化を理解するのが楽しいと感じるようになりました。その影響もあり、英語を今後も生かしたいという思いを持つようになりました。

大学を選ぶにあたって、欲ばりな私は、心理学と英語とどちらも学べることを第 1 条件としました。いろいろな大学のオープンキャンパスに行き、比較することが大切だと思います。私にとって尚絅学院大学の雰囲気はとても印象的で、この大学の一員になりたいとすぐに感じました。先輩方や先生方に直接気になることを聞いたときの対応もとても良かったです。

“この大学に入る！”と決めて、選考を経て内定が出てからは、入試に向け対策をはじめました。面接と小論文の試験の対策としては、面接は自分の大学に対する思いを限られた時間の中でより多くを伝えられるように練習しました。また、小論文は新聞の社説を毎日要約し、その記事についての意見をまとめをしていました。指定校推薦だからといって気を抜かず対策したことによって得た合格だったと思っています。面接の練習や小論文の添削を先生方にお願ひすると、時間を割いてまで引き受けてくださいました。何人かの先生にやってもらえたおかげで様々な視点から対策することができました。仙台育英はとても大きな高校なだけあり、私達の人生の先輩である先生方がたくさんいらっしゃるの、練習をしていただくなり、受験に向けた不安だったり少しでもあるならば、相談してみるといいと思います。そうすることで、いざ受験のときに不安な気持ちなく落ち着いて臨めるはずですよ。

■時間があるうちに資格を 取得しておきましょう

最後に、私が受験生になって、1, 2 年のうちにもっとやっておけばよかったなと思ったことを紹介しておきます。それは、資格取得ですよ。1, 2 年のとき、時間もチャンスもあったはずなのに、あまり資格取得に取り組んでませんでした。受験のときまで取得すればいいやという考えはやめて、取れるうちに取っておいたほうがいいと思います。指定校推薦の選考会議のときに資格の有無は大きく影響するからです。それに、高校のうちに取得した資格は大学に入学後も使えるので今のうちに取っておくべきだと思います。

大学合格するまで、沢山悩んで、勉強して辛いと思うときもあると思いますが、自分の第一志望に入れるよう頑張ってください!!

尚絅学院大学 総合人間科学部 現代社会学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
広瀬中出身

最後に完全燃焼したと実感できるほど 充実した高校生活を送りましょう！

■高校生活の中で部活動は かけがえのないものでした

私が仙台育英に入学して 3 年も過ぎたのかと考えると時の流れは早いものだなと今感じています。私はこの高校に入学してから部活動と勉強の両立を目指して 3 年間頑張ってきました。この 2 つの中でも特に部活動に力を入れました。

私は高校 3 年間卓球部に所属していました。中学校 1 年生から続けてきた事もあり、自分自身卓球にかける思いは人一倍強かったです。誰よりも卓球が上手になりたいといつも思って練習を毎日真剣に取り組んでいました。そんな私に転機が訪れました。それは、高校 2 年生の宮城県高校総体でした。先輩方と一緒にチーム一丸となって戦った学校対抗の団体戦は今までの試合よりも燃えました。その時の先輩方の姿を見て、かっこいいと思い、来年自分自身がそうなりたと思いました。先輩方が引退して、私たちが先輩としてチームを引っ張って行く番になり、私は副部長に任命されました。チームの重要な役割を任されたからにはチームの誰よりも努力をすると心に決め頑張りました。途中部員同士で対立する事がありましたが、それでも諦める事なく練習を行うことで、チーム全員技術向上する事が出来ました。日々の努力を続けた事で自分より格上の相手に対抗出来るくらいになり、6 月の宮城県高校総体ではチームのみんなとベストを尽くす事が出来ました。最後のミーティングでは泣かないようにしようとしたのですが今までの思い出を思い返すと涙が止まりませんでした。それくらい私にとって部活動は高校生活の中でかけがえのないものになりました。

次に勉強の事です。先ほども言ったように、私は部活動と勉強の両立を目指して 3 年間頑張ってきました。部活動が中心になって中々勉強時間が取れない時期もありましたが最低 1 時間は勉強していました。定期テストの勉強などは、3 週間前から少しずつ行っていました。思うような点数が取れない教科もありましたが自分なりに頑張って毎回目標全教科 80 点を取るように心がけていました。

■周りに流されずに強い心で 授業に集中して臨みましょう

最後に私から後輩たちに指定校推薦や AO 入試、普段の心構えなどの事をアドバイスします。

まず、私が県内の尚絅学院大学に合格することが出来たのは、普段の授業の中でいかに先生が話している事を理解してテストに繋げることが出来たかが大事だと思います。流されない強い心を持って勉強をすれば自ずと結果は出ると思うので頑張ってください。

高 1、高 2 の皆さんは高校生活が完全燃焼で終わる事が出来たと言えるような生活を送ってください。この仙台育英で過ごした日々を忘れず、将来の夢のために大学でも頑張ります。ありがとうございました。

尚絅学院大学 総合人間科学部 子ども学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 英進進学コース卒
西山中出身

志望大は周囲の意見を踏まえて考えを まとめると絞り込みやすくなります

■大学で学びたいことを

よく考え進路を決めましょう

◎大学選び

自分が本当にやりたいことを学ぶために。

- ・好きなこと、少しでも興味のあることを全て書き出して明確にする
- ・自分が将来何をしたいか、やってみたいかを考える（部活動所属者は特に忙しい時期だと思うので、今後について考える時間を作る）
- ・その分野を学べる大学を調べる
- ・将来の夢に近づくにはどの大学・学部へ行けばよいか絞っていく（場所で決めるのも一つの選択肢だと思います）

注意点

- ・大学をなんとなくで選ばない
- ・相談は自分の考えを持った状態です（迷っている場合なぜ迷っているか伝えること）

◎志望大学合格に向けて

- ・必要な学力を身につける
- ・学業だけでなく、生活態度にも気を遣う
- ・下記の“高校生活が充実したものになるように”に記載してあることが実行できれば自己PRに繋がる
- ・大学で学ぶ目的を明確にする（重要）

◎勉強法

- ・無理に覚えようとせず、知識として取り入れようとするのがおすすめ
- ・興味のある分野やページから勉強してみる

◎高校生活が充実したものになるように

- ・切り替えを大切に一つ一つに集中する（オン・オフや部活・学業など）
- ・小さな目標を立てて過ごす
- ・一日を大切に
- ・物事について自分はどう思うか考えて過ごしてみる（周りへの感謝ができるようになったりする）

新3年生のみなさん、大学進学にあたり将来について考えなければいけず、とても大変な時期かと思います。できないは別として、将来自分がどうしたいのかがとても重要だと思います。充実した大学生活が送れるよう、志望大学は本当にそこでよいのか、やりたいことは何なのか、よく考えて、決めてほしいなと思います。周りの意見に対して自分がどう思うか考えられると、より自分に合った大学を絞り込めると思います。みなさんの高校・大学生活が充実し、将来の夢が大いに近づくよう、心から応援しています。

石巻専修大学 理工学部 情報電子工学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
岩切中出身

資格を面接の話題にすることができ 取得したメリットを実感しました

■ 1 つでも多くの資格を 取得しようと頑張りました

大学を受験するにあたって一番心がけたことは、1 つでも多くの資格を取得することです。私は 3 年間の高校生活の中で取得することができた資格は、情報処理検定 2 級と、MOS Excel Expert と、MOS PowerPoint の 3 つです。

MOS とは、Microsoft Office Specialist の略称で、自分がこのソフトを使う能力を世界レベルで証明することができる資格です。

この資格を取得することによって私は入試の面接の際の話題としても利用することができ、自分の身をもって資格を取得することの良さを知ることができました。

■ オープンキャンパスの参加で 志望動機が明確になります

面接の際の話題としてとても役に立った事がもう一つあります。それは、受験する大学のオープンキャンパスに足を運んだことです。オープンキャンパスに行くことは面接の話題になるだけでなく、その大学で何をどのようにして研究しているかを直接自分で感じるすることができます。これにより自分がなぜその大学に行きたいのかという動機をより具体的に表せるようになると思います。

指定校推薦を目指す上で大切なことは、志願理由書や自己推薦文などをたくさん書くことになるので、長文をすぐに書く能力を身に付けておくと後々楽になると思います。

やはり何と言っても大切なことは、当たり前のことですが、できるだけ学校を欠席しないようにすることです。そのためには、自分の体調をしっかり気を付けながら生活することだと思います。そして、合格できた後でもできるだけ気を抜くことなく普段の生活をして、大学に入学した後に周りに差をつけられないように頑張ってください。

仙台大学 体育学部 運動栄養学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
中野中出身

志望大についてしっかり調べて 十分な対策を行えば結果はついてきます

■面接は練習するほど
自信もついていきました

私は大学合格するために大学のことを調べて、今の自分はどんなことをして将来はどのような仕事に就きたいか考えて大学を選びました。私は 2 年生の時からだいたい進路は決めていました。そして 3 年生の夏あたりには 8 割ぐらい決めて合格するために小論文や面接練習をしていました。小論文は様々な学校の題材で数多く小論文練習をしました。先生に文章を添削してもらいより良い文章が書けるようにアドバイスをしてもらいました。面接練習では自信がなく不安と合格というプレッシャーがありました。練習を多く行っていくうちに自信がつき試験の時も自信をもって受け答えが出来ました。そして無事大学に合格することが出来ました。

また、大学のことをしっかり調べて練習を数多く行えば結果がついてくると思います。だから悔いが残らないように最後まで頑張ってください。

仙台大学 体育学部 スポーツ情報マスメディア学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
岩切中出身

受験当日は緊張するので 自信をつけてから臨むことがコツです

■オープンキャンパス等への 参加でやる気が増しました

私は初めから進学したい大学がありました。進学の仕方は決まっていりませんでした、将来の夢のためにもその大学に進学したいと思っていたので大学のことをよく調べていました。オープンキャンパスでの説明会やクラブ体験に積極的に参加しました。参加していくうちにその大学に進学したい気持ちが増しました。そのため進学の仕方も調べるようになりました。AO 入試やスポーツ推薦、指定校推薦などがある中で合格率の最も高い指定校推薦を選びました。しかし、その大学の学科は校内で 1 人しか指定校推薦を受けることができませんでした。校内模試の順位で指定校推薦を受ける資格が貰えるか決まるので、勉強をし校内模試を頑張りました。指定校推薦を受ける資格を貰えたときはとても嬉しかったです。しかし油断はできませんでした。面接と苦手な小論文だったので何度も練習をしました。面接の練習は色々な先生とやった方がいいと思います。人によって質問の仕方が異なるからです。それと、志望動機や高校で頑張ったこと、大学で何をしたいかは言えるようにしておいた方がいいと思います。小論文の練習は前年度などものをやってみて、小論文の担当の先生に見ていただくといいと思います。

■合格を知った時は開放感と 嬉しさがこみ上げました

受験会場に着いて思ったことは、自信をつけて受験をしないと本番はなににもできなくなると思いました。考えすぎるのも逆効果だと思ったので自分の好きなことを考えて気を紛らわせていました。受験が終わり合格発表で合格が決まったときは開放感と嬉しさがすごかったです。練習など大変でプレッシャーで嫌になることがあるかもしれませんが諦めず頑張れば、最後は頑張った甲斐があったと思えるはずです。

仙台青葉学院短期大学 こども学科に
指定校推薦で合格

平成30年3月特別進学コース卒
多賀城中出身

推薦入試には色々なことにチャレンジし 自信をつけることが大切です

■吹奏楽部で多くを学んだ上に 進路選択にも繋がりました

私はこの度学校から指定校推薦をいただき仙台青葉学院短期大学に進学することが決まりました。進路が決まるまで両親や先生方、クラスメートなどからの多くの支えがあり、振り返ってみると改めて周りの協力があったからこそ合格だったと感じます。私の高校生活を振り返りつつ、これから受験生になる人やこれから高校生活を迎える人のためのアドバイスを交えて、体験記を書きたいと思います。

私は特別進学コースに在籍しながら、中学で吹奏楽部に所属していたことと、勉強の息抜きになる活動をしたかったことなどを理由に、仙台育英吹奏楽部に入部し部活と勉強の両立を頑張りました。1年生のときには吹奏楽コンクール東北大会に進出決定したものの、大会と期末試験の期間が重なって試験期間中も部活中心の生活になることもありましたが、それでも部活動で得た学びは非常に大きく、音楽との関わりが将来の夢を見つけるきっかけの一つとなりました。また、特別進学コースでもできるだけ成績を下げないように分からない所を先生に質問したり、放課後講習に積極的に参加するよう心がけたりしました。室長にも何度か挑戦し、学校の仕事にも最善を尽くしました。

■指定校推薦は自分の理想を 見つめ直す機会になりました

大学は将来の夢を明確に定めてから決めるよう両親から言われていた私は、自分の特技を生かしてやりがいを感じる仕事に就きたいと考えていました。そこで大好きな音楽を生かすことができ、細かい作業をすることが得意でさらに子供と遊びながら、生きるために必要な知識を自分の表現力を使って教えることに魅力を感じたため、幼稚園教諭になることを決意したのです。大学を仙台青葉学院短期大学にすると決め、志望学科に指定校推薦の枠があったのでチャンスが増えるならと挑戦しました。将来の夢がはっきり決まっていることから、私は大学でどんなことを学んでどのような教諭を目指したいかなどの自分の理想を考えて見つめ直すことができたと思いました。担当の先生はもちろん国語の先生にも推薦文のチェックや面接練習をしてもらい、友達から沢山のアドバイスと支えがありました。そのおかげで無事合格することができました。

この実体験を通じて、私は様々な経験をすることは話題が増えて自信にも繋がるので、推薦入試を受けたい人はどんなことも挑戦する精神を持つことが大切だと思います。大学入試を後悔しないためにも日々の取り組みを大事にしてほしいと思います。

仙台青葉学院短期大学部 栄養学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 英進進学コース卒
中野中出身

興味を持った大学があればすぐに調べ オープンキャンパスに参加していました

■保育園で働く栄養士の方々の 仕事ぶりに魅力を感じました

私が栄養士になりたいと思ったきっかけは所属していたインターアクトクラブでの活動で保育園に行った際に、栄養士の仕事を拝見させて頂き、自分で考えた献立や調理したもので子ども達の健康を支えることができる栄養士に魅力を感じ栄養士になりたいと思いました。

高校 2 年生の中頃から進路について深く考えるようになり、興味を持った学校や職業にはすぐに深く調べたり、オープンキャンパスなどに行くようにしました。またどのような進路になっても対応できるよう、1 年生の時から苦手教科の克服、ボランティア活動に励みました。また、なるべく欠席しないよう体調管理にも気をつけました。指定校推薦を目指そうと決めてからは定期テストや校内模試で 1 点でも多く点数を取れるよう、各教科の自分が苦手だと感じている分野を中心に復習し分からない問題は友達に聞き、少しずつ克服していきました。

志望した理由、高校生活についての PR など約 1000 文字にまとめて提出する推薦書は家族や先生に添削してもらいました。何枚も書き直した時は辛かったですが、諦めずに一生懸命頑張った良かったです。推薦書は早めに準備することをおすすめします。

■面接のみの受験だったので 十分に練習しました

指定校推薦は、大学によって受験の仕方が異なりますが、私の受けた大学は面接のみだったので何人かの先生に面接練習をお願いし、沢山練習しました。その練習のおかげで受験日当日は、とても緊張しましたが質問に対し落ちついて答える事ができました。

大学進学を希望するにあたって大切だと感じたことは、高校生活の中で出来る事は積極的に挑戦し、日々の授業態度にも気をつけて生活するという事です。提出物をしっかり出すという事もとても大切だと思います。受験をする時に後悔しないよう頑張ってください。

仙台青葉学院短期大学部 歯科衛生学科に
指定校推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
高崎中出身

提出物はミスをしないように ゆとりを持って取り組みましょう

■高校で積極性や社会性を 伸ばすため努力しました

私は今回、学校の指定校推薦を利用し、仙台青葉学院短期大学部歯科衛生学科に合格することができました。そのため 1 年生の頃から評定を下げないよう、低い数字を取ってしまった学期は次の学期で取り戻したりと、心がけていました。

他には部活動に入ったり、ボランティアにも積極的に参加しました。1 年生の頃から具体的な行きたい大学もやりたい事も決まっていなかったため、社会人としても大切な何事も積極的に挑む気持ちや社交性を身につけたいと思っていたため、高校ではたくさんの人々と関わることも一つの目標としていました。

■面接練習は幅広い教科の 先生方をお願いしました

志望大学が決まってからは、学校側がどんな生徒像を募集しているのかや、どんな入試方法があるのかを調べました。また、仙台育英内にある指定校の枠の中に自分の行きたい学科があるかも調べた方がいいと思います。また、枠がある場合は学校に自己推薦文を出さなければいけないので、教室に貼られる掲示物に書かれている提出日を確認し厳守することが必要です。指定校推薦では自己推薦文も大切になってくるので、私は本格的に自分の文章を書き始める前に何冊かの小説を読んだり、文章を書く練習から始めました。ある程度の文章が書けるようになったら、下書きを書き始めます。内容については、自分がなぜその学校に入りたいのか、将来なにになりたいかなど具体的なものがあるといいと思います。また、そうなりたいと思った経験やこの学校でなければいけない理由を大体 1,600 ~ 2,000 字以内でおさめるのが良いと思います。私は読んだ人がきちんと納得できるような理由を沢山加えるよう心がけました。このような提出物などは提出日の 1 週間から 10 日前には出しておく先生方にも迷惑がかからず書類がスムーズに回るので早め早めがいいと思います。

そのほかに青葉学院短期大学部の推薦入試には、どの学科でも必ず面接があります。私はまず、面接の過去問題を先生にプリントアウトしてもらい、どんなことが聞かれるのかを見た後、一度自分もその質問に答える練習をしてからいろいろな先生方に練習をみてもらいました。自分が行きたい分野に近い先生に練習をお願いするのももちろん良いですが、まったく違う分野の先生に練習をお願いするのも色々なアドバイスがもらえるので、本番で自信がつかます。また、友達同士で練習も効果的でした。全体的には、すべて前もって提出物は余裕を持つことで、ミスも少なくなり心の余裕もでき、落ちついて取り組むことができました。

2018 栄光への軌跡

2018年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



公募制推薦

岩手大学、山形大学、宮城大学、岩手医科大学、
東北学院大学、東北福祉大学、東北医科薬科大学…

岩手大学 理工学部 システム創成工学科 社会基盤・環境コースに
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
米山中出身

「やると決めたら最後までやり抜く」 という決意を 3 年間貫き通しました

■部活動をやり抜いたことが 受験への自信になりました

私は高校に入学した時に決意したことがあります。それは「やると決めたことを最後までやり抜く」というものです。そして、仙台育英で高校生活を送ったことで、この決意を貫き通すことができたと思います。

私は特別進学コースの勉強とライフル射撃部の活動を両立していました。限られた時間の中で勉強も部活動もみんなに付いていくのはとても大変でした。そこで、私が心掛けことは時間の有効活用です。足りない勉強時間を休み時間や電車の中などの隙間時間を有効利用することや講習に積極的に参加することで補い、部活動での足りない練習時間は朝練習や家での自主トレーニングで補いました。しかし、それだけでは補いきれない所も多くあったので、短い時間を集中して取り組むことを大事にしてきました。疲れて集中できない日はしっかり休憩を取り、オンとオフを切り替えることを意識してきました。

そのおかげで、勉強と両立しながら部活動を 10 月末の大会まで続け、悔いなく引退することができました。自分でやると決めた部活動を最後までやり抜くことができ、自信を持って受験に臨むことができました。

■仙台育英の先生方は真摯に 生徒に向き合ってください

部活動引退後、推薦入試までの時間は 1 ヶ月程しかありませんでした。それにも関わらず合格できたのは多くの人達に支えられてきたからです。特進の先生、ライフル射撃部の顧問の先生や部員、家族、本当に様々な人達にサポートしてもらい、応援してもらったおかげで頑張ることができました。

改めて、高校生活を仙台育英で過ごすことができ良かったと感じました。

これから仙台育英で活躍される皆さんも分からないことや不安なことがあれば、先生方に相談してみてください。先生方は生徒の声に真摯に向き合ってくれます。

山形大学 人文社会科学部 人文社会科学科地域公共政策コースに
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
郡山中出身

ソフトテニス部との両立の日々は 楽しさと忙しさであっという間でした

■目標を立て自分に合う学習の スタイルを見つけましょう

仙台育英の特別進学コースへの進学が決定したとき、勉強とソフトテニスの両立を高校生活の目標とすることにしました。特に部活動ではインターハイ出場を目指し、ほぼ毎日、宮城野校舎から多賀城校舎に通い、休日を返上して練習に明け暮れました。そんな私は、授業で理解すること、わからない、気になる部分は、授業終わりの休み時間までに解決することをこころがけていました。テスト期間は普段の勉強不足を補うべく、必死で勉強していました。大変でしたが苦ではありませんでした。好きなことが続けられる楽しさと忙しさの半々で月日はあっという間に過ぎていきました。

このような日々を送った私からのアドバイスは 2 つです。

1. 高校生活の柱となる大きな目標をたてる。
2. 自分に適した勉強のスタイルを見つけ、一生懸命に取り組む。

私は、自分次第で何事も成し得ることができると思います。高校生活をより有意義なものとし、この積み重ねがその人の大きな武器に、助けになるはずです。しかし、これまでの積み重ねが少ないからといって、諦めないでほしいです。どんな状況からでも本気になれた人には勝機があると思います。

■自分の売り文句を考えると 面接や書類作成に役立ちます

次に、面接試験について少しアドバイスをさせていただきたいと思います。

1. 自分の売り文句を知る。オンリーワンを目指してください。
2. 志望理由書には物語をつくる。嘘をつくわけではなく、1. を参考に必要な出来事だけを前面に出すことで話の流れが生まれます。
3. 提出書類や回答につかれそうな点はないか確認。あれば次の回答を考え、先回り。意外に役立つ作業です。
4. 本番では失敗も恐れず、面接官の先生方との対話を意識しましょう。

最後に、皆さんの努力が報われ、保護者・仙台育英の先生・関係者・その他の方々の支えに恥じない結果を勝ち取ることを祈っています。

山形大学 理学部 物理学科に
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
石巻 山下中出身

実験講座や模擬講座などへの参加は 後に必ず何かの役に立ちます

■得意な理科から勉強を始め 学習習慣が身に付きました

私が山形大学を志望大学に決めたのは高校 3 年生になってからでした。目標の大学がなく迷っていた時に物理担当の先生に相談したところ、山形大学の理学部を勧められたことがきっかけでした。

山形大学に合格できたのは先生方の心強い支えがあったことが第一でした。

山形大学を目指すようになってからまずしたことは勉強時間の大幅な確保です。2 年生の 1 月頃まで私はずっとゲームなどで遊んでばかりでした。その点を今はひどく反省しています。ですが流石にまずいと思い、自分の得意だった理科教科を勉強し始めたところ、新しい知識を得ることや問題を解くことが面白くなり、勉強も自分からするようになりました。その後、物理をする為には数学も必要なのだと分かり、数学も勉強…などというように、どんどん関連づけて様々な教科を学ぶようになりました。

■サイエンス・コ・ラボで 知識と関心が深まりました

そして 3 年生になり、新しく来た物理担当の先生に相談し、山形大学を目指すことが決まりました。私は入試を公募制推薦がダメだったら一般入試でも受けようと思っていました。なのでそれまでの勉強の質を落とさずに公募制推薦の準備をしなくてはならなかったのですが、それはとても過酷なものでした。まず公募制推薦を受けるにあたって、自分をアピールするものが必要でした。ですが私はほとんどそれまではそれを出来るものではありませんでした。そこで私はサイエンス・コ・ラボに参加しました。毎回休むことのないように参加したことで、理学に対する幅広い高校の域を超えた知識を手に入れることができた上、自分で装置を作り、観察することでそれまで習った理科や数学といったものが自然現象においてどのような関係にあるのかを実験を通して知ることができ、かつ現象の本質を理解することの出来る素晴らしいものとなりました。同時に理学に対する興味はますます深いものになりました。

私が是非これから入試になる方々に伝えておきたいことは、当然ですが勉強はしていて損はないということと、自分から実験講座や模擬講座などの授業外のことに率先して参加しておいた方がいいということです。必ずどこかで後々役に立つことがあるはずですよ。頑張ってください。

宮城大学 食産業学群に
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月 特別進学コース卒
しらかし台中出身

多面的なサポートをしてくれる 仙台育英の先生方をぜひ頼ってください

■オープンキャンパスを機に 食への関心が高まりました

私は高校入学時から、国公立大学への進学を目標としていました。しかし、興味のあるもの、将来やりたいことが見つからず、第一志望もなかなか決まらなかったため、勉強の優先順位などに悩むことが多くありました。

高1の時に親に勧められたのが宮城大学でした。その大学の存在すら知らなかったため、気軽な気持ちでまずはオープンキャンパスに行ってみることに。それから食について考えることが多くなりました。いろいろ悩んだ末、食に関する仕事に携わることを最終的な目標とし、宮城大学を第一志望に決定しました。後輩の皆さんの中にも志望大学が決まらず悩む人もいます。私のように、少しでも気になった大学を訪問してみて、その大学で学べることを調べた上で志望大学を決定するというのも有りだと思います。

■センター試験は集中講座の お陰で高得点を取れました

勉強に関しては、自分でもどうしてこんなと思うほどやる気が出ず、高1の頃は成績良好だったのが次第に悪くなってしまいました。その事に落ち込むばかりで、勉強に手がつかない、という状態が長く続きました。このスランプをどう乗り越えたかという、大学生の自分をとにかくイメージ。「自分はこの大学でこれを学ぶんだ!」とか「あのサークルに入って仲間と楽しく過ごすんだ!」とか「バイトして稼いだお金で趣味を充実させるんだ!」とかです。それを実現するには志望大学に合格しないといけないので、自然とやる気が出てきます。気持ちだけではどうにもならないこともありますが、仙台育英の先生方がセンター試験前や国公立入試前、普段の授業でも徹底的に指導してくれます。私は公募制推薦で受験したのですが、センター試験のある得点率を超えなければ合格に不利でした。センター試験直前まで点数が伸びなかった地理が、センター試験前の集中講座のおかげで、本番は模試の2倍近くの点数を取ることができました。英語や数学も普段より良い点数が取れましたが、直前まで点数の良かった国語は自分史上最低点となってしまったので、最後まで油断しないようにしてください。また、面接練習も先生方が的確な指導をしてくれます。多面的なサポートをしてくれる仙台育英の先生方をたくさん頼ってください。3年間自分がやってきたことは正しかったのかと不安になる人も多いと思います。私もそうでしたが、こうして第一志望の大学に合格したので、自分の思う以上に力をつけているものです。最後の最後まで自分を信じて頑張ってください。

岩手医科大学 医学部 医学科に
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
聖ウルスラ中出身

心身のストレスを上手く発散して 長い受験生活を乗り切りましょう

■医師として社会に貢献する という信念を貫きました

私は、病で困っている人を助けるために一生の職業として医師になり、社会に貢献したいという強い想いがあり、医学部を受験することにしました。目標を達成できたのは、この揺るぎない強い信念を貫き続けたことであると思います。

高校生活で目標にしたことは、まず、心身ともに健康であること、そして、常に自己練磨を心がけ医学部に現役合格できるだけの高い学力を身につけることでした。

健康面では、常に規則正しい生活を心がけました。起きる時間を一定にし、睡眠時間は必ず確保し、きちんと三食を摂り、適度に身体を動かすようにしました。さまざまなストレスに対しては、自分なりの発散法を身につけて対応し、どうしても困ったときは、必ず先生方や両親に相談するようにしました。心身ともに健康でなければ勉強にも集中できず、長い受験生活に耐えられません。

■仙台育英の恵まれた環境を 生かし精一杯努力しましょう

学習面では、毎日、短時間でも必ず勉強することを心がけました。自宅には多くの誘惑が存在するため、学校での自習時間を確保するようにしました。毎朝 7 時に登校し、ホームルームが始まるまでの時間と放課後から 19 時まではオークルームや図書室で自学を 3 年間続けました。受験は日頃の学習の延長線上にあります。学校の授業を大切にし、定期試験にも全力で取り組みました。こうした日々の努力が目標達成に繋がったのだと思います。

仙台育英は、自身の目標を達成するための環境が整っている素晴らしい学校です。皆さんも、こうした環境を十分に生かし、高い志を持って、目標に向かって精一杯努力してください。努力すれば必ずと結果がついてくると思います。

最後に、ご指導いただいた先生方、励ましあった友人達、そして、いつも支えてくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

東北学院大学 経営学部 経営学科に
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
鶴谷中出身

早めにプランを立て努力してきたのが 一番の勝因だと実感しています

■模擬授業がきっかけで
志望学科を決めました

私は大学進学へ向けて、早めの準備と努力を心がけてきました。進路設計をするにあたって、スタートが遅れるのはとても不利になります。自分なりのプランを早めにたてるのが大事です。

私は、2年生の頃に授業で行った大学調べで、東北学院大学に興味をもち、その夏にオープンキャンパスへ行きました。模擬授業や実際の授業風景を見学して、私は経営学部のマーケティングの授業に興味をわき、ここで学びたいと思いました。

まず、志望大学へどのようにして受験するのかを調べるところからスタートしました。私はクラブチームでサッカーをしていたので、一番最初にスポーツでの公募制推薦に目が止まりました。応募資格をクリアしていたので、受験をし合格しました。早めに準備をしていたから合格できたと思います。

以上の経験から、私が大学に合格できた一番の理由は、早めのスタートでした。準備を早めにすれば、余裕もできますし、受験の対策もできます。もちろん3年間の努力も大事で、私はもっと勉強していればよかったと思うので、この経験をこれからは活かしていきたいです。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
高崎中出身

自信を持って受験対策をすることが モチベーションに繋がります

■先生方との面接練習は

緊張しないために必須だと痛感

私は推薦入試で東北福祉大学に合格しました。試験内容は面接と小論文です。まず、受験は自信を持って臨むことが大切だと思います。自信の有無は、自分のモチベーションの高低に関わってきます。落ちた場合の準備も大事ですが、たとえ学力的に難しい大学でも自信を持って試験勉強を行った方が、モチベーションを高く保てます。

私は先生方に面接練習をお願いせずに試験に臨みましたが、試験が終わった頃には「面接練習頼んでおけばよかったな」と後悔していました。面接は暗記ではなく、その場で瞬時に考え、返答することが評価されるので、面接練習をせずに受けた方が評価されるのではないかと思う人もいるかもしれません。しかし、面接練習を受けずに面接に臨むと、本番独特の緊張感に戸惑ってしまったり、事前に大体の返答イメージが出来ていないと、「志望動機を言って下さい」や「何故他の大学ではなくこの大学なのですか」などの基本的な質問に対しても詰まってしまう、余計に焦って頭が真っ白になってしまうこともあると思います。なので、面接練習を要らないと思っている人も、一度先生に頼んで面接練習をしてもらい、本番に近い雰囲気や質問に答えてみて、返答に詰まるようならその質問の返答を大体でいいのでイメージしておいて、面接の雰囲気に慣れて、詰まらずに返答出来るようになるまで繰り返し面接練習をしてもらうことが、一番自分の力になると思います。

■他人の小論文を読むことで

語彙や視点の幅が広がります

小論文は、とにかく志望大学の過去の論題で小論文を書き、国語の先生に添削してもらう事が一番良いと思います。また、参考書やインターネットなどで、他の人の書いた小論文をたくさん読むことで、語彙が増えたり、自分とは違う考えを持っている人の小論文は参考になったりするので、おすすめです。

また、普段から本を読んでいると、面接の質問の対策になったり、語彙が増えて小論文の対策にもなるので、出来るだけ多く本を読んでおいた方がいいと思います。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
松岩中出身

自分自身の限界を決めてしまわずに 夢に向かって前進していきましょう！

■部活動で学んだことを生かし 諦めず必死で勉強しました

私は、高校 3 年間でバレーボール部に所属していました。長期の休みのときも平日の授業が終わってからの放課後も休まず続けてきました。小学校の頃からバレーボールを続けていましたが、高校でのレベルは前よりも高くなったので、最初はついていくのに必死でした。その必死に毎日部活動を行っていく中で、継続力や忍耐力が付き、体力面でも技術面でも非常に成長することができました。

大学受験も同様に、普段の勉強のレベルよりも高いレベルのものを必死に勉強していました。部活動でついた継続力や忍耐力を生かして行っていました。小論文は、なかなか思った通りには書くことができず、苦戦しました。途中で断念しそうになったこともありましたが、自分自身の夢のために 2 か月間諦めずに必死に勉強してきました。

その小論文を学ぶことに大切なのは、世の中の出来事、現在の社会問題などを勉強し、把握することだと思います。私は福祉の視点から、現代の日本の社会問題について勉強しました。そのように小論文でどのような題が出題されても対応できるように、たくさんの知識を自分のものにしておいたほうが、色々な視点から書くことが可能になると思っています。

■震災を経験し人の役に立つ 仕事に就こうと決意しました

私が必死に勉強して合格することができた大学は、私になりたい職業について専門的に学ぶ場所でもありますが、社会に出てから、しっかりと社会に貢献できる人間になれるようなことを学べる場所だと思っています。

私は小学 5 年生で東日本大震災を経験し、私の住んでいた地域は跡形もなく、津波にのまれてしまいました。それを体験していて、もう二度と起こってほしくないと思うています。その震災が原因で、他人の助けを必要としている人たちの役に立てるような職に就きたいと思っています。当時の避難所に多くのボランティアの方々が駆けつけてくれて、そこでは非常に温かい支援を受けました。その出来事を忘れずに、これから社会貢献のために勉強していきたいです。

そして、これから夢を見つける人、見つけて頑張っている人たちには、自分自身の限界を決めず、諦めずに前進してほしいと強く思います。

東北福祉大学 総合マネジメント学部 情報福祉マネジメント学科に
公募制推薦で合格

平成30年3月 フレックスコース卒
いわき 泉中出身

仙台育英で学ぶ事は将来必ず役立つので 目標に向かって毎日頑張りましょう

■プロ野球選手を目指すには 最適な大学だと思いました

なぜこの大学にしたのか。それは、野球をしていく中で今後自分がどのようになっていくか考えた時に、野球は技術だけではないという本当の意味を教えてくれた高校3年間の教を活かして、プラス世の中を平等にという福祉の心が育てられるなど思えた所に魅力を感じこの大学良いなと思いました。そして、一番の決め手は環境です。ここならプロ野球選手を目指して、無理でも社会人野球に進みまたプロへと挑戦出来たり、福祉を学び人間的にも大きくなれるという、今後の人生に必ず役に立つ4年間が詰まっている環境だと思いこの大学に行きたいと決めました。1年後、2年後、まずは自分が将来どのようになりたいか、していきたいかを考えてそれに合った道へ進むべきだと思います。とりあえずここではなく自分に合った大学は必ずあります。そこを大切に選んでほしいです。

■目標達成への思いが強ければ 諦めることはないはず

しかし、ただ行きたいとは思っていても誰もが行けるとは限りません。そこにあった学力、もしくは成績が大事になります。私は3年間を甲子園のために捧げてきました。暑い日も寒い日も毎日グラウンドに立ち仲間と過ごして来ました。何かを達成するためには何かを我慢して、何かを犠牲にしていけないといけません。それはスポーツだけではなく勉強も同じです。目標があれば頑張れます。あとは自分次第です。思いが強ければ諦めることはないはず。そして、神様は見てくれています。

そして、このような気持ち、やってきたことを上手く伝えられるように面接練習を繰り返して本番に向かっていて下さい。何よりも大切な事は緊張もすると思いますが笑顔が一番の武器です。仙台育英で学んだ事は必ず役立つので、日々の生活から全国のライバル達に勝てるように目標に向かって頑張ってください。

東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科に
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
矢本第一中出身

強い志を持ち、それに向かって 前進してこそ道は拓けます！

■授業の取り組み方を見直し

積極的な学習に繋がりました

幼い頃から看護師になることが夢でした。看護師は患者さんのサポートをしたり、テキパキと働いているというイメージが強くとっても憧れのある職業で、それは今も変わらず思っています。しかし、憧れているというだけでは決して夢は実現できません。少しでも現実的にしていくために、さまざまな課題をクリアしていかななくてはなりません。まず私にとっての最初の課題は学校での定期テストでした。ある教科を勉強しようとしたときその教科の問題の第 1 問目から 4 問目くらいまで全く解けなかったことがありました。その問題は難しいものではなく、授業を受けていれば十分解ける問題でした。そして、そのとき私は、授業で聞いたことをその場で何となく理解していただけだったのだと思い知らされたのです。そこで私は覚えやすくするために自分用に言葉を作り変えたり、先生の発言で印象に残ったことなどをメモするように心がけました。その成果は点数としてはあまり大きな変化を得ることはできませんでしたが、対策を取る前より自ら興味や探究心を持って授業に取り組めるようになったので、それだけでも自信に繋がったと思います。

■周りの支えがあるからこそ

受験に挑戦できるのです

私が目指す看護師に向け、志望大学を 3 校以内に絞っていた時期には、最も自分の志望する内容と合った大学と自分の学力なども踏まえて選ばなくてはならないため、特に学力に自信の無い私にとって葛藤や後悔の多い時期でした。しかし、あきらめている訳にもいかない、進学して夢を実現するための勉強をしたいと考え直し、その気持ちをより真っ直ぐに伝えられる形で受験に臨みたいと思い、公募制推薦で受けることを決めました。そして私は試験科目である小論文と面接の対策を、さまざまな先生方にお願ひし、小論文では志望大学だけでなく他の大学の過去問にも取り組み、前年度から見た出題傾向や時間以内書きまとめる練習をしました。また、先生に添削していただいた答案をもとに、再び自分の言葉で書き換えるなどを繰り返し行いました。面接練習では、特に志望理由はしっかり伝えたいことをまとめた形で言えるようにし、1 人の先生だけでなく何人かの先生方にも練習をお願ひして、どのような質問のされ方でも臨機応変に返答できるように常に気を付けて臨みました。

このように、まずは自分自身が志を持ち、それに向かって前進しないことには何も起こせないということと、受験は自分 1 人だけではなく、たくさんの方からの応援や協力があって挑戦するものだということを忘れてはいけないと思います。今に至るまで高校生活は長いようでとても短く、あっという間に 3 年生になり進路を決め、自分の道を切り拓かなくてはなりません。後輩の皆さんはぜひ、少しでも早いうちから将来に向けての土台作りを始めてみてください。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
岩沼西中出身

先生方の手厚いサポートと友人のお陰で 大きく成長できたと実感しています

■仙台育英は仲間と切磋琢磨し 勉強に集中できる環境でした

推薦入試を利用して受験しようと思った理由は、東北医科薬科大学の薬学部が第一志望だったからです。高校へ入学する前から薬剤師になることを目指していて、薬剤師になるには 6 年制の薬学部へ進学することが必要でした。多くの薬学部がある中で、なぜ東北医科薬科大学の薬学部かという点、第一に、東北医科薬科大学が患者さんに寄り添った医療を行うことのできる医療人を育成することを使命とする、医学と薬学の連携した大学だからです。医学部、薬学部を設置する東北医科薬科大学は、時代が求める医療人養成にふさわしい環境にある大学だと思います。第二に、大学独自のキャリアサポートがかなり充実しているため、より実践的な薬学の知識を習得できることです。サポートの充実については、私が今在籍している仙台育英にも通じるものがあると思います。3 年間、学校の手厚いサポートと、友人達との関わりの中で、私自身大きく成長できたと感じます。公立高校不合格で本意で入学した高校でしたが、今では仙台育英に入学して本当に良かったと思っています。同じく大学進学を目指した仲間達に囲まれることで受験へのモチベーションが上がり、受験勉強に集中することができました。そして第三の理由として、自宅から通学できるため、大学生活にかかる費用を節約できるということです。薬学部は学費がとてもかかるため、親への負担を少しでも軽くするために、自宅から通学できる東北医科薬科大学を志望しました。

■先生のアドバイスのもと 苦手の化学を克服できました

推薦入試では、化学と英語の筆記試験が課されました。私は化学がとても苦手だったのですが、化学の先生からどのように勉強したら良いのかアドバイスをもらい、学校で配布されたワークやオープンキャンパスに行った際にもらった過去問を何度も繰り返し解き、苦手を克服することができました。また、分からないところを質問した際には、とても大切に対応してくださり、とても感謝しています。おかげで第一志望の大学に合格することができました。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
吉成中出身

辛いときも目標達成に励む忍耐力や ぶれない強い意思が受験で培われました

■大学生の兄の話聞き 同じ道に憧れました

私が薬剤師を目指したきっかけは、2つあります。1つ目は薬剤師を目指す兄です。兄からは大学で学んできた講義の内容を聞く機会が度々あり、今まで考えもしなかったことが実は重要な役割を担っているなど、正直驚きの連続でした。薬剤師を目指す者はそのようなことまで学ぶのかと尊敬するとともに皆が知り得ない専門的な事をもっと知りたいと思った自分がそこにいました。2つ目は、私が帯状疱疹を患ったことです。その時処方された薬の薬価がとても高くこうした薬のジェネリックを増やしていきたいと感じました。こうした理由から東北医科薬科大学の公募制推薦を受けることに決めました。

東北医科薬科大学の公募推薦は化学と英語のマーク試験と面接が試験内容だったので受験まで英語と化学に絞って勉強しました。主な学習は英語とネクステとシステム英単語を化学はセミナーとセンター講習、模試直しを通して進めていきました。過去問を見る限り英語はそこまで難しく感じなかったので、化学を重点的に勉強しました。セミナーを何周も解き化学の先生を頼りながら分からない所がなくなる位までやり込みました。また、暗記ものをする上で資料集ほど役立つものはありませんでした。知識を写真やイラストと照らし合わせていくととても効率良く面白みを感じながら覚えていくことができました。こうしていくにつれてセミナーがメモだらけになり、いつしか自分だけの参考書になっていました。その効果もあって入試1ヶ月前の模試で化学の点数を大きく伸ばすことができ、入試に自信を持って臨むことができました。そして、晴れて私は合格を勝ち取ることができました。今までの努力が報われた最高の瞬間でした。

■目標を立て一日一日を 大切に過ごしましょう

この受験は私を強くさせました。どんなに辛い時も折れずに目標を何が何でも達成させるという忍耐力、周りがどうだろうと自分のすべきことから決してぶれない強い意思と集中力を養うことができる良い機会となりました。しかし、一方でもっと早く目標を決めていれば良かったという後悔もあります。私の場合2年生まで定期テストのためだけの間に合わせの勉強しかしてきなかったので受験に対しての学力が圧倒的に不足していましたし、それを取り戻すための時間の余裕もあまり残されていませんでした。さらに2年間は目標がなく、おかげで勉強以外の様々なことが経験できる貴重な時間を無駄にしてしまったんです。

高校3年間なんてものは驚く程あっという間であっけないものです。だからこそ、その期間を充実させるために目標を立ててほしいです。そして、それを通して様々なことを経験し、学び一日一日を大切にしてほしいと思います。

仙台白百合女子大学 人間学部 グローバル・スタディーズ学科に
公募制推薦で合格

平成 30 年 3 月外国語コース卒
長町中出身

仙台育英で互いに支え合うことができる 友達と出会えて良かったです

■オープンキャンパスに参加し 合格への意欲が芽生えました

3年生になってから、オープンキャンパスに行きこの大学に興味をもちました。ですが、3年生の9月の時点では専門学校に行きたいと思っていました。三者面談で志望大学が決まり、出願がすぐだったので急いで準備を始めました。正直準備しながらも「やっぱり専門学校が良かったな」と思っていました。でも決めたことなので「自分の選択が正しい」と言いきかせてきました。試験2週間前にオープンキャンパスがあったので参加しました。受験するときめたからなのか、「この留学に参加したい。この講義を受講したい。合格したい」と強く思いました。大学の先生方とも話し、いろいろと教えていただきました。実際、その中の1人の先生が面接官だったので、面接試験を楽しく受けることができました。

■学校生活にしっかり取り組んだので 推薦受験時に困りませんでした

私は急に大学を受験するときめたのにもかかわらず、なぜ公募制で受験することができたのか。それは、大学から指定された成績を上回っていたからです。各テストでは、勉強に励み良い点数を取れるように努力しました。そして、提出物もしっかり提出しました。これらを怠っていたら、今頃私は大学に合格していなかったでしょう。「どこの大学受験するか決めてないから。目標がないから」といって、テストをしっかり受けない、提出物などを提出しないのは、後々後悔することになると思います。

部活動では、インターアクト部に所属していました。いろいろなボランティアに参加しいろいろな人と出会い、ボランティアは良いことだと学び、大学進学後も参加したいと思いました。

資格は英検2級を取得しました。私は2年のときから資格検定試験に挑戦しました。1年のときから始めれば良かった、いろいろな資格をとれば良かったと後悔しています。これからも、いろいろな資格検定試験に挑戦したいです。

高校3年間でいろんな人に出会い、研修旅行でハワイに行ったり、友達と旅行したりと充実した3年間でした。仙台育英に通ったから、みんなと出会えた。友達になった。辛かったこともあったけど、お互い支え合って乗り越えた。改めて仙台育英を選んで良かったと思いました。

そして、私の夢のキャビンアテンダントになるため、大学でも頑張っていきたいです。

2018 栄光への軌跡

2018年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



スポーツ推薦

専修大学、立正大学、常磐大学、新潟医療福祉大学、
神戸松蔭女子学院大学

専修大学 経営学部 経営学科に
スポーツ推薦で合格

平成 30 年 3 月 フレックスコース卒
秀光中等教育学校出身

部活動だけではなく学習でも良い成績を 残すほど進路の選択肢が増えます

■硬式野球部では自分達で 考えて練習に励みました

私は、硬式野球部に所属していました。硬式野球部では、自主性を求められて練習メニューなど自分達で決めていました。練習も、ほとんど自分達だけでやっていました。今年の部員は 119 人で、県内で一番多い学校でした。3 年生は、1 年生の夏、3 年生の春、夏と 3 回甲子園に行くことができました。1 年生の夏は、準優勝という素晴らしい成績でした。3 年生の春は、初戦で福井工大福井高校に負けてしまいました。それから、チーム全員がもう一度甲子園に行き、勝つことを目標に練習をしてきました。最後の夏、延長再試合を含め計 7 試合を戦い抜き、甲子園に行くことができました。甲子園では、初戦の滝川西高校に 15 対 3 で勝ち、2 回戦の日本文理戦でも 1 対 0 で勝ちました。3 回戦は、春夏連覇を狙っていた大阪桐蔭とでした。試合は、9 回裏でアウトまで 1 対 0 で負けていました。しかし、2 アウトからヒットと四球で相手のミスで満塁になり、最後はセンターオーバーヒットでサヨナラ勝ちをすることができました。とても感動した試合でした。甲子園では、ベスト 8 に終わってしまいました。今年の全国の高校で 4 つの全国大会に出場したのは、仙台育英だけでした。

■物事に取り組む姿勢を 変えれば可能性も広がります

このように、練習に取り組む姿勢や考え方を考えるだけで人は大きく変わることができます。成績が良ければ、有名な大学から声が掛かったりして、進路の幅が広がります。部活の成績も上げようとするれば、チーム自体が上がり結果もついてきます。しかし、部活だけではなく、勉強もしっかりやって良い成績を残さなければいけません。勉強が苦手や嫌いという人が多いですが、勉強から部活に繋がることがあると思います。なので、部活と勉強をどっちもしっかりやり、自分の行きたい大学に行けるようにしてください。

立正大学 地球環境科学部 地理学科に
スポーツ推薦で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
中野中出身

チャンスが来た時に確実に掴めるよう 常に努力を続け準備をしておきましょう

■スポーツ推薦は大学側が 必要としてくれている証です

私は高校に入ると同時に大学もスポーツ推薦で入学することを決めていました。

なぜスポーツ推薦で入学したいと思ったのか、それはスポーツ推薦をいただけたということは大学側が自分を必要としてくれているので目をかけていただけたと思ったからです。スポーツ推薦で入学させていただく為に私は大学のスカウトの目に留まる様な選手になることや、全国大会などの大きな大会で活躍することが必要だと考えました。大きな大会で活躍してスカウトの目に留まる為には、自分に訪れたチャンスを確実に掴む努力や準備が大切です。

私はサッカー部でFWをやっています。FWは得点が求められます。大きな大会になればなるほど、勝ち進めば進むほど、得点のチャンスは少なくなります。そのチャンスを掴む為に私がした準備は、練習から本番を想定して1つひとつのシュートにこだわったこと。練習や試合で見つけた自分の課題を自主練習で克服すること。シュートを10本打ったら10本決められる様に、練習を何度も繰り返し練習しました。これが私が試合でチャンスを掴む為にしていた準備です。

■誰かの為にという思いが あれば努力は継続できます

スポーツだけではなく人生でも何にでも同じことは言えると思います。チャンスはいつ自分にくるかわかりません。その一度だけのチャンスが最後かもしれません。たった1回のチャンスでもそれを掴み取ることで人生が大きく変わるかもしれません。しかし、努力せずに準備せずにそのチャンスを掴むことは決してできません。実際私も全国高校サッカー選手権という大会でハットトリックを達成することができました。私はこれを偶然と思っていません。それは誰よりもシュートの練習をして、チャンスが来た時にそれを掴む準備をしていたからです。

努力を続けることは簡単なことではありません。しかし、誰かの為に頑張るとして強い思いがあれば努力を続けることはできると思います。自分の為、家族の為、応援してくれている人の為、なんの為でもよいです。誰かの為にがんばると辛い時でもがんばれます。

大学受験は本当にすぐ来ます。人に頼る事も大切ですが、まずは自分で行きたい大学について調べてその大学に入学する為には何が必要なのか、どのような準備が必要なのかを早めに考え早めに行動してください。

1人でも多くの後輩が志望大学に入学できることを願っています。

常磐大学 人間科学部 現代社会学科に
スポーツ推薦で合格

平成 30 年 3 月 フレックスコース卒
七ヶ浜中出身

意志がなければ何も始まらないので 将来についてしっかり考えましょう

■部活動は取り組む姿勢と

くじけない気持ちが大切です

私は、関東地方の大学にスポーツ推薦入試で合格することができました。後輩の皆さんの中にも、大学進学を希望する人はたくさんいると思います。その人達の為に、私から 3 つのアドバイスをしたいと思います。

1 つ目は、部活動への取り組みについてです。私は硬式野球部に所属していて、助監督という立場で日々過ごしていました。もちろん、悩んだり、不安になったりすることもありましたが、自分が何の為にこの立場にいるのかを思い出しながらやっていくことで、頑張ることができました。今、自分は何をするのが大事です。今一生懸命にやっているだけで、結果が出ないかもしれませんが、将来の為に繋がっています。結果でなく、取り組む姿勢とくじけない気持ちが大切だと思います。

■多くの大学情報を得ることが

できるのが本校の長所です

2 つ目は、進学先を選ぶにあたって必要なことです。まずは、将来自分が何の仕事に就くかを明確にすることです。具体的に何をするかが決まっていればいいですが、曖昧な人はある程度方向は決めておかないと、大学生活は充実しないと思います。ある程度の意志があるのとないのでは大学生活はかなり違ってくると思います。

3 つ目は、より多くの情報を集めることだと思います。仙台育英は、数多くの大学へ進学していて、先輩や先生からたくさんの情報を得ることができるのは良い所の一つだと思います。また、現在のインターネットの普及が著しく、興味を持ったことはすぐ調べることができます。たくさんの大学を知り、そこから自分に合った大学を選ぶのも方法の一つです。

以上 3 つを挙げましたが、一番大事なのは自分の意志です。これがなければ、何も始まりません。自分の将来をよく考え、後悔のないように頑張ってください。

新潟医療福祉大学 健康科学部 健康スポーツ学科に
スポーツ推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
仙台 中田中出身

勉強やスポーツなど何か 1 つの道を 極めることが受験にも繋がります

■部活動中心の毎日で授業に 遅れないよう努力しました

なぜ、仙台育英の特別進学コースに入学したのかというと、高校受験で第一志望にしていた高校に不合格ですべり止め入学をしたことと、部活が宮城野校舎であったことがおもな理由です。しかし入ったからにここで頑張ろうと決めました。

まず具体的に何をしたかということ、特別進学コースでも私は中学校から部活中心で高校でもその予定だったので、勉強に遅れないようにしました。そのために自分の得意学科では負けないように、苦手教科では遅れないように授業で出来るだけ理解していくようにしました。そして、放課後はずっと部活のことに集中していました。部活で「やるからには日本一」と自分の目標を掲げていて、シーズンには試合や遠征の公欠で半分近く休んだ月もあったため遅れなかったといわれると危ういのですがなんとか教科書を使ってやっていました。

■部活動で全国 2 位になり 進学先が決まりました

次に、部活で具体的にどのようにしていたのかということ、私は陸上部で投てき種目をしていたので自分より投げる人の投げや練習方法を見て、どのようにしたら重い物を遠くに投げられるかを考え続けていました。そしてその時々に合わせて練習をやっていました。それがやり続けられれば自然に結果はついてくると思います。結果私は日本一にこそなれなかったものの全国 2 位までなることができました。そういった結果から 4 校の大学からお話をいただき、その中に自分の将来の夢が叶えられる大学があり、そこに決めました。受験方法は集団面接のみで、抜かりなく対策をして受かりました。

私にとって勉強は最低限の教養であり、必要なものであると思っています。しかし、自分が陸上が好きで極めようと思ったように勉強も好きな人が極めれば良いと思うし、自分の将来に必要な人が極めれば良いと思います。だからといって疎かにしていいわけではありませんが他の道を極めると決めて頑張ればそれを使った受験もできると思います。なので、これから受験する人は何か、一つ自分の極めたい武器を作って挑んでもらいたいと思います。この体験記が少しでも後輩たちの役に立つことができれば幸いです。

神戸松蔭女子学院大学 文学部 英語学科グローバルコミュニケーション専修に
スポーツ推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
東仙台中出身

部活動で多くの人の支えを実感し 感謝の大切さに気づくことができました

■部活動の遠征先でも自分で

工夫して勉強しました

私はスポーツ推薦で受験をしました。神戸松蔭女子学院大学のなぎなた部の先輩方と練習をさせていただいたことが何度かあり、その強さに憧れ徐々に入学したい気持ちが強くなりました。さらに、そのときは3年生最後の試合となるインターハイを控えていて、なぎなたのことについて、一日中考えていることも多かったです。そのこともあってさらになぎなたが好きになり、学科も英語学科があったため、受験することを決めました。

部活動では人よりも+αが必要でした。メンバーの誰よりも声を出すこと、朝練に毎日来ることや、人の試合を見ること、自主練習の量などです。部活動では常に学ぶことだらけで、慣れるのにはとても時間がかかりました。休日や長期休暇期間は遠征や大会が入ることが多いので、よりなぎなたに費やす時間が増えました。その中でも勉強はしなければいけないので、荷物が増えすぎないように、ノートに要点をまとめたり、携帯で写真をとって勉強用のフォルダーを作ったり、CDの音声を録音したりしていました。

■周囲の支えや充実した練習が

面接本番で力になりました

私はなぎなた部に入って気持ちの面で大きな変化がありました。メンタル面が成長したおかげで、問題から逃げず、向き合うことができるようになりました。けがをしながら練習に参加できないときや、全く試合に勝てなかったときも、解決できるよう向き合っ、練習を全力でやってきました。ですが、それを一人で解決したわけではなく、メンバーや家族など、たくさんの人が支えてくれていたからです。私は部活に入って、たくさんの人に支えられていることを実感し、また、感謝の気持ちの大切さも気づくことができました。これは部活に入ったからこそ学べたことで、仙台育英に入学できたからこそだと思っています。高校では勉強はもちろんですが、気持ちの面で、大きく成長できる場所だと思っています。高校生活ではたくさんのチャンスがあって、自分ももっとできたこともあったはずなのに終わってしまったので、高校生のうちにできることがあれば全てチャレンジするつもりで、高校生活を送れたらいいと思いました。

受験をするとき、とても緊張しました。ですが、先生方に何度も練習をしていただいたため、落ち着いていることはできました。ですが、受験直前の待機室で、面接の受け答えを思い出している最中に、極度に緊張していました。そんな時に、みんながかけてくれた言葉や、練習したことを思い出すと、自信が湧いてきて、緊張をほぐすことができました。いつでも支えてもらっていることを忘れてはいけないと実感しました。自分にとっての高校生活は辛いときもあったけれど、たくさんのがが学べて、とても充実していました。大学ではさらにたくさんのがを吸収し、社会に貢献できるような大人になりたいです。

2018 栄光への軌跡

2018年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



AO 入試

東北大学、山口大学、弘前大学、早稲田大学、岩手医科大学、
東北芸術工科大学、東北学院大学、東北福祉大学、
東北工業大学、尚絅学院大学、仙台大学…

東北大学 工学部 機械知能・航空工学科に

AO 入試で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒

岩沼西中出身

一日が過ぎるのを早いと感じた瞬間が 受験勉強を始めるタイミングです

■課外活動に積極的に参加し

多面的に学力を鍛えました

AO 入試を受験するにあたって日頃から注力したことは大きく分けると「授業」と「課外活動」の 2 つです。

まず、授業についてです。私が受験した方式では、評定などの調査書が配点の約 3 分の 1 を占めるために、定期考査とそれにつながる日々の授業は重要でした。1 年生のときから、評定で志望大学や出願方式が制限されるのは無念だと考えていたため、定期考査を意識して授業を受けていました。その甲斐あって、3 年生になって出願方式を選ぶ際にも、余裕をもって決定できました。

次に、課外活動についてです。私は、部活動として化学部と数学同好会に所属していたほかに、課外講習も受講していました。部活動では化学部の研究発表会や数学同好会での問題を教え合う体験を通して相手に物事を伝える力を養いました。課外講習では、授業形式や問題演習に特化したものなどさまざまなものがあり、多面的に学力を鍛えることができました。その他にも、科学の実験を行うサイエンス・コ・ラボといった知見を広げる企画にも数多く参加しました。

学力や相手に意見を伝える力は、入試の学力試験と面接試験で十分生かすことが出来たと考えています。さらに、サイエンス・コ・ラボについての考えやモチベーションを形成する助けになったと感じています。

■一日が短く感じた瞬間から

気持ちを切り替えました

最後に、私自身の経験から言いたいことがあります。私は、受験を本格的に見据えて「受験勉強」を始めるタイミングがなかなかつかめずにいました。そのとき、あることに気付きました。1 コマの授業は長く感じているのに、帰りのホームルームが終わった時には 1 日が短く感じていたのです。そのことから私は、一日を無駄にできないと気持ちを切り替えて勉強に臨むようになりました。この体験から私は、時間の感じ方が変わるのは意識を切り替えるタイミングの 1 つだと思うようになりました。1 つの意見として頭の片隅に留めてもらえると幸いです。

山口大学 国際総合科学部 国際総合科学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
北九州 守恒中出身

今できることに積極的にチャレンジし 受験に向けて自信をつけましょう！

■留学体験をアピールするため

AO 入試で受験しました

私は AO 入試で大学を受験しました。私が志望した大学は外国語や国際交流に力を入れている大学であったので入試の際にも自分の留学体験を活かすことができると考え AO 入試で受験しようと考えました。

私は台湾に 1 年間留学に行ったので、留学中はなるべく現地の人と関わったり、チャレンジできることはチャレンジするようにしました。中国語検定などの試験も積極的に受験することで自分の自信にもなり、大学受験の際のアピールポイントにもなったと感じています。また、留学先で他の国からの留学生との交流の中でも、様々な自分とちがう習慣、価値観、文化などに触れることができ、それらを自分の中で受け入れることで得るものも多くありました。

■本番では先生方のお陰で

全力を出すことができました

私は文章を書くのが苦手で AO 入試の書類審査にはあまり自信がありませんでしたが、仙台育英の先生方が何度も自己 PR や志願理由書をていねいに添削してくださったり、より良い文章にするためにはどうしたら良いかを考えてくださったお陰で書類審査を通ることができました。自己 PR においては、今までしてきたことの中で自信のあること、努力したこと、そこから得られたことを筋道を立てて書きました。私は留学中の体験が私の高校生活の中で一番刺激的で大きな経験だったのでそれについて書くことができました。

2 次試験は、5 人でのグループ面接、模擬講座を聴いての日本語と英語でのレポート、10 人でのグループディスカッションでした。学校で先生に面接練習を何度もしていただいたことが当日の自信につながり、自分の全力を出すことができ、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

これから受験される後輩のみなさん！ 今できることに全力で取り組みチャレンジできることに積極的にチャレンジし、自信をつけて大学受験がんばってください。応援しています。

弘前大学 人文社会科学部 文化創生課程文化資源学コースに
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
高崎中出身

大学受験に成功するチャンスを 私に与えてくれたのは仙台育英でした

■両親には早めに

進路の相談をしましょう

私がこの大学を選んだきっかけは、まず第一に両親の実家が青森県にあったということでした。正直、高校 1、2 年の時はそこまで真剣に進路のことを考えずに過ごしていたので、行きたい大学を決めたのもかなり後になってからでした。実際に弘前大学について調べ始めたのは高校 3 年になってからでしたが、そこから受験をするまでものすごく大変でした。親には、1 人暮らしをすることは反対されていたので悩んでいた所に、両親の実家があって、しかも私の学びたい民俗学が学べ、学芸員の資格が取れるこの大学を見つけました。しかし、自分が思っていたよりも親に納得してもらうのにとっても時間がかかりました。大学に行くのは自分ですが、大学に行くのをサポートしてくれるのは親や保護者の人や先生方なので、もう少し早く進路について親と話し合うべきだったと今では思います。これから進路について考える皆さんには、このことを少しでも頭に入れておいて欲しいと思います。

■先生方や友人のおかげで

合格できたと実感しています

私は最初から AO 入試を受けようと思っていた訳ではなく、むしろ一般入試で行くことしか考えていませんでした。そんな時、友達に AO 入試を勧められました。私は元々、公立高校を志望しており、前期後期のどちらも落ちて仙台育英に入ったのですが、どうせ入ったのならやりたいことはやろうという意気込みで、生徒会、インターアクト部、軽音部という 3 つの部活に所属したり、実行委員やクラスの係の仕事はかなり積極的にやってきました。そんな私を知っていた友達が、今まで私がやってきたことを強みにできる AO 入試というものを教えてくれたのですが、生憎私は面接がとても苦手でした。入試の 3 週間前ぐらいから色々な先生方にお願ひし、面接練習をしてもらいましたが、毎回同じことを注意され、一度もうまくいったことはありませんでした。しかし、そんな私を見限らず、入試直前までサポートしてくれたのも、やはり先生方でした。勉強もできるほうではなく、人付き合いも苦手な私が国公立大学を志望することは、とても不安がありました。しかし、友達はもちろん、先生方はそんな私を応援してくれました。中には、面接や小論文のことに詳しい先生を紹介してくださった先生もいました。私がこの大学に合格できたのは本当に先生方や友達、周りの人達の助けがあったからこそだと強く思います。

今までの自分をふり帰ってみると、私は様々なチャンスに恵まれていたと思います。私の場合は受験に失敗して仙台育英に入りましたが、大学受験に成功するチャンスをくれたのもまた仙台育英でした。これから受験に立ち向かおうとしている人もそうでない人も、自分に与えられたチャンスを大いに活用して欲しいと思います。

早稲田大学 社会科学部に
自己推薦で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
西東京 保谷中出身

高校 3 年間で人生の分岐点と捉え 「逆転の仙台育英」を体現しましょう

■オール 5 を取れるチャンスは 誰にでもあります

フレックスコースの後輩の皆さん、皆さんには特別に 1 つ良い事をお教えします。

それは 1 つの言葉です。そして、この言葉を知っていると中学時代には思いもしなかった良いことが 3 年後に起きているかもしれません。

その言葉は——仙台育英のスローガン「逆転の仙台育英」です。

「なんだスローガンかよ」と思ったあなた、あなたの運は逃げていきます。「なんだろう」と思ったあなた、幸運が訪れることでしょう。では、なぜこのようなことが言えるのかこれから説明します。

私が所属したフレックスコース、ここでは夢にまで見た評定「オール 5」を取ることができます。一部ではありません。全員にそのチャンスはあります。「そんなこと言っても僕、私には無理だ」その考えも変えた方が良さそうです。

■基礎の基礎から学び直して 着実にレベルアップできます

皆さんはこれまでに一度でも「小学校 1 年生から勉強をやり直せたらな」なんて思ったこと、友達と話し合ったことはありませんか？ それがここ、仙台育英はできるのです。例えば数学の最初の問題は、足し算やかけ算など小学校の頃に学習した懐かしい問題です。さらに、その他の教科も数学のように基礎からコツコツと学ぶことができます。しかし、ここが運命の分かれ道だと思ってください。ここで出てくる道は 2 つあります。「なんだ簡単じゃないか、楽勝」と「もう一度小学生からやり直せんだ。しっかり基礎を固めなきゃ」この 2 つです。どちらを選べば 3 年後、良いことが起きると思いますか？ 言わずともあなたは答えを知っているはずです。なぜなら、ここで正解の道を選んだ瞬間からあなたは生まれ変わり、自分に強くなります。お父さんやお母さんに自慢することもできるようになります。そして 3 年後に大変な親孝行をすることだってできるようになります。ですが、いきなり 3 年後を見てはいけません。ゲームで云うとレベルが「2」になっただけなのですから、授業レベルはもちろんずっと小学生レベルではなく段々と上がっていきます。それにつれて自分がどれだけレベルアップできるかが鍵になります。しかし、つまずいてしまうこともあるでしょう。そんな時は迷わず先生に聞きましょう。つまずき始めならまだ取り返せます。

最後に、高校 3 年間で周りの誘惑や自分の弱さに負けて脱落してしまう人は多くいます。最初は誰でもやる気满满です。そして、途中で投げ出してしまう人がほとんどです。そんなマジョリティーになってしまうほど簡単な人生を歩むのはどうでしょうか。「逆転の仙台育英」体現しましょう。ここが人生の分岐点です。

日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科に
自己推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
気仙沼中出身

先生方や友人とのコミュニケーションで 物事に対する考え方が変わりました

■進路決定前から部活動や 定期考査に頑張りました

私は、高校進学を考えるにあたって将来、就きたい職業がみつからず、進路の視野を広げたいという思いから地元を離れて仙台育英に進学することに決めました。しかし、高校に進学してもやりたいことがみつからず、学校で進路について考える時間はとても苦しいものでした。そのような高校生活のなかで受験のために取り組んでいたことは、部活動と考査です。私は進路が決まっていなかったため、受験期に入試の手段で困らないように評定に波がないように努めたり、部活動に励んだりして高校生活を過ごしていました。しかし、3年生の夏になっても志望大学が定まりませんでした。そこで私は自分が将来、何をしたいのかを明確にするために、自分の長所・短所、好きなこと、大学でやりたいこと、今までやってきたことなどを付箋に書き出して整理しました。小学校6年生から行っている高齢者施設の慰問活動の経験から学生と高齢者之间で働きたいと思い、教員免許と社会福祉士の取得が可能で、女性のリーダー育成に力を入れている日本女子大学の社会福祉学科を志望することにしました。

■自分と向き合える 3 年間で 大切に過ごしましょう

私が受験した学科は、AO 入試が初めて実施される学科で過去のデータが一つもなく、私には慰問活動を通して得た独居高齢者についての知識しかなかったため、試験までの期間は福祉についての知識やデータをノートにまとめて、考察と思ったこと、感じたことを自分の言葉で話せるようにしました。また、私が受験した入試がある秋は、指定校推薦の入試が多く実施され、先生との面接練習日に限りがあったため、実際に面接練習を終えた友人や自分と同じように面接試験を控えている友人たちと練習を重ね、試験に備えました。

私は普段から解けない問題や困ったことがある場合は、友人と先生方を頼るようにしています。このことは受験勉強に限らず、授業や部活動に関してもいえることで、人に頼ったり、話したりすることで自分の弱点が明確になり、物事の見方が変わると思っているからです。加えて、教え合いの学習を2年生から行ったことで、他クラスの友人が増えたり、得意分野を見つけたりすることができました。

是非、後輩の皆さんには、自分と向き合う時間、そして友人と切磋琢磨できる高校生活を大切にして受験を乗り越えてほしいです。

帝京大学 法学部 法律学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
秋田 御野場中出身

多くの先生方に面接や小論文対策を ご指導いただき合格できました

■ 3 年生になってから 進路を決めました

私は、3 年生になるまでは、大学のことを全く考えていませんでした。3 年生になり危機感を感じ、あせり始めました。3 年生になり、自分のはっきり行きたい進路を決め、受験勉強を始めました。いろいろな先生方に、面接のご指導と、小論文練習を添削していただきました。毎日頑張った結果、大学に合格することができました。

帝京大学 法学部 法律学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
新潟 安田中出身

AO 入試は普段の成績が大事なので 頑張って良い成績を残しましょう

■公務員試験の合格実績が
高い大学を選びました

帝京大学法学部法律学科を志望した理由は公務員の合格実績が全国でもトップクラスだということに魅力を感じたからです。

AO 入試では 400 字の小論文と、1 対 1 の面接が試験内容でした。ランダムで出題されるのでたくさん小論文を練習をした方がいいと思います。ふだんからの成績表が大事になってくるので、ふだんから生活態度をしっかりしてよい成績を残しましょう。

国土舘大学 体育学部 武道学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
福島 伊達中出身

AO 入試は勉強と部活動の両立による 成長をアピールできる受験方法です

■剣道の稽古に励んだ 3 年間で 自信になり成長できました

小学 1 年生から続けている剣道を極める事の出来る大学という事で志望しました。また、小さい頃からの夢である警察官になるという事を達成すべく、公務員の就職率も高かったというのも、理由の一つです。まず、入試へ向けての準備が必要です。私は剣道に 3 年間打ち込んで来ました。部活が終わってからの素振り、走り込み、人よりも練習しているという自信が力となり、成長することが出来たと感じています。そして、日頃の授業を通しての定期テストを疎かにしてはいけません。テストに向けての勉強にも力を入れました。そのため、テストで点を取る事も出来ました。そのような事を残して来た私に一番合った入試方法という事で AO 入試を選ぶに至りました。受験に向けては、2 カ月前からの確実な準備をしていました。授業が終わってからも学校に残り、同じ仲間達と面接練習や小論文の練習、しっかりと自信をつけて、受験に臨むための用意を確実にしていく事が合格につながって行ったのだと思います。大学に行ったら目標を達成するべくがんばって行きたいと思います。

拓殖大学 外国語学部 英米語学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
福島原町第一中出身

先輩方が残してくれた大学の情報を活用し 悔いを残さないよう努力しましょう

■大学では長期留学を実現し 理想の職業を見つけたいです

私が大学を目指した理由は、将来の夢が正確に決まっていなかったからです。英語を活用して仕事をしたいとは決まっていたのですが、具体的に職種まで決まっていなかったんです。なぜなら、自分が知らない職業がまだ多くあると考えていたからです。高校生活で達成できなかった長期留学をし、自分に適した職業を見つけるために大学を志望しました。

高校 1 年生の頃から進路を決めてはいなかったのですが、1 回も学校を休んではいません。これは AO 入試合格に非常に関係してきます。実際に私は面接で「あなたの出席状況を教えてください」と質問されました。ここで好印象を与えることができ、大学合格に結びついたと感じています。加えて英検 2 級も取得するために努力してきました。2 度行った大学のオープンキャンパスで「英検 2 級は持ってないと合格は厳しい」と大学の先生に言われたので必死に勉強しました。面接でも高校生活で頑張ったことは、高確率で聞かれる質問だと思うので、これからの高校生活を改めて考えていくことも大切になります。

■本番の面接では自分から 自己 PR を切り出しました

私が一番苦労したのは面接練習です。テスト期間も重なっていたため、1 週間しか練習することができませんでした。1 週間では絶対足りません。面接練習には十分に時間を費やしてください。放課後毎日練習し、5 人の先生にお願いしました。さまざまな角度からアドバイスをもらえるので、担任の先生だけでなく、多くの先生と練習することがいいと思います。面接練習と同時に自己 PR の練習をすることもお勧めします。そこで私はスペイン語で自己紹介をし、英語で日本のいいところを話しました。自己 PR の時間は設けられていなかったのですが、質問タイムがあったので「自己 PR をしてもいいですか」と自分で切り出し、話しました。今までの練習してきたことを全て発揮することができたので、後悔せずに済みました。

当日は、自分のやってきたことを信じて挑むしかありません。積み重ねた努力が緊張するかしらないか左右すると私は思います。先輩方が残していった大学の情報を活用して、悔いが残らないように受験できるように祈っています。

東京造形大学 造形学部 デザイン学科グラフィックデザイン専攻領域に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月技能開発コース卒
万石浦中出身

第一志望に無事合格できたのは 先生方の親身なサポートのおかげです

■人の心を動かす作品を 描けるようになりたいです

幼い頃から絵を描くことが好きで、人の心を動かすような作品を生み出せるようになりたいと思ったことから、美術大学に進学することを決意しました。

私は大学選びを 1 年生の時から始めました。東北から関東までの美術大学や、芸術系の学科がある大学の資料を取り寄せ、1 校 1 校目を通しました。そして 2 年生からは、資料を見て気になった大学のオープンキャンパスに参加し、美術予備校にも通い始めました。その時点で第一志望にしている、合格することもできた東京造形大学の教授に、高校のうちにしておいた方がよいことは何か質問した際に「デッサンをとにかくやること」という返答をいただいたからです。美術大学の受験では実技試験を行うのがほとんどですし、個人に合わせた指導をしてもらえるので、美術予備校には通うことをお勧めします。

■部長を経験して得たことを 受験で存分に発揮しました

学校では、2 年生の夏から引退まで部の部長を務めました。元々は人の前で話したり、皆の意見をまとめたりするようなことは得意な方ではなかったのですが、他の部員のサポートもあり、最後までやり遂げることができました。部長を経験して得たことを自身のアピールポイントとして強みにできましたし、受験の 2 次試験で行ったプレゼンテーションにて人前で話せるようになった成果を発揮させることができました。何事にも是非積極的に挑戦してみてください。

1 年生の時、担任の先生に美術の道に進みたいと伝えると、先生は前向きに私の目標を応援してくださいました。2 年生の時の担任の先生も親身になって進路を考えてくださり、3 年生の担任の先生は、私が志望する大学の情報を集めたり、時間を作って書類の添削や面接練習を行ってくださいました。また、他の先生方にも受験前には対策をしていただき、大変感謝しています。3 年間を通しての先生方のサポートが合格につながりました。

桐蔭横浜大学 法学部 法律学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月 フレックスコース卒
福島 磐崎中出身

自分がすべきことを考える力を 今のうちに身に付けることが大事です

■野球部の方針が仙台育英と 近い点に共感しました

私が桐蔭横浜大学を志望した理由は 2 つあります。

まず 1 つ目は志望した大学の学部が法学部にあるということです。私は将来、警察官になりたいと強く考えていてそのためには法について学ばなければなりません。それに桐蔭横浜大学の法学部の中に「消防官・警察官コース」というものがあり公務員を目指すならこの大学に進学し勉強したいと思いました。公務員を多く輩出している実績もあり、大学へのアクセスも良いことから多くの学生も居ることから充実したキャンパスライフも楽しめると思います。学部も豊富にある上、学食も美味しい食事もあるので勉強に集中できる環境なのでとても良いと思います。

そして 2 つ目は小学生の頃から続けていた硬式野球を続けて行くにあたって、桐蔭横浜大学の硬式野球部はまだ出来てから十数年とまだ若いチームですが、明治神宮野球大会という全国大会で各地区から勝ち上がってきた強豪大学を倒し、優勝したことがある大学です。私が所属していた仙台育英の硬式野球部は自主性を重んじ、自分自身がやるべきことを考えて、力を伸ばすという野球部であって桐蔭横浜大学の野球部も似た感じで自主性を重んじ、選手自らが練習メニューを考えて練習していくというスタイルで、大学に入っても迷いがなく練習できると思います。自由だからこそ、いくらでも休めます。しかし、伸びたい意欲があればあるほど伸びる所でもあります。これは野球だけでなく、勉強にも通じることがあると思います。

■高校卒業後の人生をさらに 良いものにしていきたいです

高校の時より大体の大学では自由が増えると思います。つまり、上がるも落ちるも全て自分次第ということです。大学に入ってから遊び過ぎて、単位が取りきれずに 4 年で卒業することが出来ずにもう 1 年通うということがないように、高校時代から自由になっても今、何をすべきなのかというのを考える力というのを高校生のうちに身に付けるのがすごく大事であると思います。仙台育英を卒業してもずっと仙台育英という名前を背負って生きていきます。学校のスローガンでもある、逆転の仙台育英となるように卒業後の人生をより良いものにしていきたいと思っています。

城西国際大学 経営情報学部 総合経営学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月 フレックスコース卒
玉浦中出身

毎日自分と向き合い努力を重ねれば 必ず良い結果が待っています！

■必ず上達すると信じて 毎日必死で練習しました

私は、仙台育英で 3 年間、硬式野球部に所属していました。高校に入学した頃から高校を卒業後野球を続けたい、続けられなかったとしても何らかの形で野球に携わりたいと思っていました。高校に入学して、硬式野球部に入部し、そこで私の「高校生活」が始まりました。高校から親元を離れて寮生活を行い、生活環境が大きく変わりました。周りにいる同級生は、私に比べて能力が高い人がほとんどで入学当初は同級生との力の差に圧倒されました。この差をどうやって埋めて追い抜かせばいいのか、答えは一つ、そう「練習」のみです。自由な時間、空いている時間をできるだけ、練習に費やしました。一日で少ない練習量だとしても、毎日続けることで、必ず上達できると信じてやっていました。

ときには、嫌になって投げ出したいと何度も心の底から思いました。しかし、私の中で、ここで逃げたらこの先の人生できっと後悔すると思い、苦しいことをなんとか乗り越えることができ、3 年の夏が終わりました。現役生活が終わり、進路を決めなければならない時期です。今まで、ずっと宮城で野球をやってきて、関東という高いレベルで自分の力を試したいと思う気持ちが強くなり、城西国際大学を志望しました。城西国際大学で、硬式野球部に所属し、4 年間、素晴らしい環境で野球ができることを幸せに思っています。

■大学入学後を見据え引退後も 自主練習を怠りませんでした

大学でいいスタートを切るためには、夏の大会が終わり、引退してからの生活が非常に大事になってくると思います。全体練習に混ざらないで、自分で自主的に考えて練習しなければなりません。そこで練習を怠ってしまうと、大学でいいスタートを切ることができません。逆に引退してからの期間の方が大事だと思います。

毎日自分と向き合い、日々努力すれば、必ず良いことが待っています。それを信じて未来へ突き進んでほしいと思います。

金沢工業大学 工学部 機械工学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
五橋中出身

AO 入試の面接は自分の熱意を大学に 直接伝えることができる貴重な機会です

■模擬講義を受け自分に 合う大学だと思いました

幼い頃から自動車に興味があり、将来は自動車関係の職に就きたいと考えていました。その夢を叶えるため全国数多くある機械工学を学ぶことが出来る大学の中で金沢工業大学を選びました。

私が金沢工業大学に入ろうと思う決め手になったのはオープンキャンパスです。実際に大学で模擬講義を受け、学生や教授に質問して話を聞くことで自分がこの大学に合っているかどうかがよくわかるのでオープンキャンパスは大学選びの中で一番重要だと思います。

私は金沢工業大学に入りたいという考えが 2 年生の前半で固まっていたので他大学のオープンキャンパスや受験に関する情報を集めたりなど色々なことに時間を使えました。志望大学を早い段階で決めることで自分がやるべきことがはっきりするので大学を決めるのは早ければ早いほど良いと思います。

■好きなことを学びたい一心で 進学することを決めました

AO 入試の面接ではほぼ確実に質問されることが 3 つあります。自己 PR、AO 入試で受験した理由、志望動機です。AO 入試で受験した理由を答えるだけですが、他の 2 つは自分が答えた後に相手から答えに合わせてまた質問されるので相手が返してくる質問も予想しておきましょう。私のように機械工学科など他の大学でも学ぶことができる学部・学科を志望する方は他の大学ではなくこの大学に入りたいという理由をしっかりとっておく必要があります。AO 入試は大学に直接自分の想いを伝えることができる数少ない機会です。ただ相手の質問を返すだけでなく、少しでも自分がこの大学に入りたいということが伝わるような志望理由書、面接を作りましょう。

私はただ自分が好きなことを深く学びたいという想いで進学しました。どんな理由でも自分が一番行きたい大学へ進学しましょう。

沖縄大学 人文学部 福祉文化学科社会福祉専攻に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月通信制課程卒
沖縄東中出身

悩みを相談すれば支えてくれる人が 必ずいることを受験で学びました

■手話スピーチコンテストへの 挑戦で福祉の道を決めました

中学生の頃、私はあまり学校へ行くことが出来ませんでした。それもあって高校進学では自分のペースで学習できる通信制課程を選択し、充実した3年間を過ごすことができました。その中でも最も大きな出来事の一つに「社会福祉士」への一歩である大学進学が決まったことが挙げられます。

私の家族は福祉の方にお世話になっていたのでその必要性を強く感じながら育ち、私も自然と困ってる人を助ける仕事につきたいと考えるようになりました。志望学科が決まったのは高校1年生の1月。受験方法は、進学の目的や将来の目標をより伝える事ができる AO 入試に決め、私の受験対策が始まりました。自分をアピールするために第一に考えたのが、幼い頃から両親とのコミュニケーションの手段であった手話を生かすことです。父の勧めもあって「高校生による全国手話スピーチコンテスト」に挑戦することにしました。人前に出るのが大の苦手な私は、人前に慣れる方法として、「新入生歓迎の挨拶」を自分から申し出ました。緊張の中無事役目を果たすことができ、一歩進んだことに少し自信ができました。

次は手話スピーチコンテストです。約3ヶ月半の取り組みは厳しく、諦めそうになる事が何度もありましたが、先生方や家族の支えがあって最後まで頑張ることができました。第1次、第2次審査を経て10名に選出され出場した全国大会では、500名の聴衆の前でスピーチするという貴重な経験が出来、大きな達成感を得ることが出来ました。その後、手話検定3級取得、ボランティア活動や福祉講演会に参加するなど活動を広げていき、福祉について学びたいという思いが更に強くなっていきました。

■志望理由は自分らしさを 出すように工夫しました

実績づくりと並行して、2年生の夏からオープンキャンパスや進路説明会にも積極的に参加し、3年の5月に志望大学が決定すると本格的な取り組み開始です。入試と、期末考査が重なり忙しくなるので、アルバイトの時間を減らし学習時間が確保出来るように8月までの計画を立てました。入試の内容は、30分の面接と作文です。AO入試では志望理由の明確さが大きく問われます。生活の中で経験し、考えたことや学ぶ目標など自分らしい内容になるように工夫しました。面接対策は自己アピールや質問を予想し、多くの先生方に模擬面接をやっていただきアドバイスを受けながら改善していきました。最初は思っていることをうまく言えなかったが、質問に対する自分の考えを書いて整理し、面接の練習を重ねるにつれ、自分の思いを十分伝える事ができるようになっていきました。また、面接には、新聞記事の音読もあったので新聞を読むように心がけ、それによって社会面にも目が向けられたのは良かったと思います。

後輩の皆さん、目標に向かって一歩ずつ進んでください。一つ一つのことに丁寧に取り組み、積み重ねていってください。今、目標が決まっていなくて困っている人も必ずあなたに合ったものがみつかります。じっくり時間を掛けて探してください。それから、迷った時や悩んだ時は誰かに相談するといいいでしょう。必ず支えてくれる人がいます。受験を通して、私はそれを学びました。後輩の皆さん最後まで諦めずに頑張ってください。

岩手医科大学 歯学部 歯学科に
特別推薦で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
五橋中出身

様々な価値観を持つ友人達と出会い 自分が進むべき道を発見できました

■ 友達の話を聞き自分の将来を 考え直そうと思いました

私は高校 1 年の冬、仙台育英に転入してきました。自分を見失って、それでも勉強をできる場所を提供してくれたのが、この学校でした。最初は自分を受け入れてくれた学校に恩返しができるように勉強することが、毎日学校に通う目的でした。しかし、2 年の夏、台湾から留学に行っていた先輩が帰ってきました。同じ部活で同じクラスだったということもあって私はたくさん話す機会を得ました。始めはただ自分から海外へ飛び出す勇気をもっていることにすごさと尊敬の念だけを抱いていましたが、次第に様々な価値観や生き方、考え方を共有し、『人それぞれの道』が本当にたくさんあることを知りました。

また、冬には、1 年の頃には看護師になろうと考えていたけれど、今までの経験から、中学校の教師を目指そうと決意した人とも友達になりました。その友達と話をしているうちに自分の気持ちはどこにあるのか、何を目標としてこれから先、生きていくのか、自分の気持ちと向き合って正直になるべきであると気付かされました。小学校 3 年生の 2 分の 1 成人式で母親に勧められ、大切な人の死を経験して一度も疑うことなく自分の夢は医者であると決めてきました。ですがこの出会いをきっかけにもう一度自分の将来を考え直そうと思うことができました。そして今回自分の憧れる父や母の姿を追いかける道へ進む一歩を踏み出すことができました。

■ 仙台育英で過ごした時間は 一生の財産になりました

仙台育英には、たくさんの生徒がいてそれぞれの経験の積み重ねから、さまざまな価値観をもって生活しています。また、先輩のように留学をする制度が整っていたりと、学校生活でもさまざまな経験ができる学校でもあります。色々な人の話を聞いて人の考えの幅広さ、奥深さを学び、自分の道を発見することができた私にとって、この学校で過ごした 2 年半は、一生の財産となると思います。転入という決断は間違いでなかったです。自分を成長させてくれたこの学校には本当に感謝しています。

後輩のみなさん、是非受験勉強を始めると同時に自分の将来ともう一度よく向き合って下さい。

富士大学 経済学部 経営法学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
南吉成中出身

最後まで決して諦めずやり遂げることの 大切さを高校 3 年間で学びました

■悩み抜き答えを導いた経験が 大きな自信になりました

私が富士大学経済学部経営法学科を選んだ理由は、一番は部活動にあります。富士大学の硬式野球部は全国でもとても有名でレベルの高い選手が多く集まります。そんな高いレベルの中でレギュラーを競い、私の将来の夢でもあるプロ野球選手になり活躍するという夢に少しでも近づくために富士大学を選びました。そして環境がとても充実していて人にやらされたからやるのではなく自らが高い意識を持ち、自分で考えたり、周りに聞いたりと自主性が求められ上手くなりたい、将来のためにという環境ができています。人から言われてやるのではなく自らが先頭に立ってやる意識がある所に心を惹かれました。

富士大学の硬式野球部でレギュラーを獲るために今まで自分の長所、短所を理解し、伸ばしてきました。私の持味は打撃なのでひたすらバットを振ったり、結果が出ても慢心せず常に上のレベルを目指してやってきました。高校 3 年間で自ら考え、悩みを繰り返し高校 2 年生の秋にはレギュラーを獲ることができました。人に聞いたり、見てもらうことも多くしてきましたが、自分で辿り着いて見つけたものはとても大きなものでした。なので、人に聞いたことも大切ですが、自らが考え、悩み出した答えは自信になることだとも学ぶことができました。

■目の壁を「実に面白い」と 思って壊す努力をしました

学んだことは野球だけではありません。私生活や人との関わり、話し方、挨拶など基本的なことですが社会にでたときにはすべて大切なことです。改めて感じたことは、人と話さなければいけないことです。年上の人への言葉遣いなどです。

高校 3 年間で成功した数より圧倒的に失敗したことの方が多いです。大切なのは失敗したことをしっかりと受け止め反省し次に活かすということです。そして目標、夢を見失わず最後まで努力し続けることです。そのためには、好きにならなければなりません。嫌いなことでも好きになり成長しなければいけません。たとえ目標や夢を見つけ取り組むことがまた自分を成長させてくれると思います。

大好きなことでも嫌いになりそうになる壁にぶち当たる時があると思います。その時は「実に面白い」と思い壁を壊せるように努力すればいいと思います。この言葉は私が尊敬している人が言っていた言葉です。この言葉があったから私は今でも野球が大好きでいることができます。

最後までやり遂げることができるように、決して諦めずやることと高校 3 年間で改めて学び、野球だけでなく勉強ができなくても理解しようとする姿勢が大切などと学びました。社会に出た時にでも困らない日々を過ごすことが大切だと実感し、私もまだまだだと思いました。目標、夢を見失わず頑張ってください。「ALL IS WELL」

東北芸術工科大学 デザイン工学部 グラフィックデザイン学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月外国語コース卒
松島中出身

「潜在能力を発見できる機会」と思い 何でも挑戦するのが成功への第一歩です

■自ら考え伝える力を養うため 様々な賞に挑戦しました

私が東北芸術工科大学デザイン工学部グラフィックデザイン学科への受験を決定したのは、高校 3 年生の夏です。それまでは外国語コースに在籍しているということもあって、外国語を学べる大学へ進学を目標としていました。なので、元々デザインが得意なわけではなく、その分野に関してはまったくの素人でした。

私は、高校 1 年生から様々な大学のオープンキャンパスに参加しましたが、自分に合う大学に巡り合えませんでした。そんな時に、両親の勧めで参加した東北芸術工科大学のオープンキャンパスが、受験を決定するきっかけになりました。受験生の皆さんも先入観だけで進学先を決めずに、何度もオープンキャンパスに参加してみると、きっと自分にぴったりの進学先を見つけることができるはずです。私もそれを願っています。

どの大学を受験しても、しなくても、すべての人に共通して言える大切なことは「考える」と「伝える」ことだと私は思っているので、想像力や理解力を養うために、あらゆるジャンルの書籍や新聞、ネット記事を意識的に読むように心掛けました。更に、学校を通しての募集や自らネットで見つけた作文、エッセイ、論文のコンクールに積極的に参加しました。参加したコンクールは総計で 10 ぐらいになると思います。そのなかでも、世界の貧困、飢餓を訴え掛けたエッセイでは優秀賞を、私と中国との関係について書いた作文では最優秀賞をいただき、2 週間の中国研修へ招待いただきました。この体験を通して、大きなチャンスは小さな挑戦や努力によってもたらされるのだと実感しました。皆さんにも、無駄な努力はないということを頭に入れてもらいたいと思います。

■外国語コースでの経験は AO 入試にとっても役立ちます

私が AO 入試を利用して受験をしようと思った最も大きな理由は「自分を最大限にアピールできる」からです。外国語コースには、様々な国の人々と交流できる機会や言語、文化に触れる学習が沢山あるので、自分のアピールポイントに繋がる貴重な経験となりました。グラフィックデザイン学科の AO 入試は自己アピールファイルの作成と面接のみでしたが、美術やデザインのアピールではなく、自らのあらゆる経験をアピールするものだったので、自分に適していると考えました。

私自身、受験に成功したいちばんの要因は「経験」だと思います。自分には関係ないから、得意な分野ではないから、面倒くさいからと決めつけてチャンスを狭めてしまうのではなく、もしかしたらこの体験が自分の潜在能力を発見できる機会になるかもしれないと、前向きに考えることが成功への第一歩だと確信しています。

大学生になっても常にチャレンジ精神を持って行動し、より自分を高めていきたいです。

東北芸術工科大学 デザイン工学部 映像学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
西山中出身

資格取得の勉強を通して学んだことを どう生かすかが合格を左右します

■読書や漢字検定取得などが 実技試験に役立ちました

私は高校 2 年生の時に東北芸術工科大学の映像学科に受験することに決めてから、自己アピールの材料とする為に様々な検定試験に取り組んできました。

取得した資格の中で最も大学合格に役立ったと思うのは漢字能力検定です。映像学科の AO 入試には実技試験の枠にショートストーリー制作というものがあります。その内容は試験開始の直前に配られる写真に基づき、イメージを連想させて物語を書くというもので、受験生の発想力と物語の構成力が試されるものだと思います。採点には誤字脱字の有無も関わってくる為、物語を文字に起こす際に必要な漢字を書けないのでは合否に影響します。その為、私が漢字能力検定準 2 級の取得を通して得た知識は非常に役立つ結果となりました。他にも、様々な本を読んでアイディアの引き出しを増やしたことも合格に繋がったのだと思います。

■資格取得までに学んだことを どのように生かせるかが重要です

漢字能力検定の他にも取得した資格は様々あります。それらは面接や書類での自己アピールの材料として大きく役立ちました。例えば、MOS 関連の資格は自身のコンピューターを扱う能力を示す材料となりましたし、色彩検定は自身の持つ芸術への興味や知識をアピールするのに役立ちました。勿論資格を取得することだけでなく、自身のこれまでの芸術的活動をアピールする為の作品を用意する等も必要なことですが、やはり資格取得は受験に非常に役立ったと自負しています。

私にとって資格は大学合格の重要なファクターとなりましたが、書類に取得した資格を羅列させるだけでは審査で殆ど意味を成しません。資格取得の為の勉強を通して学んだことをどのように生かせるかが、大学合格を左右する重要なことなのだと思います。

東北芸術工科大学 デザイン工学部 映像学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月 フレックスコース卒
秀光中等教育学校出身

目標が見つからないなら自ら進んで もっと多くの経験をしてみましょう

■未知の場所に一步踏み出せば 新たな価値観に出会えます

私が、在学中にやるべきだと思うことは多くの経験をする事です。知っているようで知らないことが山のようにあり、高校生の私たちは知っている勘違いしがちです。ですが、積極的に行動することで経験することができます。

自分の住み慣れた地域や顔の知れた人と接することはもちろん大切です。でもそこから違う場所に踏み出すと新たな発見があります。今までにない意見や振る舞いを感じられるでしょう。社会に出る前に少しでも多くの経験をする事が大事だと思います。また、経験や発見を通して目標も見つかるはず。この職業になりたい、こういう生き方をしたい、という指針が見つかるはず。もし、見つからないのならもっと多くの経験をしてみてください。まだ出会っていないのなら自分から進んで出向く事が大切だと思います。

■日々の生活でやるべきことを 自分で考える事が大切です

そして、目標が決まればそこに向かっていくだけです。自分でやれることはたくさんあります。発達したインターネットを利用したり、本を読んで勉強ができます。進路についても早い段階で決めた方が余裕が生まれます。ここで大切だと思うのは、自分のことは自分でやるということです。受験の仕組みや時期を始めとして、自分でやらなければ分かりません。それは日々の生活でも同じです。自分のことは自分で管理することがとても大切になっていきます。自分でやるべきことを考える事が大切です。

私は野球部で練習漬けの日々でした。その中で考える力がついたと思っています。部活をしているのならやれるだけのことをしてみると得られる経験があります。部活をしていないなら、多くの経験をして色々なものに触れてみてください。何事も経験だと思います。

東北学院大学 文学部 英文学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
中野中出身

何をすれば自分のためになるのかを しっかり考えて毎日を過ごしましょう

■指定校推薦を意識した行動が AO 入試挑戦に繋がりました

私は東北学院大学文学部英文学科に AO 入試で合格しました。私がこの大学を目指すようになったのは、2 年生の夏頃でした。1 年生の頃から積極的に県内の大学のオープンキャンパスに参加したことによって、どの大学が自分に適しているか分かるようになり、東北学院大学に入学したいという思いが強くなりました。中でも私は、オープンキャンパスで受けた模擬授業や夢ナビ LIVE で受けた講義の内容に興味があり、その講義を受けてから、東北学院大学に入学して学びたいという気持ちが一層高まりました。

私は、1 年生の頃から多くの資格取得に励みました。英検 2 級だけでなく、漢検や TOEIC、ニュース検定など、3 年間取れる資格はどんどん挑戦しました。そして定期考査では、3 年間良い成績を残せるように常に心がけてきました。元々私は、指定校推薦での大学入学を意識して資格取得や勉強に励んできましたが、3 年生の夏になってから急遽 AO 入試に変更しました。指定校推薦と AO 入試は大きな違いがあります。指定校推薦は、日頃の学校生活や定期考査で良い成績を取ることが重要ですが、AO 入試は自分自身をアピールし、入学したい思いを熱意を持って伝える能力が必要です。私は、指定校推薦を意識して 3 年間生活してきたため、評定や資格、ボランティア活動などアピールできることが多かったことから、受験方法の変更に対応できました。

■入念に面接対策を行い 対応力を磨きましょう

東北学院大学の AO 入試には、A 日程と B 日程があり、どちらの時期がいいか自分でよく考えて出願しなければならぬのですが、私は夏休み中なども学校に行き、準備をしたり担任の先生にいろいろとアドバイスをいただき、A 日程で出願することができました。一次試験は 30 分間の面接だったので、本番までの期間に自分で時間を見つけていろいろな先生に面接練習をお願いし、放課後に何度も練習を重ねました。30 分間の面接は志望理由などだけでなく、深い質問をたくさんされるので、どんな質問にも答えられるように念入りに準備しておかなければなりません。2 次試験では、面接と小論文があります。面接は約 5 分ですが、ネイティブの先生から英語でいくつか質問をされるので、英語で答える練習もしておかなければなりません。小論文は、自分で参考書を購入して勉強したり、過去問を解いて対策をしました。時間内に原稿用紙を埋めることが大切だと、オープンキャンパスに参加した際に大学の先生もおっしゃっていたので、とにかく時間を計って書く練習をしました。

進学に向けて、何をすれば自分のためになるのかをしっかりと考えて 3 年間高校生活を送り、後悔のないよう頑張ってください。

東北学院大学 経済学部 共生社会経済学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
南小泉中出身

例え AO1 次の判定が奮わなくても 最後まで諦めずに頑張りましょう！

■震災を経験し将来は地元 に貢献したいと思いました

私は、東日本大震災が起きてから人の命を守る仕事に就きたいと考えていました。東北の地で働きたいと考えており、東北の経済などを学び将来の糧にしたいと思い経済学部を志望しました。東北学院大学を受験すると決め、少しでもチャンスを増やすために AO 入試を受けると決めました。一次試験はエントリーシートと面接が約 30 分。一次試験はエントリーシートの出来で判定が大分左右されます。先生に何度も添削していただき完成度をできるだけ高くして、面接は先生が何度も指導して下さると思いますが親と家でもやったほうがいいと思います。

二次試験は小論文と面接が約 5 分、私は小論文対策として、過去の AO 入試の問題を解き、先生に添削していただきました。過去 3 年分を解いてみたところ、全て新聞の一部から出ていたので、自分の受けるものも新聞から出ると予想し、出そうなものを読んでおきました。しかし、当日の試験は新聞からではなく普通の本の一部から問題が出されました。運よくその問題は私がやっていたスポーツについてだったのでスラスラ書くことができました。なので、過去問だけでなく普通の小論文の問題も解いて対策してみてください。面接は判定次第で一次で聞かれたことをまた聞かれるがあるかもしれないので、一次で言えなかったことなど練習してみてください。

■生徒会などへの積極的な 参加がプラスになりました

AO 入試は学力だけでなく高校生活における活動も評価されるので、生徒会などに入りボランティアに積極的に参加することで、面接でより自分のことをアピールすることができますと思います。私が合格することができたのは、生徒会やよさこいの活動を積極的にやっていたのが大きいと考えています。なので、AO 入試や推薦などを考えている人は、勉強だけでなく生徒会などの活動もしてみてください。

一次の判定が悪いと落ち込むと思います。そんな時は先生と話してみてください。先生はいつでも生徒を支えてくださいます。最後まで諦めない者が合格することができるので、最後まで頑張ってください。

東北学院大学 工学部 情報基盤工学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
大河原中出身

資格は他の志願者との差が付くうえに 将来役立つので取れるだけ取りましょう

■放課後学習に積極的に参加し

MOS などを取得しました

合格するために努力したことは、数学 I の勉強です。この学科の AO 入試は 1 次試験で数学 I の問題を解くのを、オープンキャンパスに参加した際に知りました。なので私は数学 I の勉強をしました。

また、私は合格するために高校生活の中で学校を休まないように努めたり、MOS などの資格を取得しました。家に帰宅してからの手洗いうがいをいつも心掛けてきたので高校生活 3 年間の中で 1 回しか休みませんでした。資格を取得するため、情報の授業の放課後学習に参加しました。やはり様々な努力は大切だと考えます。

東北学院大学の情報基盤工学科を志望したのは、県内の大学で、将来パソコンを使う職に就くことができる大学と考えたからです。

■校内模試は 1 点でも多く

取れるよう努力しましょう

AO 入試の小論文対策として、これまでにこの学科の小論文の過去問を何回も取り組み、初めて聞いた単語があったらすぐに調べたり、私の場合はパンフレットに人工知能など書いてあったのでそのことなどを調べるなど様々な対策をしてきました。

私から後輩に伝えたいことは 2 つあります。資格は必ず取れるだけ取得して欲しいこと、もう 1 つは校内模試で 1 点でも多く取って欲しいです。資格があるだけで他の人と差をつけることができ、将来その資格が活かされることがあるので取得して欲しいです。校内模試は指定校推薦を貰えるか貰えないかの大切なテストなので 1 点でも多く取って欲しいです。

大学進学を希望する人は努力を忘れずに頑張ってください。

東北学院大学 工学部 情報基盤工学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
高崎中出身

1 次試験挽回のチャンスと捉えて 2 次試験に全力を尽くしました

■勉強への意欲を入試で
伝えたいと思いました

仙台育英に入学したばかりの私は、自分自身の学力に不安を抱いていました。そのため、3 年間の高校生活は部活動をせずに勉強に励むことにしました。しかし、その時はまだ進路については明確には決めておらず、テストの成果などで進学か就職を選択してみようと考えていました。結果としては、自分でも頑張ったと思える成果を出せた上、まだ勉強をしていたいと思ったので大学へ進学することを決めました。

私が AO 入試という制度を選んだ理由としては、上に記した「勉強の成果」や「まだ勉強をしたいという思い」を武器にできると確信したからです。AO 入試で重要なのは、如何に自分という人物を面接官に伝えられるかということだと聞いたので、私としては非常に自信がありました。

しかし、私の志望した学科の AO 入試は、数学の問題を解かされるというものでした。それを事前に知った私は、教科書の問題を解いたり、万が一の為に面接練習をしたりすることで対策をしていました。

■学科試験があるならば
弱点克服に励みましょう

そして迎えた 1 次試験、出題された問題は分かっていたはずの問題が解けなかったりと散々な結果で終わりました。後日に発表された判定は C で、これは 2 次試験は受けられるが不合格となる可能性が高いというものです。しかし、私はそれを志望大学に入れる大きなチャンスだとポジティブに考え、迷わず 2 次試験を受けることを決めました。2 次試験までの期間では、小論文の添削を先生方に何度もお願いしたり、1 次試験で解けなかった問題を参考書を用いて、休日のみならず休み時間や放課後にも勉強をしました。

2 次試験では、最初に小論文を書き、次に面接をするという流れでした。小論文は得意だったことや先生方の添削を参考にすることでテーマに沿った文章を書けました。面接は、1 次試験で間違った問題が再び出題されるといった内容だったので、2 次試験までに努力していたということを問題を解くことで発表できる場でもありました。

もし、この学科の AO 入試を受けることになったら、数学で未熟な部分はないかを探ってみることをお勧めします。それが見つかった場合、数学の先生に尋ねるなどして改善し、万全の状態の本番に挑んで下さい。

東北学院大学 教養学部 言語文化学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月外国語コース卒
宮城教育大学附属中出身

オープンキャンパスは教授や学生と 触れ合える絶好の機会です

■ 学科長のお話をきっかけに 入学への意欲が高まりました

「この大学に絶対合格する！」と決心したのは高校 3 年生になってからでした。具体的にどの大学へ進学するか決まっていない時、丁度東北学院大学のオープンキャンパスがあり、先生から行ってみると良いと言われ友人と参加しました。高校 2 年生の際に 2 週間のドイツ研修へ行ったことがきっかけでドイツ語を専攻したいと考えていて、言語文化学科では第二外国語の中にドイツ語があり学科説明と講義を受けました。その中で学科長の方が、「言語を通して異文化を知ること、今まで当たり前だった事が当たり前でなくなります」と話していました。私はこの説明と講義を通して、言語文化学科はただ英語や第二外国語を話すのではなく、諸地域の文化や生活様式まで着目できる面白さがあると気づき、この学科を志望すると決意しました。オープンキャンパスで実際に説明を受けることで、より学科の特色を知ることができます。また、在籍している学生さんや教授に質問できる良い機会なので、必ず参加しましょう。

■ 1 次試験が奮わなくても 諦めずに合格を目指しました

私は AO 入試での受験を選択しました。しかし、言語文化学科の募集定員は少なく合格するには相当な努力が必要でした。まず、1 次試験のエントリーシートを作成するにあたって、いかに自身の魅力を簡潔に伝えることができるか、この学科が自身のどの経験や資質などに対して適性しているかが重要です。シートをもとに 30 分程度の面接が行われるので、書いた内容に責任を持ち、どの文章に対しても詳しく説明できるようにノートにまとめて暗記すること、口に出して練習すると自然と話せるようになりました。面接練習は同じ先生とも繰り返し行いましたが、異なる先生と行うようにしました。先生によって質問してくる視点や内容が異なるので、どこから聞かれても対応できるようにたくさんの練習が必要です。また、先生も合間の時間を使って練習に付き合ってくださいるのでアドバイスをしっかりメモすることや、感謝することを忘れずに行うことです。

1 次試験の結果は C 判定で、合格するか厳しい場面にいました、正直、2 次試験を受けるか悩みましたが、オープンキャンパスを通して決意した思いがあったため諦めずに合格を目指すことにしました。2 次試験の内容は、小論文と 5 分程度の面接なのでとにかく小論文をいかにまとめている文章を書いているか、趣旨が合っているかを意識して練習しました。文章の要約はできても意見文がなかなかまとまらず、先生から添削してもらい、友人にも小論文を読んでもらいアドバイスをもらいました。エントリーシートと同様に書くことに慣れるのが大切なので、最初は時間内に書き終えるよりもしっかり内容を捉えているかを重視した方が、当日も落ちついて書き進めることができます。

AO 入試を考えている人は、試験まで必要なことを繰り返し行うこと、諦めないことが大切です。

東北福祉大学 総合福祉学部 福祉心理学科
特別推薦で合格

平成 30 年 3 月 外国語コース卒
宮城野中出身

他の受験生より優位に立てることを 自分なりに考えて見つけましょう

■ 苦手意識を克服するために 毎日面接の練習に励みました

高校 1 年生の頃から心理学を学びたいと思っていました。心の病気の人が身近にいたこともあり、臨床心理士になりたいと思っていて、臨床心理学で有名な関東の大学を調べていました。ただ、調べてただけでオープンキャンパスに行っていなかったため、大学のことを何にも分かっていませんでした。そのためいつまでたっても進学先は決まらず、あっという間に 3 年生になってしまいました。親と毎日話し合いましたが結論は出ず、毎日悩みました。全国に気になる大学はいくつかありましたが、色々な面考えた結果、県内の大学に進むことにしました。心理学科のある大学のオープンキャンパスに行ったり、進学説明会でお話を聞いて、学校の雰囲気や先生の人柄などを見て感じた結果、東北福祉大学が自分に合っている気がしました。兄がこの大学に通っているため、同窓生推薦を利用して受験することにしました。

私は面接が苦手なため、練習ですら気が進みませんでした。担任の先生やアドバイスをたくさんくださる先生にお願いしました。初めは緊張して声は小さく、途中で答えられなくなったりしました。このままだと落ちると言われ、このままだといけないと思い、注意されたことや過去の先輩の記録を元にノートをまとめ、毎日練習しました。当日は記録になかった質問をいくつもされ戸惑いましたが、落ち着いて冷静に考え、大きな声で答えるように心がけました。小論文は、過去問を実際に書いてかかる時間や段落分けをどうすれば良いか練習しました。本番ではあせって制限時間の半分の時間で終わってしまいましたが、その分漢字の訂正やより良い文章に直すための時間に使うことができました。

■ ボランティア活動の経験が 面接で役に立ちました

私は外国語コースに所属していながら英語が苦手なため、英検は準 2 級しか取得していませんでした。しかし、これでは内申書に書くことがないと思い、インターアクトクラブに所属し、地域のボランティア活動に参加しました。また、中学の頃ジュニアリーダーだったことを生かし、夏のボランティア体験会では児童館に行き、小学生と遊んだり職員の方のお手伝いをしたりしました。他にも、マラソン大会やお祭りのごみ分別など色々な活動をしました。そのおかげで、大学の面接でボランティアについて聞かれた際、経験を詳しく話すことができました。

さらに、健康管理に気を使っていたおかげで、3 年間皆勤賞をいただくことができました。出席日数は成績と同じくらい大事なので、毎日学校に通うという当たり前のことですが、頑張っって損は絶対にありません。

成績があまり良くなくても、自分なりに考えて、他の人より優れていることを見つけて努力するべきだと思います。

東北福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
大衡中出身

将来の夢を明確にしてから 大学選びをすることが大切です

■出張講義を機に作業療法士を 目指すことを決意しました

私には、小学生の頃から障害を持つ人の役に立てる職業に就きたいという夢がありました。その夢を持ち始めたばかりの時はまだ漠然としたものでした。しかし、高校 2 年生の行事として行われた各大学から教授が来てその大学の魅力について説明してくれる出張講義がきっかけで、「作業療法士」という職業を知ることになり、夢を明確にすることができました。

将来の夢が決まり、その夢を実現するにはどの大学に行くべきか考えたときに、国家試験の合格率も高く、大学の設備も整っている東北福祉大学が良いと思いました。その大学を目指すため色々調べていると、AO 入試の存在を知りました。私は絶対に作業療法士になりたかったので、AO 入試を受けることに決めました。

東北福祉大学の AO 入試は、一次試験に英語と生物基礎と面接、二次試験にレポート課題提出と面接という項目の試験がありました。試験日は 8 月末だったため、夏休みなど勉強時間がとりやすく、科目試験の対策をしっかりとすることができました。しかし、問題は面接でした。夏の間は学校に行く機会が少なく、納得のいくまで練習をする時間がありませんでした。そのため、面接での設問にどのようなものが過去の入試に出題されていたかを入念に調べ、その設問に対する答えを考え紙に書き、どのようなときでも頭に浮かぶよう何度も見直しました。そのおかげもあり、一次、二次のどちらの面接も言葉につまることなく、自分の考えを伝えることができました。練習の成果を出せたことに大きな喜びを感じました。

■基礎知識を身につけて 入学に備えています

合格した今も、大学から出ている入学前教育の課題に取り組んでいます。正式に大学に入学する前に、今後の学習に必要な基礎知識を身につけておきたいと考えています。

大学入試で私が最も大切だと考えたのは、将来の夢を確定し、その夢に沿った大学選びをすることです。夢が不明確だと目標も決まらず最善の行動をとることができなくなります。よって、自分のことを見詰め直し、やりたい職業を見つけ、その目標に近づくためにどの大学が良いのかを選択していくことが大切であると考えます。そして大学を決定した後は、その大学に確実に合格する方法を考え、努力していくことが大切です。

東北福祉大学 総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
広瀬中出身

1 分、1 秒、1 日 1 日を大切にし 積極的に学ぶことを忘れずに！

■仙台育英に入学してから 勉強が楽しくなりました

仙台育英に入学してから勉強の楽しさに目覚めました。学校のスローガンでもある「逆転の仙台育英」という言葉を毎日胸に刻み、勉強していました。中学生の頃は勉強した事がなく、勉強の仕方さえも理解していませんでした。しかし、高校の定期テストの 1 ヶ月前からオークルームや GP ホールで夜まで学びながら自分なりの学習方法を見つけ、高得点をとり続けることができるようになりました。しかし学校での学びだけでは大学レベルの学力が身に付かない事が分かりました。決められた授業を行うので、月日がたつにつれ、受け身の授業になってしまいます。他の人から教えられた事は自身の興味関心がない限り、聞く耳を絶対に持ちません。なので私は 3 年間、心がけていた事は常に疑問を持つことです。なぜこの単語はこのような意味なのか？ この単語とこの単語の違いなどを考えていると解決した時のスッキリとした感覚が気持ちよく、また次も頑張ろうと思う事が出来ます。

後輩のみなさんに伝えたいことは、3 年間はすぐ終わるという事です。1 分、1 秒、1 日 1 日を大切に学びたいことに素直にチャレンジし、高校生の自分自身にしか体験することができない事を何か行ってください。学びに対して積極的にポジティブであることを忘れないでください。

東北工業大学 工学部 電気電子工学科に

AO 入試で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒

大河原中出身

困難に立ち向かい最後まで諦めずに 物事に取り組んで夢を叶えましょう！

■努力はウソをつかないと

合格して実感しました

私の場合、AO 入試いわゆる自己推薦入試を受験しました。9 月の定期考査が終わってから、志望理由書など必要な書類をそろえました。面接は、相手の質問に対する受け答えが最低限できれば問題ありません。学校で面接練習を 1 回ぐらいやることをオススメします。

「必ず大学へ行く」という強い精神を持ち、毎日学校へ行き、最後まで学校についていけたからこそ大学へ進学できました。東北工業大学は、東北地方特に地元の宮城県に就職する方が数多くいます。将来的に、電気設備技術者として地元で働きたいので大学に進学しました。

私は大学への進学が決まるまで「努力はウソをつかない」ことがわかりました。なんでも自分の将来の目標に向かって最後まで諦めず、努力することが大事なんだと改めて気づきました。

仙台育英での 3 年間は、仲間との出会いを大切に、毎日を元気に楽しく学校に通うことができました。仲間と切磋琢磨して、物事を率先して取り組み、充実した高校生活を送ることができました。

「夢を現実のものにする」ために、当たり前のことを当たり前でできる喜びをかみしめて、どんな困難にも立ち向かい、何事も最後まで諦めないで物事に取り組まない限りは、夢を叶えられないと思いました。

■受験は友達と切磋琢磨して

挑む「団体戦」でもあります

最後に、「受験」は個人戦であり、団体戦でもあります。友達は、ライバルでありつつも、3 年間一緒に過ごしてきた仲間でもあります。試験当日、緊張するのは自分だけでなく仲間も同じです。今までやってきたことを信じて、最後まで諦めずに試験終了まで 1 問でも多く解き続けてください。何でも最後まで諦めてはいけません。試験は、解答用紙に何でもいいから書けば少しは点数がもらえるかもしれません。

最後に一言です。

自分を信じて頑張ってください。

東北工業大学 工学部 環境エネルギー学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
田子中出身

面接と小論文の練習で指摘されたことを 深く意識して本番に臨みました

■授業内容を忘れないように 毎晩必ず勉強していました

私は、中学校の時所属していた部活動は、水泳部で、部活と勉強は両立するのがとても難しかったです。勉強はあまり得意ではありませんでした。高校に入学して、とても興味があった吹奏楽部に入部しました。しかし、部活動では初心者で何度も怒られました。でも、周りから励まされたり、わからないことを先輩に相談して、自分で前に進めるようになれました。休日もおもに部活動に取り組んでいました。夜は食事と風呂を済ませた後は、勉強をしていました。高校に入学してからやっている勉強内容は、毎日学校で習ったことを中心に忘れないように勉強していました。そして、試験が近い時は、試験範囲をもらってから、2 週間位前からは毎日 2～3 時間は勉強していました。そして、テストでは 50 点以下は取らないよう心掛けていました。後、学校には、遅刻や欠席をしないように健康管理にも注意掛けていました。そして、高 1 の担任の先生から、推薦入試があると聞き、私はそこで、大学進学を目指しました。

■環境問題について学び 研究したいと思っています

高 2 の後半の時に、環境問題について興味がでてきました。環境問題について勉強と研究ができる大学を調べ、父と一緒にオープンキャンパスに参加し、色々と説明を聞いて私に合った大学は、東北工業大学だと思いました。私は評価が思ったよりよかったから、担任の先生と相談し、AO 入試で受験することを決めました。AO 入試では、面接と小論文があり、面接は、担任の先生や受験対策をしている先生や友達に自分がしっかり質問に答えられるようになるまで練習を手伝ってくれました。私の場合、質問されたらすぐに返答することはできていましたが、元々声が小さくもっと声を出すように言われたり、返答している時に体が小刻みに震えていたので、震えないようにと注意されたりしました。小論文は、大学の過去の小論文の問題を書き、小論文を担当している先生に何度か見てもらい、添削してもらい自分なりに書き直しをしていました。書き直しを見ていただき、返却されたプリントに先生からの注意点と、何回か文を繰り返し書かないようにと注意されました。この 2 つの指摘された悪い点を少しずつ慎重に改善して、入試を受けた結果、合格に繋がりました。

尚絅学院大学 総合人間科学部 表現文化学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
玉川中出身

オープンキャンパスでは学生や教授に 積極的に質問して印象を残しましょう

■尚絅学院大学の AO 入試では
検定は 3 級以上が有利です

私は尚絅学院大学の 1 回目の AO 入試を受験しました。私はセンター入試に向けて勉強するのには時期が遅かったため、AO 入試でなんとか合格しようと思ひ、残りの高校生活をテストや授業態度などの改善などを心掛けました。授業態度などは受験する大学の評価基準に届くように努力しました。また、課外活動や部活動、興味を持っている事などを詳しくエントリーシートに記入し、担任の先生や千田先生に何度も添削してもらひ、記入漏れがないか確認を行ひましょう。尚絅学院大学の受験を考えている人は英検や漢検などを最低でも 3 級を持っていると AO 入試では有利になる可能性があります。また面談では自分が興味を持っている事、特技などを 5 分間で発表しないとイケないので、5 分間で面接官 2 人に分かるような内容にするとそれに対する質問などが質問内容なども考えた方がイイです。過去の面談の発表では、ガンダムについて熱弁した人や歌った人がいるので、どんな特技も受け入れられると思ひます。「私は AO 入試 1 本で行く！」という人は 1 回目に受けると受かりやすいです。オープンキャンパスなども積極的に参加し、学生の方や先生に質問などをして、印象を与えるといイです。

石巻専修大学 理工学部 情報電子工学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
多賀城第二中出身

先にスタートを切り最後まで 努力した人が勝つのが受験です

■普段から勉強していれば

口頭試問に十分対応できます

私は情報セキュリティと組み込みシステムに関する研究を行いたいと考え、関連した研究と講義を行っている石巻専修大学を志望しました。AO 入試での受験でしたので、小論文と面接の対策が必要でした。小論文のテーマは「大学でやりたい事」だったので大学生活における自分の明確なビジョンを持っているかが問われます。私は大学院進学という目標を持っていました。3 年間の高校生活の中でどれだけ大学より先の進路を考えられるかが分かれ道です。大学だけに目を向けすぎずその先のことを考えましょう。面接では口答試問はない筈だったのですが、何故かありました。咄嗟の事態にも対処できるように日々の学習を怠らない事が大切です。AO 入試だからと慢心せず日常学習を習慣づけましょう。理系の学科からか「今数学の授業ではどこの分野を学んでいますか」という質問でした。微積分だと答えると「 x^2 を微分したらいくらですか」という簡単な質問でしたので深くまで学習せずとも広い範囲を学習する必要がありますので、日常学習の重要性を理解していただきたいです。

■研究したい分野に強い大学を

とことん調べました

また、私は資格取得にも力を入れました。自分で国家資格である IT パスポートを取得し、面接官にアピールしました。IT パスポートは 2 週間程度の学習で取得できる簡単な資格でありながら国が求める情報処理技術者の水準までの能力があると証明できるので工学、情報系への進路を考えている人は是非取得してみてください。

進路を決めるというのは大変難しい事です。1 年生のうちからオープンキャンパス等に参加して視野を広げてみる事が重要です。私は自分が研究したい分野に関する大学を徹底的に探しました。例えば情報系ならインターネット等の通信工学系、マイコンや IOT なら電子工学系と細部まで分かりますので自分の興味のある分野をとことん調べてみましょう。受験は非常にシビアな戦いになります。最終的に努力した人には敵いません。先にスタートを切ったほうが勝ちます。どうか最後まで気を抜かず自らの夢を叶えてください。

仙台大学 体育学部 体育学科に
特別推薦で合格

平成 30 年 3 月情報科学コース卒
蒲町中出身

沢山の方々に支えられながら陸上を続け 人間的に成長できたと実感しています

■将来は指導者として 陸上に恩返ししたいです

私が仙台大学体育学科を進学したいと思った理由は 2 つあります。1 つ目は仙台大学陸上競技記録会において仙台大学を訪れた事がきっかけです。私は陸上競技部に所属し、仙台大学が主催の大会に何度か参加し、そのときに大学の部員の多さ、競技レベル、競録会を学生の力で行う運営力など陸上競技に対する活気強さを初めて目の当たりにしました。大学入学後は陸上競技部に入部し、自己記録の更新だけでなく競技の運営などの裏方の知識を身に付けて将来に役立てたいと思っています。2 つ目は将来、保健体育の教員になりたいと強く願っています。中学・高校と陸上競技を通じて競技の勉強をするたびに沢山の方々にアドバイスをもらい人間として成長することができました。これらの恩を私が地元の指導者となって子供たちに還元していくことにより、支えてくれた方々や私を成長させてくれた陸上への恩返しができるからです。

■取得した資格を大学での 競技生活に活かしたいです

その為に高校生活で努力した事は陸上競技部の活動です。特に力を入れたのは、中学から続けている走り幅跳びと高校から始めた三段跳びです。チーム運営では 2 年生から女子キャプテンを務めました。高校は中学と違い、競技に対しての意識や目標が高く、その中で女子キャプテンとしてチームを進めていくことは本当に大変で、一番苦勞したのは女子全員の意識を統一し続けるということです。しかし、その苦勞の先には苦しい練習も一緒に乗り越え、励まし合える環境、雰囲気練習や大会に臨むことができました。競技では最後の高校総体で目標としていた自己ベストを出すことができませんでしたが、これからも陸上競技を続けるので、原因を追究して対策を考え、練習で改善できるように努力し、今まで以上に陸上競技に熱心になりたいと思いました。そして、今まできつい練習の時も一緒に励まし合ってきた仲間の大切さも学ぶことができました。

学業では、情報の資格取得にも力を入れました。入学当初はパソコンを使った授業についていくことが出来ませんが、これから社会に出る為にもパソコンの基本的な操作能力を必要だと考え意欲的に授業に取り組みました。部活動との両立を行いながら放課後は全商情報処理検定の勉強を行い、全商情報処理検定 2 級を取得する事が出来ました。取得した 2 級は大学での実験や競技のデータ分析など大学生活で活かせるようにしたいと思います。

仙台大学 体育学部 体育学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月フレックスコース卒
門脇中出身

何でも「やる時はやる」ことが 部活動にプラスに働きます

■部活動への意欲を保つのは 実は意外と難しいものです

フレックスコースでスポーツ AO と聞くと「スポーツ AO はフレックスコースだから合格できた」と思うかもしれませんが、フレックスコースにいても、常に意識を部活に持ち続けることは、簡単なように思えて、実は難しかったりします。勉強が苦手だからテスト勉強をしないという生徒ももちろんいます。ですがそれで、部活を本気で出来るのでしょうか。学校生活あつての部活動です。停学や退学、追試などになってしまったら大好きな部活動が出来なくなってしまうのです。だから私から後輩の皆さんへのアドバイスは文武両道を、少しでも心がけて勉強も部活動もやる時はやってほしいのです。テスト前だけの勉強でもやらないより結果が良いと思います。「やる時はやる」これを習慣づける事で部活動にも生きてくると思います。

■運動系大学は評価の観点や 面接など少し特殊です

私がスポーツでの進学を決めた理由は、スポーツを続ける事で自分の夢に近づくからです。私は体育教員を目指して大学へ入学します。

スポーツ AO とはスポーツの成績を主に注視され、普通の学校の成績や小論文、スポーツ実技で選抜され、さらに普通の学校生活も進学に関わってきます。

部活だけやればいい、成績を下げなければ良いという考えだけでは大学は受かりません。勉強でも大学受験に向けた勉強をしなくてはなりません。スポーツを専門とした大学ですから、面接では様々なスポーツに関する質問があります。自分が好きな選手や大学 4 年間で自分の選手としての能力はどこまで向上できるのかなど、他の大学では聞かれないことを聞かれたりもします。

だから面接の練習などでは、自分の所属している部の顧問の先生にお願いすることをお勧めします。

スポーツマンたるものは、どんな場面であっても堂々としてなくてははいけません。受験の前には緊張することと思いますが、自分はやれるだけのことをやったのだと、心に言い聞かせて、しっかり前を見て胸をはって受験に臨んで下さい。

スポーツ大学は行動や姿勢をよく見られています。他の大学とは少し違うことを意識して頑張ってください。

桐朋学園芸術短期大学 芸術科演劇専攻に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月外国語コース卒
大沢中出身

何を一番やりたいのか改めて考え 初めて大学に行く意味を見出しました

■演劇部の活動中に

運命的に大学のことを知りました

私は、高校生活のほとんどを演劇部に費やしてきました。部活で忙しく、高校受験を推薦入試で入った私は大学も何故行くのか、どこに行きたいのかを 3 年生になるまで、しっかりと考えたことがありませんでした。外国語コースなので、もちろん私も英文系の大学に行くんだと漠然と考えていただけでした。英語を学べる大学はととても多いため、とりあえず有名などころかなと思っていましたが、有名大学の多くが英検 2 級以上が受験に必要で、資格のない私は最後の頼みの綱でもあった校内模試も結果が奮わず、志望する大学の受験が難しくなって、初めて自分の考えの甘さに気がつきました。部活では、部長を務め、主役を演じ、全国大会運営委員の副委員長として自分なりに努力していたつもりでした。

その後、先生の力強い励ましもあり、もう一度一から考え直すことにしました。私の夢は女優になり海外でも活躍することです。自分が一番やりたいことが何かを改めて見直すことで、初めて大学に行く意味が理解出来ました。このとき、すでに 7 月後半。全国高校演劇大会宮城大会の運営をしていると、演劇を学べる大学の相談ブースがあり、そこで運命的に私が進学することになる大学と出会いました。その大学は、どのパンフレットにも載っておらず、そこに居合わせなければ会うことができませんでした。情報が仙台までやって来ない学校があると、そこで初めて知りました。8 月にオープンキャンパスに参加。9 月の AO 入試で無事合格。最終的に満足のいく結果になりましたが、孤独の中、3 月まで受験に挑み続ける人もいます。勉強は本気でやらないといけません。短期・中期・長期的な目標を立て計画的に努力していくことこそが、自分の将来を切り開く唯一の方法です。多くの人にとって、勉強は、学校で教えられる教科のことだけだと思います。でも違っていてもいいんです。学校で習う教科を一生懸命やることは大切ですが、なによりも、自分の好きなこと、頑張ってきたことに自信を持ってほしいと私は思います。

相模女子大学短期大学部 食物栄養学科に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月特別進学コース卒
大和中出身

1 年次でも時間があれば色々な大学の オープンキャンパスに参加しましょう

■資格を早く取得するために 短期大学を選びました

私は AO 入試で大学に合格しました。私は中学生の頃から栄養士になりたいという将来の夢がありました。将来の夢を実現させるために栄養士の資格が取れる大学に進学したいと思っていました。

そして私が 4 年制大学ではなく、短期大学を志望したかということ、取得したい資格がはっきりと決まっていたこと、カリキュラムをこなして 2 年間という短い期間で資格を取得できるということです。

また、私は元々神奈川県出身で周りにも通っていた人がいたので知っている大学ではありましたが、周りの人から聞いた話だけではなく実際に自分でオープンキャンパスに参加し雰囲気を自分の目で確かめることが大切だと思ったので、私もオープンキャンパスに何度も参加しました。参加してみると良い所、悪い所を知ることができるのでいいことだと思いました。1 年生だからといって早いということは絶対にありません。行ける時に色々な大学のオープンキャンパスに参加することでこれからの大学選択の幅が広がると思います。

■部活動は出会いが多く 協調性が身に付きます

面接のときに答えられるようにしといた方がいいと思うことは、高校生活の中で頑張ったことや学んだことです。高校 3 年間は本当にあつという間に過ぎてしまいます。私は部活動をして本当に良かったなと思っています。出会いが増えること、友情関係、協調性など学ぶ機会が多くなります。毎日の練習を当たり前なことと思わず一日一日を大切に振り返ってみたときにしっかりとと言えるようにしてほしいと思います。

部活動をしていない人も、少しでも興味を持ったことや、ボランティア活動などを積極的に取り組むことで会話の幅が広がると私は思います。

東北生活文化大学短期大学部 生活文化学科 子ども生活専攻に
AO 入試で合格

平成 30 年 3 月英進進学コース卒
米山中出身

人生は一度きりなので 悔いのない高校生活を送りましょう

■ 中学時の職場体験を機に

保育士に憧れました

私は、保育士を目指しています。そのために大学で保育士に必要な知識と教養を学びたいと思っています。保育を学びたいと考えたきっかけは、中学生の時に職場体験で保育所に行ったことからです。活発でなかなか言う事を聞いてくれない子ども達を相手にするのは、とても大変でした。しかし、子どもならではの素直さと豊かな感情の表現が、とても楽しく感じられました。先生方は、保護者から信頼されており、改めて保育士とは素晴らしい職業であると感じました。これらの理由で私は AO 入試で大学に進学しようと思いました。私は面接だけだったため、面接を精一杯頑張ろうと心がけをしました。大きな声ではっきりと聞こえるように、質問につまづいたとしても焦らずに心がけたらうまく面接ができ大学にも合格することができました。本当に頑張ってよかったと思いました。

また、私にとって大学は、高校より規制がないので楽なようですが、大変なことが多いと思うので、私はそれに負けず大学生活を送っていきたいです。

■ 本音で接することができる

友達ができよかった

私が高校で学んだことは、友達の大切さです。私には、1 年生から仲がいい友達があります。その友達には、辛いことや悲しくて泣いたこともたくさんあってその友達がいなかったら楽しい高校生活を送れていなかったと私は思います。一人でも本音で言い合えて、愚痴を言い合える友達を作れて私は本当によかったと思います。

1 年生や 2 年生は 1 年間でものすごく長く感じたけど、3 年生は本当にすぐ終わるのでびっくりしました。でも、私は高校生活に悔いは残っていないので本当によかったです。

私は、勉強や部活も大切だと思うけど一番大切なのは、楽しい高校生活を送れるかだと思います。人生一度きりなので悔いのない高校生活を送ってほしいと思います。